

目次

はじめに	3
概要	4
沿革	5
展示事業	6
入館者 一覽	7
常設展示	8
企画展展示	
日本・デンマーク国交樹立 150 周年記念 アンデルセン展	10
日活映画ポスター展	14
からくりトリックの世界	16
福田繁雄の視覚トリック展	18
追悼松本俊夫 映像の反現実的幻想的魔術的な表現を求めて	20
生命の表現力 山下清とその仲間たちの作品展	22
ハイチアート展	26
国産アニメーション誕生 100 周年記念 にっぽんアニメーションことはじめ	28
川崎ヒストリー展	32
大矢紀展 大地の輝きを描く	34
かわさきマイスター 20 年展	38
2017 川崎フロンターレ展	40
MJ'sFES みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展 SINCE 1958	42
第 5 回 版画アトリエ指導員展 Interlap colors	48
第 51 回 かわさき市美術展	50
上映プログラム（映像ホール）	54
上映プログラム（ミニホール）	60
他団体の展示	61
教育普及事業	62
収集・整理・保存	66
調査研究	71
広報	73
資料	81



はじめに

川崎市市民ミュージアムは、美術館と博物館・映像文化センターの複合施設として1988年11月に開館して以来、博物館・美術館の2つの側面から収集されたコレクションと独自性のある企画を館の特色として、様々な事業を展開してきました。

今年度の企画展は、アンデルセンの生涯を描いた「日本・デンマーク国交樹立150周年記念 アンデルセン展 ～あなたのそばには、いつもアンデルセンがいた～」とアンデルセンに関連するもので楽しむ「みんなのアンデルセン展」を展開、合わせて「デンマーク展」も展示、館全体で同一のテーマを追求しました。さらに夏には派手なトリックと斬新な表現で日本を代表する3Dアート作家として知られる服部正志の作品と高橋みのるによる大小さまざまな木製のからくり玩具を展示した「からくりトリックの世界展」を開催しました。秋には山下清の作品を展示するほか、学園で共に学んだ3人の仲間たちの作品にも光をあて、合わせて紹介する「生命の表現力 山下清とその仲間たちの作品展」を行いました。また明るく華やかな色彩で自由奔放に描き出した「ハイチアート展」を展開しました。冬には川崎市麻生区に在住し作品33点を寄贈されたことを記念して「大矢 紀展—大地(いのち)の輝きを描く—」を開催しました。「川崎マイスター20年展」では技の優品を展示、体験ワークショップと実演を行いました。「2017川崎フロンターレ展」ではリーグ優勝を果たしたチームの活躍をオフィシャルカメラマンによる試合写真や映像、選手ゆかりの資料等で振り返りました。そして「MJ's FES みうらじゅんフェス!マイブームの全貌展 SINCE 1958」ではその膨大な創作活動の全貌を紹介しました。

また、映像ホールでの上映事業では、川崎を舞台とした映画「シン・ゴジラ」の特集に多くの来場者がありました。そして、常設展示の博物館展示室では、今月の「イッピン展示」として収蔵作品を紹介し、また従来の蛍光灯による照明から、照度を落としてコーナーごとにスポットを当てる照明に切り替えるなど、展示効果を高める工夫を行いました。

さらに、教育普及事業としては、子育て中の親同士が気軽に情報交換できる「ママカフェ」や、小さなお子様と一緒に展示を鑑賞いただける「ベビーカーツアー」を継続し、「福祉プログラム」として、障害の有無にかかわらず、参加者同士ことばをかわしながら一緒に美術作品を鑑賞する「視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ」を行うなど、幅広い層の方々に当館を楽しんでいただくことができたかと存じます。新たに考古のテーマとして火起こし体験や勾玉づくりを実施しました。10月には「ミュージアムコンサート」、「ともとのガラクタ音楽会」、2月に「ビートジャックがやってくる!」のコンサートを行いました。また、企画イベントとして「ねこようかい大脱出ゲーム」や超大型絵本がやってくる「おまえうまそうだな」を実施しました。

川崎市市民ミュージアムは、新たな魅力ある空間として市民へのサービス向上と市民の視線でより開かれたミュージアムをめざし、2017年度から指定管理者による管理・運営に移行しました。当館がより皆様に愛されご利用いただけるよう、市民の文化芸術活動を振興するための拠点として、活力と魅力あふれる力強い都市づくりを推進する取組を展開してまいります。

皆様のご理解とご支援を賜りますよう、今後ともよろしくごお願い申し上げます。

川崎市市民ミュージアム 館長

概要

川崎市市民ミュージアムは1988（昭和63）年11月、「都市と人間」を基本テーマに開館した。

都市は、さまざまな人が集まり次々と新しい文化を生み出している。市民ミュージアムは、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品を収集・展示・調査・研究している。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象に基本テーマを追求するほか、市民ミュージアムの情報を活用しながら、利用者が楽しく学習できるような学習講座も行っている。

トーマス転炉（日本鋼管 現 JFE 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。

1937年から1957年（昭和12年から32年）まで稼働。日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

沿革（開館まで）

1980年（昭和55年）

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）
漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

1981年（昭和56年）

川崎市博物館基本構想を策定
現代映像文化センター基本構想を策定

1982年（昭和57年）

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）し、同時に展示基本計画書を策定
現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983年（昭和58年）

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、
収集事業がスタート両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委
員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985年（昭和60年）3月

建築基本設計を完了

1985年（昭和60年）3月

展示基本設計を完了

1985年（昭和60年）4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985年（昭和60年）11月

建築実施設計を完了

1986年（昭和61年）3月

展示実施設計を完了

1986年（昭和61年）3月

建築工事着手

1987年（昭和62年）7月

展示工事着手
川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988年（昭和63年）11月

川崎市市民ミュージアム開館

展示事業



平成 29 年度 市民ミュージアム 利用者統計表

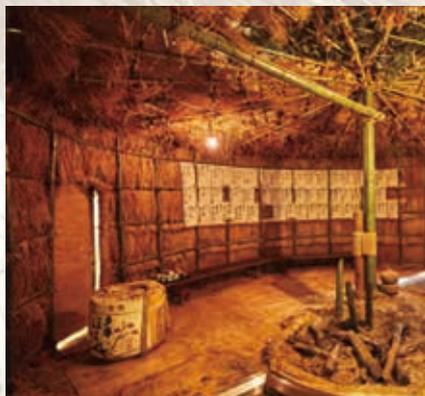
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
常設展	8771	7014	5351	12178	12349	8960	8408	12074	9569	11050	10653	16872	123249	
企画展	有料	536	1478	1480	3923	5858	2557	611	517	0	1347	10830	20082	49219
	無料	3030	6993	6580	4810	7628	3423	3472	4301	8961	11311	1303	4667	66479
映像ホール	有料	997	986	410	1728	1552	307	479	482	409	289	427	843	8909
	無料	352	319	175	489	238	237	430	408	616	338	354	648	4604
ミニホール	82	143	214	88	67	66	61	112	70	45	140	167	1255	
館内イベント・講座等	4989	1139	240	971	459	341	477	354	1198	1673	532	598	12971	
ミュージアムライブラリー（映像）	192	216	203	255	246	224	202	190	191	184	462	1032	3597	
ミュージアムライブラリー（図書）	649	510	470	1070	985	834	549	640	648	701	418	219	7693	
ミュージアムライブラリー（閲覧）	6	6	4	2	1	0	2	1	3	0	2	0	27	
研修室等利用者	40	126	113	144	59	0	10	82	170	200	43	75	1062	
ミュージアムギャラリー1	0	0	0	0	0	0	8	1592	14	0	0	469	2083	
ミュージアムギャラリー2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
館外展示入館・出張プログラム等	632	107	133	0	56	0	41	14	28	32	0	20	1063	
合計	20276	19037	15373	25658	29498	16949	14750	20767	21877	27170	25164	45692	282211	
開館日数	26	26	26	26	27	26	26	25	24	24	24	26	306	
1日平均利用者数	780	732	591	987	1093	652	567	831	912	1132	1049	1757	922	

展示室別内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
企画展示室	有料	536	1478	1480	2595	3867	1858	197	0	0	1347	10830	20082	44270
	一般	386	1047	1088	2262	3292	1018	118	0	0	1275	10198	18978	39662
	シニア	111	299	265	245	484	804	75	0	0	34	274	399	2990
	高校・大学生	29	118	111	25	74	29	4	0	0	32	270	577	1269
	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	7	11	10	62	16	7	0	0	0	6	59	128	306
	シニア（団体）	3	0	6	1	1	0	0	0	0	0	28	0	39
	高・大生（団体）	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	543	716	1043	3180	5009	2668	2130	2442	3034	211	1303	2459	24738
	招待券	288	264	576	131	383	1091	277	126	0	58	375	929	4498
	障害者等	89	193	144	362	485	519	37	0	0	51	375	521	2776
	中学生以下	122	223	305	2613	4116	770	818	186	1265	82	492	987	11979
	取材	6	14	10	5	4	7	0	0	0	13	14	0	73
その他	38	22	8	69	21	281	998	2130	1769	7	47	22	5412	
企画展示室	有料	0	0	0	1328	1991	699	414	517	0	0	0	0	4949
	一般	0	0	0	1224	1780	511	311	401	0	0	0	0	4227
	シニア	0	0	0	71	157	169	74	107	0	0	0	0	578
	高校・大学生	0	0	0	23	42	19	28	8	0	0	0	0	120
	小人	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	0	0	9	10	0	1	1	0	0	0	0	21
	シニア（団体）	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	2487	6277	5537	1630	2619	755	1342	1859	1016	2214	0	2208	27944
	招待券	0	0	0	54	227	164	75	73	0	0	0	0	593
	障害者等	0	0	0	185	217	146	52	63	0	0	0	0	663
	中学生以下	0	0	0	1369	2168	315	1167	1333	161	541	0	0	7054
	取材	0	0	0	2	0	9	1	0	0	0	0	0	12
その他	2487	6277	5537	20	7	121	47	390	855	1673	0	2208	19622	
アートギャラリー	有料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	シニア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高校・大学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	シニア（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	高・大生（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	無料	0	0	0	0	0	0	0	0	4911	8886	0	0	13797
	招待券	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中学生以下	0	0	0	0	0	0	0	0	1009	1724	0	0	2733
	取材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	3902	7162	0	0	11064	
映像ホール	有料	997	986	410	1728	1552	307	479	482	409	289	427	843	8909
	一般	613	546	232	1218	809	153	367	384	294	103	379	636	5734
	シニア	316	380	163	280	506	132	36	56	57	178	27	172	2303
	高・大生	44	38	0	68	23	5	18	20	12	0	14	19	261
	小・中	0	1	0	136	186	6	53	18	42	1	1	6	450
	優待割引	4	5	2	8	5	5	0	0	4	3	6	4	46
	スカラチケット	20	16	13	18	23	6	5	4	0	4	0	6	115
	無料	352	319	175	489	238	237	430	408	616	338	354	648	4604
	招待券	0	0	0	0	21	0	0	0	9	0	2	10	42
	障害者等	144	158	119	257	195	99	114	71	107	86	58	115	1523
	幼児	1	98	0	55	18	2	70	60	44	1	0	66	415
	その他	207	63	56	177	4	136	246	277	456	251	294	457	2624

常設の博物館展示室は、時系列に沿って川崎市域の歴史と文化を紹介している。

「民俗」、「原始」、「古代」、「中世・近世 1」、「近世 2」、「近代・現代」の 6 室で構成し、展示場の壁面に設置した大きな年表を参照しながら、それぞれの時代を特徴づける展示資料を観覧することができる。



第 1 室 民俗

川崎市が商工業の発達にともなって都市化への道を歩み始めた頃、多摩川沿いに広がる農村部では稲作を中心とした暮らしが営まれていた。民俗展示室では、そのような村の人々の日常生活、行事、信仰、生産活動を振り返り、どのような地域社会が形成されていったのか、往時の共同体意識・村意識について考察している。導入部に復元されている登戸台和地区の「セエノカミのおコモリ小屋」は、現在では見るができなくなっているもので、貴重な資料として展示している。



第 2 室 原始

川崎に人類が住み始めたのは旧石器時代、いわゆる氷河時代であった。この時代の遺跡が、川崎にも小規模ながらいくつか確認されている。約 13000 年前頃から地球規模で温暖化が始まり、それとともに土器や弓矢が発明された。縄文時代の始まりである。約 1 万年間つづいた縄文時代は、狩猟・採集に基礎をおきながら、後半は植物の管理・栽培も行われていた。川崎には多摩丘陵を中心に、縄文時代終焉までの集落や貝塚などの遺跡が豊富である。農耕が本格化する弥生時代は、集落を溝で囲む環壕集落が登場し、階級社会への歩み始める時代の資料を展示している。



第 3 室 古代

原始農耕社会が円熟してくると、人びとの地域的なまとまりが強くなり、階級が生じてくる。その一つの象徴が古墳である。特定の個人のために大きな墓を作る古墳時代は、川崎周辺では 4 世紀になって登場するようになる。その後 6 世紀後半になると古墳の築造が多くなり、崖面に横穴を掘り、これを古墳とする横穴墓も 7 世紀まで盛んに作られた。しかし、律令国家・仏教思想の進展とともに、次第に古墳築造にかわり、寺院の建立や国衙・郡衙の創設とその支配を受けるようになる。川崎の大部分は武蔵国橘樹郡（評）であり、影向寺と千年周辺が、橘樹郡の中心地となるところまでを展示している。

第4室 中世・近世1

古代律令国家が崩壊し、11世紀になると多くの土地が荘園・公領に編成される。川崎市域にも荘園・公領が確認されるが、ここでは中でも比較的伝来のわかる稲毛荘に関わる資料を展示している。一方、戦国時代になると、川崎市域は小田原城を拠点とする北条氏の支配地となるが、北条氏の滅亡に伴い、徳川氏の領地となり、近世をむかえる。

近世の川崎市域は、江戸近郊に位置することもあり、大部分が幕府直轄領と、旗本の領地となった。しかし、平野部以外に臨海部、丘陵部、河川部など、その地理的条件により、村のくらしは異なっている。これら領主に関わる資料、人々の生業に関わる資料、平野部の耕作を支えた二ヶ領用水に関する資料を展示している。



第5室 近世2

江戸時代の川崎を代表する場所として、川崎宿があげられる。東海道の宿場である川崎宿には本陣や問屋場などの機能が備えられ、多くの人々が行き交った。また、江戸より川崎宿に入る手前には多摩川を渡る「六郷の渡し」があり、渡船場が設けられていた。これら街道に関わる資料のほか、幕末の動乱に巻き込まれてゆく、地域の様子がわかる資料を展示している。



第6室 近代・現代

明治政府による改革によって近代化が進められる中、官設鉄道の一停車場として川崎駅も新設される。そして東日本で最初の電気鉄道である京浜電気鉄道が開通し、昭和時代に入ると南武鉄道も開業し徐々に路線を拡大していく。これにより川崎駅から川崎大師にかけての都市化や、京浜工業地帯の発展の礎が築かれていくのである。川崎地域の近代化の始まりから、工業地帯の埋立地の拡大、戦時下の軍需産業に沸いた時期、そして高度経済成長期の川崎に関連する資料を展示している。



企画展示

日本・デンマーク国交樹立 150 周年記念

アンデルセン展 ～あなたのそばにはいつもアンデルセンがいた～



会場	企画展示室 1、2
会期	2017 年 4 月 22 日 (土)～6 月 25 日 (日)
日数	56 日
来館者数	20,097 人
観覧料	一般 600 円 (500 円)、65 歳以上・大学生・高校生 500 円 (400 円)、中学生以下無料
図録	800 部
主催	川崎市市民ミュージアム
後援	外務省、デンマーク大使館
協力	オーデンセ市立博物館、宮内庁

日本とデンマーク国交樹立 150 年を記念し、世界的な童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセン (Hans Christian Andersen 1805～1875) を紹介する展覧会。企画展示室 1 では、デンマーク・オーデンセ市のハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館が所蔵しているアンデルセンによる切り絵作品とアンデルセンが愛用していたものなどを展示した。企画展示室 2 の「みんなのアンデルセン展」では、アンデルセンの作品をテーマとしてワークショップで制作されたものを紹介した。

B1 ポスター	50 枚	B3 ポスター	800 枚	観覧券	15,000 枚
B2 ポスター	500 枚	A4 チラシ	60,000 枚	招待券	15,000 枚

関連展示

デンマーク展 ～最新と古き良きものの融合～

会期 4 月 1 日 (土)～6 月 25 日 (日)
会場 アートギャラリー 1

アンデルセンの生まれた街・オーデンセ市や、デンマークの首都コペンハーゲンの都市の様子、人々の暮らしを紹介した。

飛び出す絵本展

会期 4 月 1 日 (土)～4 月 16 日 (日)
会場 アートギャラリー 3

約 60 点の飛び出す絵本をハンズオンで展示した。

アンデルセン童話の若手作家展

会期 4 月 22 日 (土)～6 月 25 日 (日)
会場 アートギャラリー 3

川崎市在住のイラストレーター Naffy(なふい)さんのアンデルセン童話をイメージしたイラストを展示した。

第 34 回アンデルセンのメルヘン大賞 原画展

会期 4 月 22 日 (土)～6 月 25 日 (日)
会場 アートギャラリー 3
協力 アンデルセングループ

参加作家 大の武男、坂本明美、庄司三智子、村田収、吉田尚令

ペーカリービジネスを展開するアンデルセングループが主催する文化活動「アンデルセンのメルヘン大賞」。その第 34 回受賞作品のためにプロのイラストレーター 5 名が描いた挿絵の原画を展示した。

関連イベント

開会式・内覧会・レセプション

日時 4 月 21 日 (金) 10:00～
会場 逍遥展示空間 (開会式)
企画展示室・アートギャラリー (内覧会)
ラウンジ・映像ホール (レセプション)
参加者数 207 名

出席者 川崎市長 福田紀彦
駐日デンマーク大使 フレディ・スヴィネ
オーデンセ市立博物館 文化遺産課長 イェンス・トフゴー
日本・デンマーク協会会長 近藤誠一
川崎市議会副議長 菅原進
他

文化講演会

アンデルセンの多面性～いつもそばにいたアンデルセン～

講師 福井信子（東海大学文学部北欧学科教授）
日時 5月6日（土） 14:00～15:30
会場 研修室3
参加者数 41名

特別講演会

アンデルセンを輩出したデンマークの豊かなくらしや風土

講師 島崎信（武蔵野美術大学名誉教授、日本・デンマーク
国交樹立150周年記念親善大使）
日時 6月11日（日） 10:30～12:00
会場 逍遙展示空間
参加者数 70名

ギャラリーツアー

日時 4月23日、4月30日、5月7日、5月14日
5月21日、5月28日、6月4日、6月11日
6月18日、6月25日（各日14:00～）
参加者数 計176名

関連上映プログラム

マルグレーテ2世女王陛下ご制作映画

雪の女王

日時 4月23日、4月30日、5月7日、5月14日、
5月21日、5月28日、6月4日、6月11日、
6月18日、6月25日（各日14:30～）
会場 ミニホール
料金 無料
観覧者数 計400名

親子向けアニメーション映画上映

ソング・オブ・ザ・シー 海のうた

日時 5月7日（日）11:30～/14:30～
会場 映像ホール
料金 一般・65歳以上・大学生・高校生 500円
（小中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方及びその介助者無料）
観覧者数 計311名



アンデルセン展 出品目録

企画展示室 1

出品番号	製作者名	資料名	資料種別	制作年	サイズ (cm)、分数	材質	所蔵
1	L. ブライヤー	アンデルセン像	彫刻	1875年 (複製)	110×75×75	プラスチック	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
2	マルグレーテ二世女王陛下	エリサ女王	衣装	2000年代	180	布	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
3	マルグレーテ二世女王陛下	エリサ女王の夫、王様	衣装	2000年代	180	布、金属	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
4	マルグレーテ二世女王陛下	農婦の小屋	デコパージュ	不詳	35×55	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
5	マルグレーテ二世女王陛下	生い茂った森	デコパージュ	不詳	55×35	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
6	マルグレーテ二世女王陛下	邪悪な女王の階段	デコパージュ	不詳	55×35	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
7	マルグレーテ二世女王陛下	エリサの父の宮殿の広間	デコパージュ	不詳	35×55	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
8	マルグレーテ二世女王陛下	雲	デコパージュ	不詳	55×35	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
9	マルグレーテ二世女王陛下	ファタ・モガナーの宮殿	デコパージュ	不詳	55×35	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
10	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	タツシの壁の本	素描	1833年 11月	9.1×13.1	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
11	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	サレルノ	素描	1834年 3月	10.3×12.7	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
12	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	ナポリの風景	素描	1834年	19.4×12.5	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
13	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	決して青春が失われることはない	詩	1875年 4月	19×25	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
14	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	子どものための童話集	書籍	1835-37年	13×17	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
15	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	徒歩旅行	書籍	1829年	—	—	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
16	—	アンデルセンの旅行靴	—	—	27×62×37	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
17	—	アンデルセンの金のペン	—	—	24	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
18	—	アンデルセンの金の装飾のついたはさみ	—	—	24	革	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
19	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	風車夫	切り絵	1850代	13×11	木 / 金属	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
20	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	大きなブーツを履いた人	切り絵	1850代	15.5×8	金属	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
21	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	飛びはねる人	切り絵	1850代	7×16	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
22	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	操り人形劇場	切り絵	1850代	18.5×19	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
23	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	花輪をかかざる 4人の少女	切り絵	1850代	13×21	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
24	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	海賊	クリスマスツリーの装飾	1850代	27×12.5	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
25	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	ブーツを持つ男	クリスマスツリーの装飾	1850代	23.5×16	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
26	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	緑のドレスを着た女	クリスマスツリーの装飾	1850代	24×15	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
27	ハンス・クリスチャン・アンデルセン	黄色いドレスを着た女	クリスマスツリーの装飾	1850代	31×14.5	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
28	アンディ・ウォーホル	ハンス・クリスチャン・アンデルセンの切り絵 1	リトグラフ	1987年	96×96	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
29	アンディ・ウォーホル	ハンス・クリスチャン・アンデルセンの切り絵 2	リトグラフ	1987年	96×96	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
30	スペース ラボ	ハンス・クリスチャン・アンデルセンの部屋	VR (バーチャル・リアリティ)	2017年	—	—	—
31	JJ Film Aps	アンデルセン童話「人魚姫」	アニメーション	2015年	5分 20秒	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
32	JJ Film Aps	アンデルセン童話「みにくいアヒルの子」	アニメーション	2014年	4分 30秒	紙	ハンス・クリスチャン・アンデルセン博物館
33	株式会社アトムストーリー / 脚本 岩崎理加 / 漫画 宮崎伸一郎	The Fairytale of Andersen あなたのそばにいつもアンデルセンがいた	アニメーション	2017年	4分 10秒	—	—
34	岡山青年館・佐藤真治・公共の交通ラクダ・株式会社おもちゃ王国	コペンハーゲン・チボリ公園模型	ジオラマ	1990年代	360×540	—	岡山青年館・佐藤真治・公共の交通ラクダ所蔵 株式会社おもちゃ王国寄託
35	Danish Industry Foundation、State of Green	「デンマークエネルギー政策日本語版」	映像	2017年	5分 9秒	—	駐日デンマーク王国大使館
36	デンマーク王国外務省	「デンマークビジネス事例紹介日本語版 (字幕付き)」	映像	2017年	3分 3秒	—	駐日デンマーク王国大使館

みんなのアンデルセン展 出品目録

企画展示室 2

製作者名	作品名	資料種別	発表年
Sugar-cog (シュガーコグ)	ふしぎな影	デジタル・インタラクティブ・コンテンツ	2017年
大妻女子大学 社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻	アンデルセンのトイシアター	デジタル・インタラクティブ・コンテンツ	2017年
株式会社ジュリアジャパン	うごくぬり絵 アンデルセンの世界	デジタル・インタラクティブ・コンテンツ	2017年

狭山市立博物館 第2回みんなのアンデルセン展 作品公募 102点

2017年

アンデルセン童話の若手作家展 出品目録

アートギャラリー 3

出品番号	作品タイトル	制作者	制作年	サイズ	画材	シリーズ (人魚姫など)	出展、掲載媒体
1	すずの兵隊	Naffy	2017	42×29.7	鉛筆 / photoshop	—	—
2	親指姫	Naffy	2017	42×29.7	鉛筆 / photoshop	—	—
3	みにくいアヒルの子	Naffy	2017	42×29.7	鉛筆 / photoshop	—	—
4	マッチ売りの少女	Naffy	2017	42×29.7	鉛筆 / photoshop	—	—
5	雪の女王	Naffy	2016	26.1×17.7	photoshop	—	—
6	『海の底のお城』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
7	『人魚姫と家族』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
8	『人間の世界を夢見て』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
9	『15歳の誕生日』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
10	『王子との出会い』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
11	『嵐』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
12	『勘違い』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
13	『魔女のもとへ』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
14	『契約』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
15	『家族との別れ』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
16	『王子との再会』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
17	『恋恋』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
18	『悲しい最期』	Naffy	2013	29.7×42	鉛筆 / photoshop	人魚姫	月刊絵本冊子『MAMAYONDE!』
—	『マッチをおひとついかがですか』	Naffy	2017	—	—	マッチ売りの少女	—
—	オリジナルイラスト (作家紹介)	Naffy	—	—	—	—	—
—	snow dance	Naffy	2016	—	—	—	—
—	キツネの騎士	Naffy	2016	—	—	—	—
—	きのご博士	Naffy	2014	—	—	—	JIA illustration Award2015 優秀賞作品
—	きのご博士	Naffy	2013	—	—	—	第9回ベラドンナ・アート展出展作品
—	夜の森	Naffy	2016	—	—	—	—



ミュージアムコンサート：ともとのガラクタ音楽会

日活映画ポスター展

NO IMAGE

会場 アートギャラリー 2
会期 2017年4月1日(土)～6月25日(日)
日数 56日
観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム
協力 日活株式会社

映画黄金期である昭和30から40年代にかけて、日活で制作された映画のポスターを約80点展示。

関連上映プログラム

かわさき日活劇場

日時 4月1日、4月2日、4月8日、4月9日、4月15日
4月16日(各日11:30～/14:30～)

会場 映像ホール

料金 一般・65歳以上・大学生・高校生 500円
(小中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方及びその介助者無料)

協力 日活株式会社

上映作品 「伊豆の踊子」(1968)
「ギターを持った渡り鳥」(1959)
「銀座の恋の物語」(1962)
「嵐を呼ぶ男」(1957)
「紅の拳銃」(1961)
「仲間たち」(1964)



出品番号	作品名	制作年	出品番号	作品名	制作年
1	キューボラのある街	1962	43	錆びたナイフ	1965
2	嵐を呼ぶ男 (主演:石原裕次郎)	1957	44	泣かせるぜ	1966
3	青い山脈	1962	45	帰らざる波止場	1956
4	二階堂卓也 銀座無頼帖 帰って来た旋風児	1962	46	狂った果実 (太陽の季節姉妹篇)	1958
5	東京は恋する	1965	47	俺は待ってるぜ	1957
6	星影の波止場	1968	48	紅の翼	1958
7	恋のつむじ風	1969	49	二人の世界	1966
8	歌う暴れん坊	1962	50	太平洋ひとりぼっち	1963
9	骨まで愛して	1966	51	夜霧よ今夜も有難う	1967
10	煙の王様	1963	52	何か面白いことないか	1963
11	みな殺しの拳銃	1967	53	赤いハンカチ	1964
12	黒いダイスが俺を呼ぶ	1964	54	あいつと私	1961
13	燃える雲	1967	55	堂堂たる人生	1961
14	殺人者を追え	1962	56	波止場の鷹	1967
15	善人残酷物語	1960	57	勝利者	1957
16	牛乳屋フランキー	1956	58	青年の椅子	1962
17	嵐を呼ぶ男 (主演:渡哲也)	1966	59	青春大統領	1966
18	青春ア・ゴーゴー	1966	60	若い川の流れ	1959
19	メキシコ無宿	1961	61	赤い谷間の決斗	1965
20	事件記者 時限爆弾	1960	62	若い川の流れ	1959
21	太陽と星	1962	63	ただひとりの人 / 続ただひとりの人	1956
22	夫婦百景	1958	64	女子寮祭 / 事件記者 真昼の恐怖	1957/1959
23	青年の椅子	1962	65	危険な関係 / 顔役 (ボス)	1957/1955
24	学生野郎と娘たち	1960	66	この若さある限り / 太陽は狂ってる	1961/1961
25	起動捜査班 東京午前零時	1962	67	早射ち野郎 / 助っ人稼業	1961/1961
26	江戸の小鼠たち	1957	68	闘牛にかける男 / 男なら夢を見ろ	1960/1959
27	いのちの朝	1961	69	雑草のような命 / 散弾銃の男	1960/1961
28	お父ちゃんは大学生	1961	70	男の怒りをぶちまけろ / 闇に流れる口笛	1960/1961
29	サラリーマン物語 新入社員第一課	1962	71	錆びた鎖 / 幌馬車は行く	1960/1960
30	生きている狼	1964	72	街から街へつむじ風 / あじさいの歌	1960/1960
31	刑事物語 ジャズは狂っちゃいねえ	1961	73	拳銃無頼帖 不敵に笑う男 / 拳銃無頼帖 明日なき男	1960/1960
32	おやエの女中の大将	1959	74	太平洋のかつぎ屋 / 明日は明日の風が吹く	1961/1958
33	その壁を砕け	1959	75	東京の暴れん坊 / 南海の狼火	1960/1960
34	車掌物語 旅は道づれ	1962	76	二階堂卓也 銀座無頼帖 銀座旋風児 黒幕は誰だ / 渡り鳥いつまた帰る	1959/1960
35	危いことなら銭になる	1962	77	東京騎士隊 / 疾風小僧	1960
36	峠	1957	78	城取り	1965
37	悲しき別れの歌	1965	79	嵐の勇者たち	1969
38	現代悪党仁義	1965	80	ギター抱えたひとり旅	1964
39	零戦黒雲一家	1962	81	太平洋ひとりぼっち	1963
40	太陽への脱出	1963	82	あいつと私	1961
41	夜のバラを消せ	1966	83	泣かせるぜ	1965
42	男と男の生きる街	1962			



からくりトリックの世界展



会場	企画展示室 1、2
会期	2017年7月8日(土)～8月20日(日)
日数	38日
来館者数	22,219人
観覧料	一般500円(400円)、65歳以上・大学生・高校生400円(300円)、中学生以下無料
主催	川崎市市民ミュージアム

触って、入って、体験することを目的とした「からくりトリックの世界」展は、「服部正志 トリック 3D アート」展(企画展示室1)と「高橋みのる 現代からくり」展(企画展示室2)の2部で構成された展覧会である。「服部正志 トリック 3D アート」展では、目の錯覚をもたらす等身大の飛び出すグラフィックアートで、その中に立って撮影することで、来場者が立体絵画の一部になるという参加型の展示。「高橋みのる 現代からくり」展では、大小さまざまな木製のからくり玩具を紹介した。出品作に触れて遊ぶことができるハンズオン展示を行なった。

B2 ポスター	300 枚	A4 チラシ	33,000 枚	招待券	7,500 枚
B3 ポスター	500 枚	観覧券	10,500 枚	追加発注	A4 チラシ 3,000 枚、観覧券 3,000 枚

関連イベント

Pepperによる服部正志展トリック・ギャラリートーク

日時 7月8日(土)15:00～
会場 企画展示室1
参加者数 30名

高橋みのる からくりトーク

講師 高橋みのる
日時 7月16日(日)14:00～15:00
会場 企画展示室2
参加者数 45名

ベビーカーツアー

日時 7月20日(木)11:30～
会場 企画展示室1、2
対象 0歳～未就学児と保護者
参加者数 4名

親子で楽しむペーパーからくりワークショップ

講師 石井希(ペーパーからくり作家)
日時 8月5日(土)13:30～15:30
会場 3F 研修室3
対象 幼稚園以上のお子さまと保護者
参加者数 21名

I. 世界冒険の旅ゾーン			III. 不思議がいっぱいゾーン		
出品番号	作品名	制作年	出品番号	作品名	制作年
1	ムービングパノラマ	2012	22	とんがり帽子	2016
2	ジーニーの落とし穴	2012	23	ミルクを注ぐ女	2011
3	西部の馬	2014	24	モンシロチョウ	2013
4	ティンカーベル	2016	25	ジェットコースター	2013
5	ミニマシーン (プラズマ)	2014	26	猫と金魚	2016
6	窓から海賊	2014	27	ピエロのはしご	2012
7	アラビアの魔法の本	2013	28	ライオンライダー	2017
8	ハシゴを上げる狼男	2013	29	モナリザ	2011
9	口を開けるドラゴン	2014	30	森へ降りる	2014
10	ドラゴンと戦う騎士	2013	31	3匹の猿	2012
11	フランケンシュタイン	2014	32	ワニのいる吊り橋	2017
12	金のスプーン	2016	33	錯視ムービー (渦巻き錯視/顔の残巧/カラー錯視/顔の歪み)	2012
13	沼からゾンビ	2014			
14	穴から恐竜	2013			
15	カバの親子	2017			

II. 日本ゾーン		
出品番号	作品名	制作年
16	醍醐寺の戦い (エイムズの部屋)	2015
17	つっぱり	2015
18	覗く忍者	2014
19	天狗の団扇	2016
20	はたきこみ	2016
21	槍を突く忍者	2012

出品番号	作品名	制作年	サイズ (mm)	備考	出品番号	作品名	制作年	サイズ (mm)	備考
1	新作・コログラッド	2017年6月	1600×1200×2270	手動ゲーム	27	ウサギ (風車)	1998年	400×600×300	電動
2	未来トンボ	2006年	1600×2000×1300	手動	28	ポートマン	1995年	300×300×300	手動
3	サーフィンゲーム	2002年	1600×400×300	手動	29	荒波を越えて	1997年	300×200×150	手動
4	ロボカマキリ	1995年	1200×1000×600	電動	30	ウサギとカメ (もちつき)	2000年	400×200×200	手動
5	ロボトンボ	1995年	1200×1100×600	電動	31	招きウサギ	1998年	300×300×300	手動オルゴール
6	ウサギのからくり時計	1994年	1000×1200×500	電動	32	ウマと人参	2014年	300×300×300	手動
7	満月-1	1993年	1000×1200×300	電動	33	獅子舞	2003年	300×400×200	手動
8	満月-2	1994年	800×800×400	電動	34	飛竜	2005年	200×450×200	手動
9	三日月-2	1993年	800×800×400	電動	35	ドルフィンキック	2005年	400×500×200	手動
10	ウサギとカメ (競争)	1996年	700×500×300	電動	36	ヘルプ	1988年	500×300×300	手動
11	ウサギとカメ (サッカー)	1996年	700×500×300	電動	37	カブトムシ	2006年	450×200×200	手動
12	ウサギ (ドライブ)	1997年	400×500×200	電動	38	デスクカニーバル	1989年	250×250×250×4個	手動
13	カメ (スイミング)	1997年	400×400×200	電動	39	新種発見	1990年	200×200×150×5個	手動
14	三日月-3	1993年	500×600×300	電動	40	キッチンフェスティバル	1990年	300×300×300×3個	手動
15	三日月-4	1995年	500×600×300	電動	41	コレット	2015年	600×600×330	手動
16	満月と流れ星	1999年	600×600×300	電動	42	かんば-い2	2006年	300×500×300	手動
17	木登りウサギ	1998年	300×500×300	電動	43	サーフィンゲーム	1999年	700×400×300	手動
18	カメ (ドラミング)	1998年	400×300×300	電動	44	イヌのオルゴール	2012年	300×300×150	手動
19	カメ (のこぎり)	1998年	400×300×300	電動	45	オニヤンマ	1995年	600×600×500	手動
20	カンパ-イ	2007年	400×400×300	電動	46	ネズミのオルゴール	1996年	200×200×150×2個	手動
21	三日月物語	1995年	300×400×300	電動	47	親子散歩シリーズ	2016年	200×200×100×2個	手動
22	観覧車	2015年	600×700×300	電動	48	リンク機構で遊ぼう	2016年	530×70×240	手動
23	アンサンブル	1996年	400×400×300	電動	49	ジグソーパズル	1997年	460×270 (イカ) 270×240×4種	手動
24	カバの歯磨き	2000年	350×350×300	電動	50	木のパズル	1997年	270×240×4種	手動
25	ウサギとカメ (ブランコ)	1998年	500×400×400	電動					
26	十二支パズル	1992年	1100×100×30	手動					

企画展示

福田繁雄の視覚トリック展



会場 アートギャラリー 3
会期 2017年7月8日(土)〜8月20日(日)
日数 38日
観覧料 無料

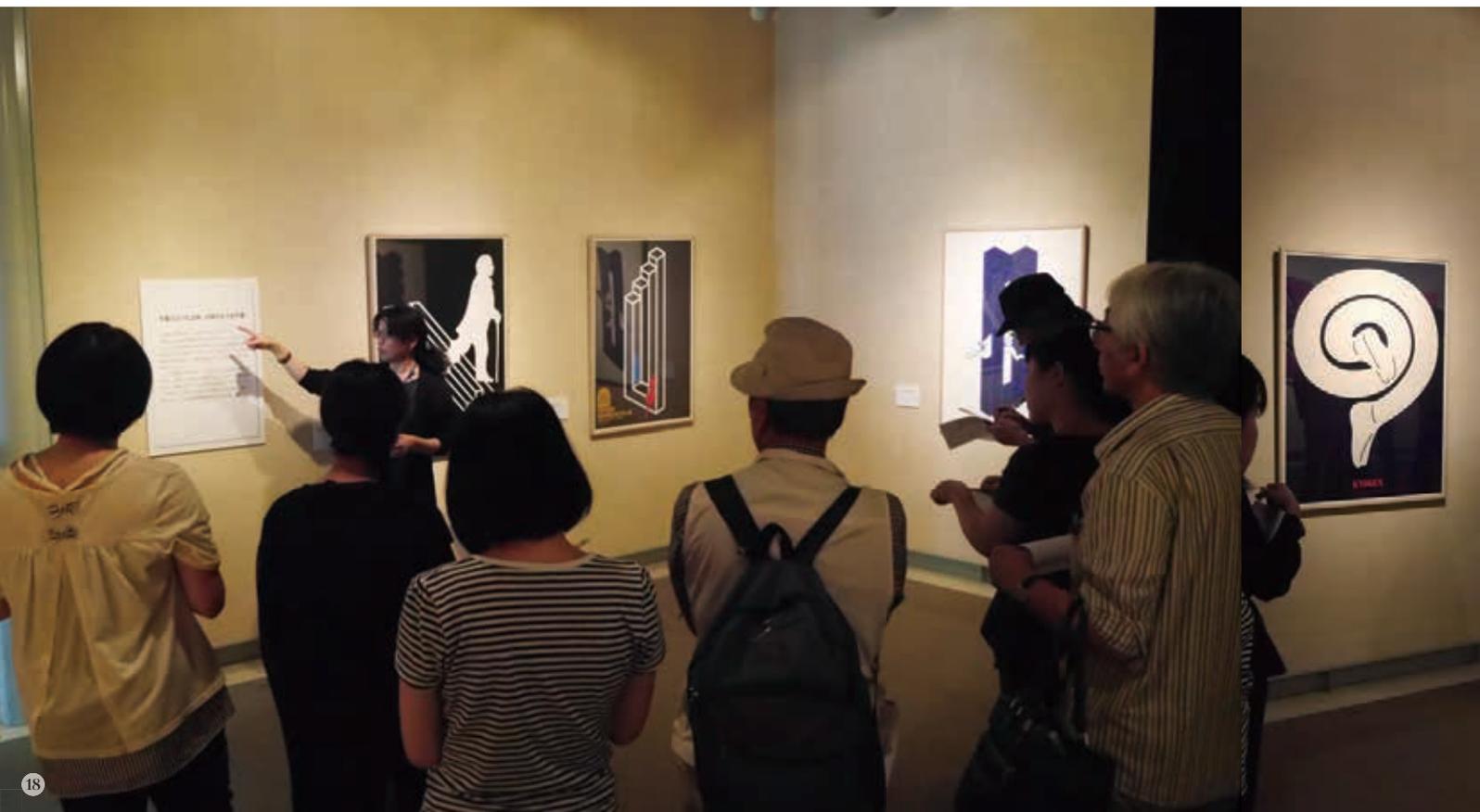
主催 川崎市市民ミュージアム

「平面のような立体、立体のような平面」という言葉を残した福田繁雄（1932-2009）は、立体オブジェを数多く制作したグラフィックデザイナーである。本展では、当館所蔵のポスター 30 点から、平面上で行われた視覚トリックの試みを紹介すると共に、逍遙展示空間の常設オブジェとの関連性を提示した。

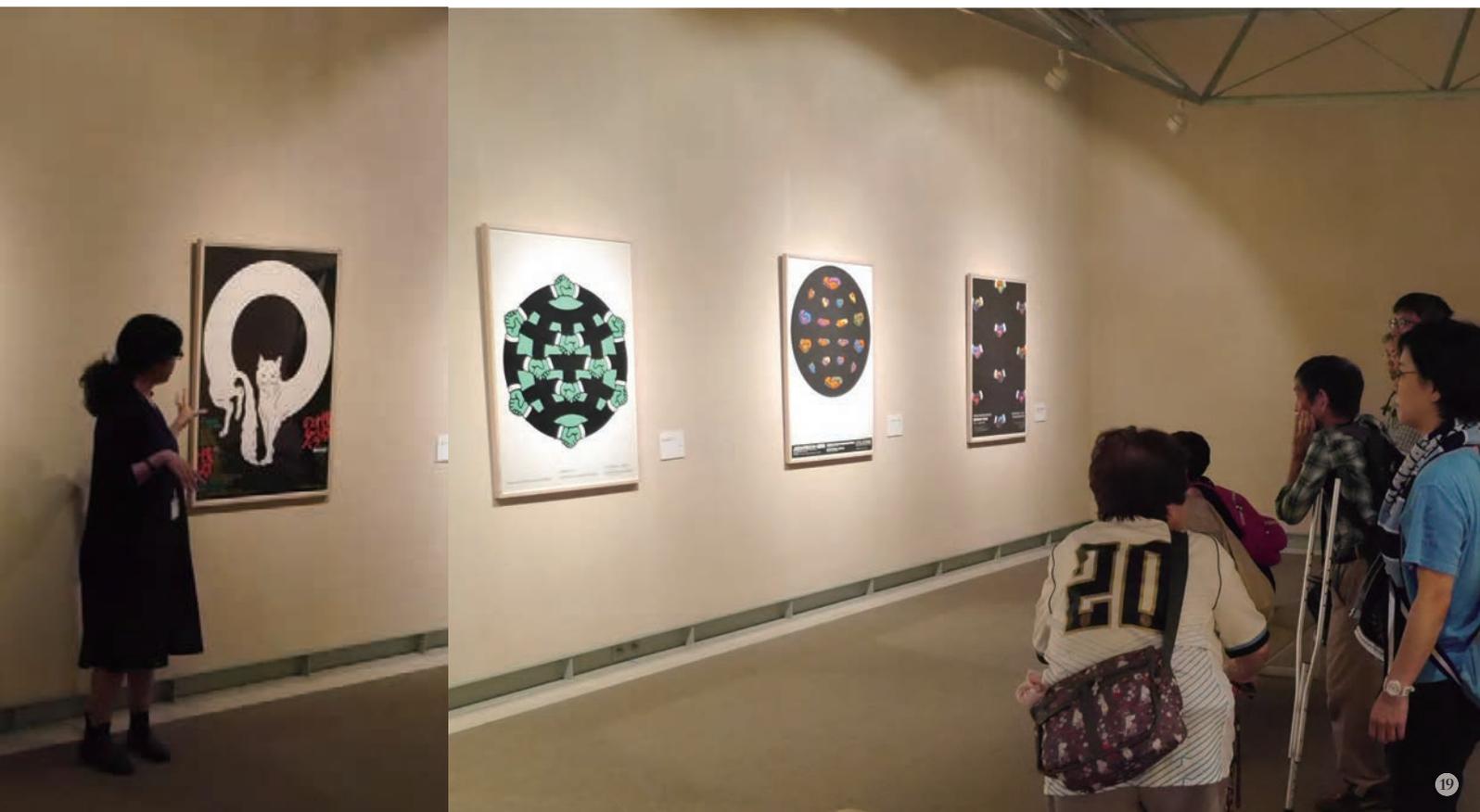
関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

日時 8月19日(土) 14:00～
会場 アートギャラリー 3
参加者数 15名



出品番号	作品名	サイズ	制作年
1	LOOK 1 15 人のアーティスト展	B 全	1985 年
2	LOOK 1 12 人のアーティスト展	B 全	1984 年
3	POST・POSTER 福田繁雄のポスター展	B 全	1987 年
4	think japan (十字型立体)	B 全	1987 年
5	think japan (塔型立体)	B 全	1987 年
6	think japan (鳥居型立体)	B 全	1987 年
7	KYOGEN	B 全	1981 年
8	浅草オペラのタペ	B 全	1985 年
9	日本グラフィック 12 人展 (パリ)	B 全	1984 年
10	浅草オペラのタペ	B 全	1986 年
11	浅草オペラのタペ	B 全	1983 年
12	第 19 回モントルー・ジャズ・フェスティバル (ジュネーブ)	B 全	1985 年
13	オペラ「フィガロの結婚」	B 全	1981 年
14	川崎市民文化ギャラリー IBM 福田繁雄の遊 MORE 展	B 全	1983 年
15	NO MORE (反戦ポスター)	B 全	1968 年 (1987 年復刻版)
16	VICTORY (反戦ポスター)	B 全	1975 年
17	福田繁雄の遊気百倍博	B 全	1988 年
18	LOOK 1 12 人のアーティスト展	B 全	1984 年
19	高島屋日本橋店開店 50 周年記念 世界のポスター 10 人展 緑と人地球を守ろう	B 全	1982 年
20	JAGDA 平和ポスター国際展	B 全	1987 年
21	福田繁雄のポスター	B 全	1982 年
22	福田繁雄のポスター (1)	B 全	1982 年
23	HIROSHIMA APPEALS	B 全	1985 年
24	COMMUNICATION & PRINT	B 全	1991 年
25	IMAGES OF ILLUSION SHIGEO FUKUDA 1984	B 全	1984 年
26	福田繁雄の遊気百倍博	B 全	1988 年
27	福田繁雄のポスター展	B 全	1988 年
28	ギンザ・グラフィック・ギャラリー 福田繁雄展 graphic design exhibition	B 全	1986 年
29	SHIGEO FUKUDA COLORADO 展 SHIGEO FUKUDA COLORADO USA	B 全	1987 年
30	第 2 回国民文化祭・熊本	B 全	1987 年
31	' 89 海と島の博覧会・ひろしま SEA & ISLANDS EXPO HIROSHIMA 1989	B 全	1987 年



企画展示

追悼 松本俊夫 映像の反現実的・幻想的・魔術的な表現を求めて



会場 アートギャラリー 2
会期 2017年7月8日(土)～8月20日(日)
日数 38日
観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム

松本俊夫(1932～2017)は、シュルレアリスムや象表現主義に惹かれ、実在しない風景や無意識や幻覚、夢や瞑想体験などを、ただ映すだけではなく、内面性を映像で表現することに挑み続けた作家である。本展では、反現実的・幻想的・魔術的な表現を求めた松本俊夫作品から収蔵作品7点を上映した。

関連イベント

学芸員によるギャラリートーク

日時 7月30日(土) 14:00～
会場 企画展示室 1
参加者数 10名



エクスタシス=恍惚 (Ecstasis/1969/16mm/10min モノクロ)

製作・脚本・編集・音楽：松本俊夫／撮影：鈴木達夫

松本俊夫の劇映画『薔薇の葬列』も同年に制作され、その出演者、エディー（ピーター）の画像が登場し、首を左右に振って恍惚を身振りで表しています。手を広げて、こちらに何度も接近してくる動きと、ゲバラ（内山豊三郎）の反復されるショットで、強烈な印象を与えます。

モナ・リザ (Mona Lisa/1973/16mm/3min カラー)

製作・脚本・音楽：松本俊夫／素材撮影：鈴木達夫・杉山昭親

ニューヨーク近代美術館が主催するビデオアートの国際的シンポジウムに出品され、海外で紹介された日本人による初めてのビデオアート作品。「スキヤニメイト」を使用して、モナリザの顔を偏執狂的に変貌させた作品。1974（昭和49）年4月20日 - 1974（昭和49）年6月10日に、東京国立博物館で、初めてモナリザが日本で公開、1,505,239人が来館。モナリザは芸術作品の顔というイメージが定着しました。

アートマン (Atman/1975/16mm/11min カラー)

製作・脚本：松本俊夫／撮影：山崎博・高間賢治／音楽：一柳慧

赤外線フィルムを使ったスチルアニメーションで、カメラは、般若の面を被った人物の周囲に近づき、離れながらぐるぐる廻ります。約500の地点から、露出を閉じたり開いたり、ブルーやグリーン系のフィルターをかけ、肉眼で観えるのと同じ色にしました。1カ所5パターン、約2500のコマから構成されています。「アートマン」という語は 古代インドの言葉で「我れ」という意味です。

シフト=断層 (Shift/1982/16mm/10min カラー)

撮影・松本俊夫・伊奈新祐／合成：奥山重之助／音楽：稲垣貴士／脚本：松本俊夫

周回運動とズームで撮影された九州芸術工科大学校舎の映像は、ビデオ合成によって横方向に六分割され、ズレていきます。撮影するカメラが動いて、6層にスライスして、その層のイメージを時間的にずらし、カメラが右に移動させ、上から一段おきに1、2、3、それから戻って4、5、6というように何分の一秒かをずらして、またカメラが移動し、時間のズレと空間の歪みがつくられています。

エクспанション=拡張 (Expansion/1972/16mm/14min カラー)

製作・脚本装置操作：松本俊夫／撮影：鈴木達夫・杉山昭親／音楽：一柳慧

医療用の映像機器で、画像を加工・変形させ、色相を電子的に変調させて反転した画像をつくりだし、視覚的に広がっていく感覚を与えます。自身の『スペース・プロジェクション・アコ』の映像を引用し、編集を加えています。

色即是空 (Everything Visible Is Empty/1975/16mm/8min カラー)

製作・脚本：松本俊夫／撮影：辻嘉行・栗田豊通／音楽：一柳慧

サイケデリックな幻覚体験と般若心経の世界を、一文字ずつ鮮やかな色彩のフリッカーをともなって繰り返されます。反復は音と共にしだいに激しくなって、見る者の意識を誘導し、眩しい光のイメージと音に同調し、トランス状態の感覚になります。

エニグマ=謎 (Enigma/1978/16mm/3min カラー)

製作・脚本・撮影・美術・音楽：松本俊夫

宇宙空間を思わせる暗闇の中に、様々なイメージが吸い込まれてゆく作品。スキヤニメイトを駆使し、映像をトンネル状に折り曲げることで、中心点に向かうイメージが表現される。エングラムとは精神医学の用語で「記憶痕跡」という意味です。



企画展示

生命の表現力

山下清とその仲間たちの作品展



会場	企画展示室 1
会期	2017年9月2日(土)～10月1日(日)
日数	26日
来館者数	5,233人
観覧料	一般700円(560円)、65歳以上・大学生・高校生500円(400円)、 中学生以下無料 ※9月18日(月・祝)敬老の日は65歳以上無料 ※「ハイチアート展」観覧券の半券で100円割引
主催	川崎市市民ミュージアム、「八幡学園」山下清展事業委員会

今年、創立 89 年を迎える知的発達障害児入園施設「八幡学園」(1928 年開園・千葉県市川市)は、「踏むな 育てよ 水そそげ」の指導理念のもと、心の触れ合いを通して一人ひとりの特性を見出してきた。

山下清(1922～1971)は、12歳の時に八幡学園へ入園し、そこで貼絵に出会い、才能を開花させた。山下清をはじめ、八幡学園の仲間たちである石川謙二(1926～1952)・沼祐一(1925～1943)・野田重博(1925～1945)は、それぞれに障害を抱えながらも「美」に対するたぐい稀なる「天性」を感じさせる作品を多数残している。4人の作品100余点と合わせて、山下清の放浪日記、習字、学園での思い出の写真なども公開し、数々の作品から、その表現のうちに込められた、生命の表現力の煌めきを来館者に感じてもらうことを目的とした展覧会。

B2 ポスター	150 枚	A4 チラシ	45,000 枚	招待券	5,000 枚
B3 ポスター	450 枚	観覧券	7,500 枚	ファミリーチケット	15,000 枚

関連イベント

記念講演会

なぜ? どうして? - 真実を求めた山下清

講師	松岡一衛(社会福祉法人 春濤会 八幡学園 理事)
日時	9月17日(日) 14:00～15:30
会場	映像ホール
参加者数	60名

貼絵ワークショップ

あったらいいな、こんなチョウチョ

講師	松田拓実(障害者造形教育研究指導員・ 八幡学園造形教室講師)
日時	9月3日(日) 14:00～16:00
会場	3階体験学習室
参加者数	18名

学芸員によるギャラリートーク

日時	9月23日(土・祝) 14:00～
会場	企画展示室 1
参加者数	30名

連携特集上映プログラム

アートへの情熱

日時	9月2日、3日、9日、10日、23日、24日、30日、 10月1日(各日11:30～/14:00～)
会場	映像ホール
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小・中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

上映作品 『放浪の画家ピロスマニ』(1969)
『FOUJITA』(2015)
『百日紅～Miss Hokusai』(2015)

『アキレスと亀』(2008)
『まひるのほし』(1999)
『虹をかける子どもたち』(1980)



出品番号	作家名	作品名	制作年	制作年齢	種別・材質	サイズ
1	山下清	金魚	1934年(昭和9)	12歳	貼絵・紙	14.5×19.0cm
2	山下清	はえ	1934年(昭和9)	12歳	貼絵・紙	14.5×19.0cm
3	山下清	蝶々	1934年(昭和9)	12歳	貼絵・紙	14.5×19.0cm
4	山下清	クリスマス	1935年(昭和10)	13歳	貼絵・紙	29.0×29.5cm
5	山下清	ラジオ体操	1936年(昭和11)	14歳	貼絵・紙	29.0×37.4cm
6	山下清	蝶々のさなぎとかたつむり	1936年(昭和11)	14歳	鉛筆・紙	18.6×18.8cm
7	山下清	蝶々	1936年(昭和11)	14歳	鉛筆・紙	18.0×27.6cm
8	山下清	かまきり	1936年(昭和11)	14歳	鉛筆・紙	18.0×27.6cm
9	山下清	こがね虫	1936年(昭和11)	14歳	鉛筆・紙	18.0×27.6cm
10	山下清	虫	1936年(昭和11)	14歳	鉛筆・紙	18.6×27.6cm
11	山下清	国旗掲揚	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	25.5×33.2cm
12	山下清	便所をくんでる所	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	28.6×37.6cm
13	山下清	りはつ	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.0×37.4cm
14	山下清	せんたく	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.0×37.4cm
15	山下清	お化け	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.4×37.6cm
16	山下清	江戸川の花火	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.4×37.8cm
17	山下清	勉強	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.4×37.8cm
18	山下清	八幡学園の運動会	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.0×37.6cm
19	山下清	花ととんぼ	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.4×38.4cm
20	山下清	プール	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	58.4×74.6cm
21	山下清	遠足(江戸川)	1937年(昭和12)	15歳	貼絵・紙	29.4×38.0cm
22	山下清	自分の顔	1938年(昭和13)	16歳	貼絵・紙	37.2×28.8cm
23	山下清	汽車	1938年(昭和13)	16歳	貼絵・紙	58.4×75.8cm
24	山下清	学校で活動写真を写している所	1938年(昭和13)	16歳	貼絵・紙	58.8×77.4cm
25	山下清	お花見	1939年(昭和14)	17歳	貼絵・紙	58.2×76.0cm
26	山下清	江戸川	1939年(昭和14)	17歳	貼絵・紙	58.6×76.6cm
27	山下清	八幡様のお祭り	1939年(昭和14)	17歳	貼絵・紙	58.0×76.0cm
28	山下清	思い出した八幡様のお祭り	1939年(昭和14)	17歳	貼絵・紙	58.4×76.2cm
29	山下清	のしめらん	1939年(昭和14)	17歳	貼絵・紙	24.8×30.6cm
30	山下清	かぼちゃの花	1940年(昭和15)	18歳	貼絵・紙	25.0×30.5cm
31	山下清	江の島	1949年(昭和24)	27歳	貼絵・紙	54.0×76.6cm
32	山下清	東京の焼けたとこ	1949年(昭和24)	27歳	貼絵・紙	53.6×75.0cm
33	山下清	晩秋	1949年(昭和24)	27歳	貼絵・紙	54.0×76.2cm
34	山下清	トンネルのある風景	1949年(昭和24)	27歳	貼絵・紙	53.8×75.2cm
35	山下清	大東亜戦争	1949年(昭和24)	27歳	貼絵・紙	54.0×76.7cm
36	山下清	八幡学園	1950年(昭和25)	28歳	貼絵・紙	61.6×173.8cm
37	山下清	つつじ	1950年(昭和25)	28歳	貼絵・紙	44.0×39.2cm
38	山下清	カーネーション	1951年(昭和26)	29歳	貼絵・紙	35.8×25.6cm
39	山下清	田舎の精神病院	1950年(昭和25)	28歳	貼絵・紙	61.6×87.6cm
40	山下清	草津温泉の露天風呂	1954年(昭和29)	32歳	貼絵・紙	54.0×76.2cm
41	山下清	島田駅で金を勘定しているところ	1954年(昭和29)	32歳	鉛筆・紙	17.0×25.0cm
42	山下清	『生と死のはじまり』の本を読んだ時のこと	1954年(昭和29)	32歳	鉛筆・紙	17.0×25.0cm
43	山下清	伊香保温泉のろてん風呂で泊まっているところ	1954年(昭和29)	32歳	鉛筆・紙	17.0×25.0cm
44	山下清	五泉駅で巡査と話しているところ	1954年(昭和29)	32歳	鉛筆・紙	17.0×25.0cm
45	山下清	鉄橋を渡る時のこと	1954年(昭和29)	32歳	鉛筆・紙	17.0×25.0cm
46	山下清	警察のよび隊	1954年(昭和29)	32歳	鉛筆・紙	17.0×25.0cm
47	山下清	あおき	1951年(昭和26)	29歳	油彩・木	21.0cm(円形)
48	山下清	八重桜	1951年(昭和26)	29歳	油彩・木	21.0cm(円形)
49	山下清	両国の花火	1955年(昭和30)	33歳	油彩・カンヴァス	60.6×72.7cm
50	山下清	清の見た夢	1958年(昭和33)	36歳	貼絵・紙	54.0×76.0cm
51	石川謙二	宗教画(挿絵/紙模写)	1937年(昭和12)	11歳	ペン・紙	38.2×29.0cm
52	石川謙二	宗教画(挿絵/紙模写)	1937年(昭和12)	11歳	ペン・紙	38.2×29.0cm
53	石川謙二	日本の風物(挿絵/紙模写・太田道灌)	1937年(昭和12)	11歳	ペン・紙	29.2×37.6cm
54	石川謙二	日本の風物(挿絵/紙模写・果物の収穫)	1937年(昭和12)	11歳	ペン・紙	37.6×29.2cm
55	石川謙二	雪の町	1938年(昭和13)	12歳	クレパス・紙	54.2×76.0cm
56	石川謙二	メリークリスマス	1938年(昭和13)	12歳	クレパス・紙	58.4×76.4cm
57	石川謙二	学園の風呂場	1938年(昭和13)	12歳	クレパス・紙	76.4×58.6cm
58	石川謙二	土俵まつり	1940年(昭和15)	14歳	クレパス・紙	58.4×76.2cm
59	石川謙二	メリーゴーランド	1938年(昭和13)	12歳	クレパス・紙	58.6×77.4cm
60	石川謙二	魚採り	1938年(昭和13)	12歳	クレパス・紙	76.2×58.4cm
61	石川謙二	運動会	1939年(昭和14)	13歳	クレパス・紙	58.0×76.2cm
62	石川謙二	ブランコ	1938年(昭和13)	12歳	クレパス・紙	76.4×58.6cm
63	石川謙二	江戸川でボート遊び	1939年(昭和14)	13歳	クレパス・紙	58.2×76.0cm
64	石川謙二	おわかれ	1939年(昭和14)	13歳	クレパス・紙	58.4×76.0cm
65	石川謙二	消防自動車	1939年(昭和14)	13歳	クレパス・紙	57.8×76.2cm

出品番号	作家名	作品名	制作年	制作年齢	種別・材質	サイズ
66	石川謙二	学園近くの広場で野球	1939年(昭和14)	13歳	クレパス・紙	53.6×75.4cm
67	石川謙二	救世軍の募金活動	1939年(昭和14)	13歳	クレパス・紙	58.6×77.2cm
68	石川謙二	学園前の整地作業	1940年(昭和15)	14歳	クレパス・紙	58.6×74.0cm
69	石川謙二	町の理髪店	1940年(昭和15)	14歳	クレパス・紙	58.6×76.4cm
70	石川謙二	大根の収穫作業	1941年(昭和16)	15歳	クレパス・紙	58.6×76.0cm
71	石川謙二	三笠映画劇場	1948年(昭和23)	22歳	クレパス・紙	58.6×76.0cm
72	石川謙二	上野駅の省線乗り場	1948年(昭和23)	22歳	クレパス・紙	58.4×76.4cm
73	石川謙二	学園の医務室	1950年(昭和25)	24歳	クレパス・紙	53.6×76.6cm
74	石川謙二	お祈り	1950年(昭和25)	24歳	クレパス・紙	76.8×53.6cm
75	沼祐一	ひと(仮題:学園の広場で絵を描いて遊ぶ)	1938年(昭和13)	13歳	クレヨン・紙	38.0×28.8cm
76	沼祐一	どうぶつ(仮題:草原でにらめっこするどうぶつ)	1938年(昭和13)	13歳	クレヨン・紙	29.0×38.2cm
77	沼祐一	ひととどうぶつ(仮題:どうぶつの世話をする少年)	1938年(昭和13)	13歳	クレヨン・紙	37.8×28.4cm
78	沼祐一	ひと(仮題:椅子に座る園長先生)	1939年(昭和14)	14歳	クレヨン・紙	37.6×28.8cm
79	沼祐一	ひとといろいろ(仮題:人と整列したいいろいろ)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵、クレヨン・紙	38.2×29.2cm
80	沼祐一	どうぶつ(仮題:三匹のどうぶつ)	1940年(昭和15)	15歳	クレヨン・紙	18.0×37.8cm
81	沼祐一	どうぶつ(仮題:飼いや桶と馬)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	29.6×34.2cm
82	沼祐一	ひと(仮題:黄色い服を着た仲間に話しかける少年)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	29.0×38.2cm
83	沼祐一	ひと(仮題:オレンジ色の服を着た少女)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	38.0×29.4cm
84	沼祐一	ひとといろいろ(仮題:夢に出てきたいろいろ)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	29.0×37.6cm
85	沼祐一	ひと(仮題:二人で散歩)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	38.0×29.0cm
86	沼祐一	ひとといろいろ(仮題:どうぶつたちに囲まれた少年)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	37.6×29.0cm
87	沼祐一	ひと(仮題:赤い帽子を被って喜ぶ)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	38.2×29.2cm
88	沼祐一	ひと(仮題:赤い服と赤い帽子の少年)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	37.4×29.2cm
89	沼祐一	ひととどうぶつ(仮題:木の回りに集まる人といろいろ)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	38.0×29.2cm
90	沼祐一	ひと(仮題:赤い顔の少年)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	37.6×29.0cm
91	沼祐一	ひと(仮題:赤い目をした少年)	1940年(昭和15)	15歳	貼絵・紙	38.2×29.4cm
92	沼祐一	どうぶつ(仮題:犬)	1941年(昭和16)	16歳	貼絵・紙	29.0×37.6cm
93	沼祐一	ひと(仮題:座っている少年二人)	1941年(昭和16)	16歳	貼絵・紙	38.0×29.0cm
94	沼祐一	ひと(仮題:園長先生)	1942年(昭和17)	17歳	貼絵・紙	37.6×29.0cm
95	野田重博	花と虫のいろいろ	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.6×77.4cm
96	野田重博	田園遠足	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.0×72.0cm
97	野田重博	外から見た八幡学園	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.8×76.6cm
98	野田重博	潮干狩り	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.8×76.6cm
99	野田重博	剣道具	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.2×77.4cm
100	野田重博	せんたく	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.6×76.2cm
101	野田重博	木工作业	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.6×76.4cm
102	野田重博	農園芝作業	1938年(昭和13)	13歳	クレパス・紙	58.6×76.2cm
103	野田重博	夜行列車	1939年(昭和14)	14歳	クレパス・紙	58.6×77.0cm
104	野田重博	映画を見ているところ	1941年(昭和16)	16歳	貼絵・紙	56.0×74.6cm

関連資料

作家名	作品名	点数	種別・材質	サイズ
山下清	習字	(2点)	墨・紙	
山下清	放浪日記(自筆)	(7点)	鉛筆・紙(ノート)	25.7×18.2cm
山下清	学園日誌(自筆)	(3点)	鉛筆・紙	36.4×25.7cm
山下清	放浪をやめる誓い(自筆)	(1点)	鉛筆・紙(自筆原稿)	29.7×21.0cm
山下清	漢字練習	(2点)	墨・紙	36.4×25.7cm
山下清	関連図書	(15点)	書籍	18.8×12.7cm
石川謙二	習字	(2点)	墨・紙	
石川謙二	絵日記帳	(1点)	鉛筆・紙(ノート)	25.7×18.2cm
野田重博	絵日記帳	(1点)	鉛筆・紙(ノート)	25.7×18.2cm
野田重博	習字	(3点)	墨・紙	
	写真	(85点)	パネル	
	解説	(80点)	パネル	

※作品はすべて社会福祉法人 春湧会 八幡学園蔵
※記載順は会場の展示順とは一部異なることがあります。

ハイチアート展



会場 企画展示室 1
 会期 2017年9月2日(土)～11月26日(日)
 日数 73日
 来館者数 5,586人
 観覧料 一般300円(240円)、65歳以上・大学生・高校生200円(160円)
 中学生以下無料
 ※9月18日(月・祝)敬老の日は65歳以上無料
 ※「山下清とその仲間たちの作品展」観覧券の半券で100円割引
 ※中原区民祭当日は観覧料無料

主催 川崎市市民ミュージアム
 後援 ハイチ共和国大使館
 協力 佐藤文則

1492年にコロンブスが到達して以来、様々な国の支配下におかれたハイチは、1804年にフランスから独立して世界初の黒人による共和国として誕生した。フランス植民地時代には、人々の間に芸術に親しむ環境が醸成され、フランス人仕込みで絵の描き方を学んだ人々は、ハイチの美しい自然や素朴な民衆の生活をモチーフに、ハイチの文化を象徴する「ハイチ絵画」を誕生させた。南国的で華やかな色彩の、擬人化された動物たちや幻想的な風景、ブドゥー教信仰を背景とした精霊の姿などを描いたハイチの芸術は、世界的に高い評価を受けている。明るく、楽しく、そして優しい人間愛と自然への親しみに満ちたハイチアートの数々を来館者に感じてもらうことを目的に開催した。

B2 ポスター	150 枚	A4 チラシ	45,000 枚	招待券	5,000 枚
B3 ポスター	450 枚	観覧券	7,500 枚		

関連イベント

対話型鑑賞ツアー ハイチアートでゆる〜っとオシャベリ鑑賞会

日時 10月21日(土) 14:00～15:00
 会場 企画展示室2
 参加者数 6名

親子向け対話型鑑賞ツアー 親と子べつべつ!? オシャベリ鑑賞会

日時 11月11日(土) 11:00～11:45
 会場 企画展示室2
 対象 児童(5歳～小学6年生)と保護者
 参加者数 19名

ミニホール上映 牛山純一ドキュメンタリー ハイチ・カリブ海シリーズ

日時 9月24日(日)、10月29日(日)、11月18日(土)
 14:00～15:00
 会場 ミニホール
 料金 無料
 参加者数 計27名



1. ハイチの風景と精霊たち

出品番号	作家名	作品名	種別・材質	寸法 (cm)	出品番号	作家名	作品名	種別・材質	寸法 (cm)
1	J.N.E. キャデ	ゴナイヴの農場風景	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	9	ジェラルド・ロワソー	山の畑	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0
2	J.N.E. キャデ	ゴナイヴの農場風景	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	10	フォーレスト・アヴリール	幻想の森	アクリル、カンヴァス	41.0×31.0
3	J.N.E. キャデ	ゴナイヴの農場風景	アクリル、カンヴァス	61.0×61.0	11	フォーレスト・アヴリール	妖精のいる風景	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0
4	P.E. リベルタン	海岸の今の眺めと農園	アクリル、カンヴァス	52.0 (直径)	12	プレファート・デュフォ	空想都市	アクリル、カンヴァス	50.0×40.5
5	P.E. リベルタン	海岸の今の眺めと農園	アクリル、カンヴァス	52.0 (直径)	13	ブロスベール・ピエール・ルイ	ロアス	アクリル、カンヴァス	100.0×75.5
6	R. コンスタン	農園の滝とフラミンゴ	アクリル、カンヴァス	60.5×50.5	14	ブロスベール・ピエール・ルイ	ロアス	アクリル、カンヴァス	76.0×52.0
7	ジャン・ダヴィット・ブルシコー	ジャクメル地方の農場のくらし	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	15	ドネ・スマミス	ロアス (教祖)	アクリル、カンヴァス	101.0×75.0
8	ジャン・ダヴィット・ブルシコー	ジャクメル付近の農場のくらし	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0	16	ドネ・スマミス	ロアス (教祖)	アクリル、カンヴァス	101.0×75.0

2. ハイチの自然と動物たち

17	フィルトン・ラトルチュール	狼の子を連れて散歩するライオン のカップル	アクリル、カンヴァス	101.0×76.0	30	オーデ・ソール	愛しあっている2匹の犬	アクリル、カンヴァス	121.0×75.0
18	フィルトン・ラトルチュール	畑にいく狼とライオンの女の子	アクリル、カンヴァス	101.0×76.0	31	ジャック・フリッツ	ジャングル	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0
19	アルボット・ボナム	楽園	アクリル、カンヴァス	103.0×57.0	32	ジャン・クロード・ポール	花の中のおうむ	アクリル、カンヴァス	50.5×40.5
20	アルボット・ボナム	楽園	アクリル、カンヴァス	73.0×43.0	33	ジャン・クロード・ポール	花の中のにわとりたち	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0
21	アルボット・ボナム	楽園	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	34	ジョエル・ゴーチエ	ジャングル	アクリル、カンヴァス	30.5×101.5 (2枚組)
22	アンリ・ロベール・ブレジル	森とフラミンゴ	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0	35	フリッツ・メリーズ	ライオンと虎	アクリル、カンヴァス	60.0×60.0
23	ジョサフォ・ティゼン	森の中の3頭の一角獣	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	36	デニス・ルソー	ハイチ島	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0
24	ギー・ジョセフ	ラプトルリー	アクリル、カンヴァス	68.0×80.0	37	B. ラジュウネス	田舎の静かな一日	アクリル、カンヴァス	40.5×50.5
25	ジャン・クロード・フェリックス	森の中のおうむ	アクリル、カンヴァス	75.0×40.0	38	フリッツネ・ラムール	かわいい浜辺	アクリル、カンヴァス	40.0×50.0
26	ジャン・クロード・フェリックス	森の中のおうむ	アクリル、カンヴァス	75.0×50.0	39	モーリス・ヴィタル	海底	アクリル、カンヴァス	40.0×61.0
27	イオン・ジャン・ピエール	ジャングル	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0	40	フレデリック・ピエール	不思議な果物のなる木	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0
28	オーデ・ソール	バナナの房	アクリル、カンヴァス	121.0×75.0	41	フレデリック・ピエール	不思議な果物のなる木	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0
29	オーデ・ソール	ドライブする2匹の犬	アクリル、カンヴァス	120.0×75.0					

3. ハイチの工芸とドラムアート

42	制作者不詳	イヴと蛇	ドラムアート (鉄板/彫金)	86.0×61.0	53	制作者不詳	家	ドラムアート (鉄板/彫金)	43.0×40.0
43	ロメル・バラン	満月	ドラムアート (鉄板/彫金)	60.0×60.0	49	制作者不詳	二匹のあひる	ドラムアート (鉄板/彫金)	33.0×45.0
44	ピヤン・エメ	イノセンス	ドラムアート (鉄板/彫金)	61.0×53.0	51	制作者不詳	ハイビスカス	ドラムアート (鉄板/彫金)	40.0×55.0
47	ピヤン・エメ	女性の解放	ドラムアート (鉄板/彫金)	55.0×57.0	48	制作者不詳	にわとり	ドラムアート (鉄板/彫金)	42.0×42.0
46	ロメル・バラン	人魚	ドラムアート (鉄板/彫金)	54.0×42.0	50	制作者不詳	鳥	ドラムアート (鉄板/彫金)	35.0×35.0
45	ロメル・バラン	ケンタウロス	ドラムアート (鉄板/彫金)	60.0×36.0	55	ポール・ジン・ピエール	ボートピープル	木彫	15.0×90.0×15.0
52	制作者不詳	バス	ドラムアート (鉄板/彫金)	40.0×46.0	56	ポール・ジン・ピエール	ボートピープル	木彫	13.0×88.0×15.0
54	制作者不詳	家	ドラムアート (鉄板/彫金)	50.0×42.0	57	制作者不詳	ハイチの工芸品	木彫など23点	

4. ハイチの人々と暮らし

59	デュードンネ・ルアネ	小舟の中での魔教の祭り	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0	69	フィルトン・ラトルチュール	海岸のくらし	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0
60	レイモンド・ラファイユ	サンマルク市場の女たち	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	70	フィルトン・ラトルチュール	海岸のくらし	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0
61	フリッツ・メリーズ	婦人専用のバス	アクリル、カンヴァス	50.0×40.0	71	ジャン・ダヴィット・ブルシコー	村の魔教の祭りの情景	アクリル、カンヴァス	101.0×76.5
62	カリクスト・アンリ	円いテーブルのそばに腰かける女	油彩、カンヴァス	39.5×31.5	72	カリー・ドルサンヴィル	ハイチ峠通りのデモ行進	アクリル、カンヴァス	51.0×60.0
63	カリクスト・アンリ	花を持つ少女たち	油彩、カンヴァス	66.0×66.0	73	M.C.V. ラトルチュール	海岸の散歩	アクリル、カンヴァス	50.0×40.0
64	レオネール・ピエール	ハイチ岬の村落風景	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0	74	アブネル・デュビック	村のくらし	アクリル、カンヴァス	60.0×50.0
65	クロード・ダンブレビュー	市場風景	アクリル、カンヴァス	75.0×100.0	75	J. キュビドン	村の中にあがる風	アクリル、カンヴァス	50.5×60.5
66	ジャン・エデュアル	ハイチ岬の子どもたち	アクリル、カンヴァス	50.0×60.0	76	J.N.P. ピエール	畑ごと	アクリル、カンヴァス	60.0×50.5
67	ジャン・エデュアル	結婚式	アクリル、カンヴァス	60.0×40.0	77	J. ピエール	市場風景	アクリル、カンヴァス	100.0×75.0
68	フレデリック・ピエール	のっぽの家	アクリル、カンヴァス	101.0×38.0	78	カジミール	鬮鶏	アクリル、カンヴァス	60.0×80.0

レンズがとらえたハイチ

79	佐藤文則	ヴードゥーの民	写真パネル 22点
----	------	---------	-----------

※作品は全て個人蔵



国産アニメーション誕生 100 周年記念

にっぽんアニメーションことはじめ ～「動く漫画」のパイオニアたち～



会場 アートギャラリー 2、3
 会期 2017年9月2日(土)～12月3日(日)
 日数 79日
 観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム
 企画協力 Animation As Communication
 原版協力 松本夏樹
 協力 京都国際マンガミュージアム / 京都精華大学国際マンガ研究センター、
 おもちゃ映画ミュージアム、東京国立近代美術館フィルムセンター、
 大阪府立中央図書館国際児童文学館、和歌山県立近代美術館、
 音楽学校メーザー・ハウス

国産初とされるアニメーションは 1917 年 1 月、浅草六区の映画館で公開された。同年のうちに 3 つの映画会社からそれぞれ作品が製作・公開され、日本のアニメーション文化はここに始まる。本展では日本のアニメーション史 100 年を記念して、最初期のアニメーション製作に挑んだ 4 人の作家たちの足跡を丹念に追いかけて、その顕彰を行った。

アートギャラリー 3 で、100 年前に製作されたアニメーションの謎と、戦前期の知られざる漫画とアニメーションの相互影響に迫った「にっぽんアニメーションことはじめ」展を。アートギャラリー 2 では日本初のアニメーション映画を作った漫画家の下川凹天の生涯を、当館に収蔵されている遺品資料を元に追った「漫画家下川凹天 その、テンテンたる生涯」展をそれぞれ開催した。

関連イベント

ワークショップ

森のなかでアニメーションをつくろう！

講師 モリシタトヨミ（アニメーション作家 / 研究者）
 高田苑実（アニメーション / 映像作家）
 日時 10月15日(日) 13:30～16:00
 会場 1F 逍遙展示空間およびミュージアム周辺
 対象 小学生～高校生
 参加者数 13名

下川凹天トリビュートアニメーション & 現代の作家たちの作品上映会

参加作家 みなまるこ、ヨシムラエリ、モリシタトヨミ、
 永田ナフミ、薩摩浩子、高田苑実、山北麻由子、
 おはらひでかず 他
 日時 11月19日(日) 13:30～16:00
 会場 ミニホール
 参加者数 40名

対談

銀河鉄道の夜

講師 杉井ギサブロー（アニメーション映画監督）
 原口正宏（アニメーション研究者）
 日時 11月12日(日) 14:00の回の上映終了後
 会場 映像ホール

国産アニメーション 100 周年記念イベント

初期アニメーション作品上映 & 記念講演

日時 10月22日(日) 上映 11:30～、14:00～ / 講演 15:00～
 会場 映像ホール
 入場料 上映 (1 プログラムにつき ※ 入れ替え制)
 一般 600 円、大学・高校生・65 歳以上 500 円、小中学生 400 円
 (小中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方及びその介助者無料)
 ※ 講演は無料
 参加者数 90 名 (講演会)

上映プログラム①

「くもとちゅうりっぷ」(1943)
 「桃太郎 海の神兵」(1945)

上映プログラム②「蘇ったフィルムたちー蘇ったアニメーション」

弁士 + 伴奏つき上映 (弁士: 片岡一郎 / ピアノ伴奏: 上屋安由美)
 「なまくら刀 (塙内名刀之巻)」(1917)
 「浦島太郎」(1918 頃)
 「漫画 瘤取り」(1929)

音声版上映

「黒ニャゴ」(1929)
 「茶目子の一日」(1931)
 「幽霊船 (YUUREISEN)」(1956)

記念講演「アニメーション史を訪ねた男、100 年を語る」

講師 山口且訓（アニメーション研究者 / 「日本アニメーション映画史」共著者）
 原口正宏（アニメーション研究者）

関連上映プログラム

スクリーンに蘇る！アニメーション傑作選

日時 10月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)・28日(土)・29日(日)
11月11日(土)、12日(日)、18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日)
各日 11:30～/14:00～

会場 映像ホール

料金 一般 600円、65歳以上・大学生・高校生 500円、小中学生 400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介助者無料)

上映作品 『バンダコバンダ』(1972)+『バンダコバンダ 雨ふりサーカス』(1973)
コマ撮りアニメーション短編集《岡本忠成と川本喜八郎》
『くもとちゅうりっぷ』(1943)+『桃太郎 海の神兵』(1945, 2016)
『紫式部 源氏物語』(1987)
『カムイの剣』(1985)
『銀河鉄道之夜』(1985)
『幻魔大戦』(1983)
『少年ケニヤ』(1984)
『千年女優』(2001)



セクション 1							
作者名	作品名・資料名・掲載誌等	制作年	所蔵	作者名	作品名・資料名・掲載誌等	制作年	所蔵
下川凹天	Oten Shimokawa のサイン	1910年頃		不詳	『端書ボンチ』切抜帖(『萬朝報』)	1909年頃	個人蔵
下川凹天	王天と読めるサイン	1911年		前川千帆	口絵(『家庭バック』1巻6号)	1912年9月	
下川凹天	『三人上戸』(『東京バック』11巻15号)	1915年6月		前川千帆	『夕立ちに逢った木戸郎の浅智恵』(『楽天バック』2巻16号)	1913年8月	
下川凹天	『カイゼルは世界平和退治の功労者 死の神の寵児』(『東京バック』11巻18号)	1915年7月		前川千帆	『バック誌 八月廿日より九月三日迄』(『楽天バック』2巻18号)	1913年9月	
下川凹天	『ボンチ肖像:付ボンチ似顔の描き方』	1916年10月		前川千帆	『バック生の旅行』(『楽天バック』2巻22号)	1913年11月	
下川凹天	写真アルバム2(主に東京漫画会関係の写真がまとめられている)	不詳		前川千帆	『支那人町(一)』(『ほととぎす』19巻11号)	1916年8月	個人蔵
幸内純一	『西郷の洗濯』(『東京バック』5巻20号)	1909年7月		北山清太郎・編/ 日本洋画協会・発行	『現代の美術 特別号 ミレー評伝』31号	1914年10月	個人蔵
幸内純一	『簡易輸入法』(『東京バック』5巻30号)	1909年7月		漫画社	『漫画』1巻2号	1917年2月	
楽天社	『楽天バック』1巻8号 御大葬記念画帖	1913年10月					
セクション 2							
北澤楽天	『凸坊の悪戯』(『時事新報』1903年12月20日)	1903年12月20日	個人蔵	武藤山治・著/ 幸内純一・伴奏漫画	『普通のススメ』	1926年11月	個人蔵
下川凹天	『日本初の漫画映画制作の思い出』(『映画評論』100号)	1934年7月		幸内純一	『しのだの森』(『少女倶楽部』9巻3号)	1931年3月	個人蔵
下川凹天	『活動漫画フィルム』(『漫画漫文 凸凹人間』)	1925年7月		幸内純一	『線画・影絵・人形映画の作り方』(『小型映画講座2 映画製法』)	1931年6月	個人蔵
幸内純一	『現代漫画映画に就いて』(『東陽』1巻6号)	1936年10月	個人蔵	原田三夫・共編	『小型映画の写し方』(『アルス最新写真大講座』15巻)	1935年10月	個人蔵
北澤楽天	『チャプリンの日本渡来』(『時事新報』1918年8月18日)	1918年8月18日	個人蔵	吉川遼男			
岡本一平	犬の生活(『チャップリンせんべい』デザイン原画)	不詳			『ちょん切れ蛇』広告(『キネマ旬報』388号)	1931年1月	
岡本一平	黄金狂時代(『チャップリンせんべい』デザイン原画)	不詳		前川千帆	女房談本 野球講座	不詳	
藤井一郎	『漫画物語 ヴェヌスの月』(『キング』2巻8号)	1926年8月	個人蔵	作者不詳	『幼年世界活動写真 金太郎』(『幼年世界』8巻4号)	1918年4月	個人蔵
榎本松之助	『チャプリン』	1919年12月	個人蔵	作者不詳	『幼年世界活動写真 一寸法師』(『幼年世界』8巻5号)	1918年5月	個人蔵
作者不詳	『禍?幸?』(『報知新聞』付録『婦人子供報知』9号)	1931年7月	個人蔵	大城のぼる	『汽車旅行』	1941年12月	
下川凹天	『芋川椋三(連載第1回)』(『東京バック』11巻20号)	1915年8月		下川凹天	『漫画トーカーについて』(『実習指導漫画の描き方』)	1943年3月	個人蔵
下川凹天	『芋川椋三とブル(連載第2回)』(『東京バック』11巻21号)	1915年9月		作者不詳	『特殊漫画の作り方』(『漫画家養成講義録』)	1935年頃	個人蔵
下川凹天	『芋川椋三とブル(連載第3回)』(『東京バック』11巻22号)	1915年9月		幸内純一	『トーカー漫画の作り方』(『漫画講座』2巻)	1934年2月	個人蔵
下川凹天	『芋川椋三とブル(連載第5回)』(『東京バック』11巻24号)	1915年10月					
セクション 3							
							*: おもちゃ映画ミュージアム蔵
	玩具映画映写機	1930年代	*	吉本三平	『コグマノコロスケ』(『幼年倶楽部』11巻12号付録)	1936年12月	
	玩具映画フィルムとフィルム缶	1930年代	個人蔵	倉倉良行	『アケレカヘルの助③』(『主婦之友絵本』)	1936年8月	
織田小星・作/ 榎島勝一・画	『お伽正チャンの冒険』巻の巻	1924年10月		中島菊夫	『孝行ボン吉』(『主婦之友絵本』)	1937年8月	
ジョージ・マクマナス	『おやち教育』 『アサヒグラフ』1巻1号	1923年11月	個人蔵	新高製菓業芸部	『ウマイモン太郎』6巻5号	1938年1月	
ジョージ・マクマナス	『親爺教育:ジグスとマギー』第一集	1924年11月		オカシノクニ社	『漫画学校』23巻3号	1939年3月	
麻生豊	『ノンキナトウサン』味の素広告 (『東京日日新聞』1928年11月28日)	1928年11月28日	個人蔵		『講談社の絵本 4号 漫画傑作集』	1936年12月	
					『講談社の絵本 7号 大笑漫画集』	1937年1月	
					『講談社の絵本 10号 漫画博覧会』	1937年2月	
榎本松之助	『大冒険活劇』	1925年7月	個人蔵	東京日日新聞社	『東日小学生新聞』1157号	1940年6月9日	個人蔵
湯浅条策	『正チャンの名探偵』	1926年11月	個人蔵	読売新聞社	『よみうり少年新聞』104号	1934年7月22日	個人蔵
湯浅条策	『正チャンの大活動』	1926年6月	個人蔵	東京日日新聞社	『コドモクラブ』『東京日日新聞』付録	1937年2月7日	個人蔵
丁子堂薬房	ジグスを使用した広告(『お疾権威劇 ヒット』)	制作年不詳	個人蔵	長崎放送	『漫画劇 ぬげドンちゃん』JOAK 放送台本	不詳	個人蔵
榎本進一郎	『正チャン文庫』(17点)	1924年~1926年頃			『ミッキー・マウス』広告(『キネマ旬報』422号)	1932年1月	
田河水泡	『漫画の缶詰』	1930年3月			『ポパイとベディ・ブープ』広告(『キネマ旬報』524号)	1933年11月	
田河水泡	『漫画常設館』	1931年	個人蔵	矢口弓助	『米国の漫画家の話』(『ユウモア』1号)	1926年12月	
田河水泡	『のらくろ上等兵』	1932年	個人蔵	Frank KING	『Gasoline Alley』不詳(アメリカの新聞付録)	1924年12月21日	個人蔵
田河水泡	『のらくろ伍長』	1933年	個人蔵	Harold GRAY	『Little Orphan Annie』(不詳(アメリカの新聞付録))	1925年	個人蔵
田河水泡	『のらくろ軍曹』	1934年12月		Floyd GOTTFREDSON	『ミッキーマウス銭タクの巻』(『新青年』12巻5号(復刻版))	1931年4月	
田河水泡	『のらくろ小隊長』	1936年	個人蔵	F		復刻版1995年8月	個人蔵
田河水泡	『のらくろ少尉』	1937年5月		loyd GOTTFREDSON	『MICKEY MOUSE』	2011年	個人蔵
田河水泡	『のらくろ決死隊長』	1938年	個人蔵	清水俊二	『映画随筆 ミッキー・マウスの筆者』(『婦人公論』22巻6号)	1937年6月	個人蔵
田河水泡	『のらくろ武勇談』	1938年	個人蔵	笹見恒夫	『ミッキー・マウス』(『報知新聞』付録『日曜報知』140号)	1933年1月	個人蔵
田河水泡	ヘンテコ助(『主婦之友』掲載作品)	1938年			『やんちゃガア助』(『東京日日新聞』付録『コドモクラブ』)	1936年12月20日	個人蔵
芳賀たかし	『ばくらの燈台』	1940年12月		謝花凡太郎	『ミッキーの活躍』	1934年5月	個人蔵
新聞青花	『チビ連隊長』	1938年3月		不詳	キッコーマン醤油 広告(『よみうり少年新聞』77号)	1933年5月	個人蔵
根岸幸一	『勇敢ボンチャン』	1938年3月		ウォルト・ディズニー	『主婦之友』特約 ミッキー・マウス(『主婦之友』18巻8号)	1934年7月	個人蔵
謝花凡太郎	『まんが牛若丸』	1938年9月		日本ビクター蓄音器 株式会社	『ミッキーのペンキ屋』	1935年頃	個人蔵
謝花凡太郎	『とんまひん助』	1935年1月					
謝花凡太郎	『北支線戦 快速兵ちゃん部隊』	1937年1月		吉本三平	『街に出たミッキー・マウス』(『実業之日本』36巻13号)	1933年7月	個人蔵
謝花凡太郎	『まんが太閤記』	1937年6月		不詳	『白雪姫』広告(『キネマ旬報』662号)	1938年11月	個人蔵
コドモ・オトギ	『漫画の忍術漫遊』	1933年3月		赤坂一郎・訳/ 宮内秀雄・注	『白雪姫』(アメリカ映画シナリオシリーズ20)	1950年9月	
飯澤天羊	『のらくら軍曹』	1935年3月					
千葉さかえ	『漫画博覧会』	1932年10月		手塚治虫	『親爺教育』のジグスとマギーの登場シーン (『手塚治虫~過去と未来のイメージ展』 図録付録『幽霊男/勝利の日まで』)	1995年8月	
麻生豊	『長篇漫画 人生勉強只野凡兒』1巻~3巻	1934年					
大隆社	『コドモ漫画』1巻1号	1936年5月					
田河水泡、島田啓三	『のらくろ軍事探偵/ダン吉島の暴れ正月』 (『少年倶楽部』22巻1号付録)	1935年1月		手塚治虫	沢山のキャラクターが登場する群衆シーン (『ロストワールド 地球篇/宇宙篇』復刻版)	1948年12月 復刻版2011年10月	
島田啓三	『コロコロ探偵隊』(『主婦之友』1937年新年号、2月号付録)	1937年1、2月		手塚治虫	『メトロポリス(大都会)』	1949年9月	
田河水泡	『凸凹黒兵衛』(『少年倶楽部』14巻5号付録)	1933年5月					
映像上映展示							
					△: 東京国立近代美術館フィルムセンター蔵、◆: 原画協力 松本夏樹氏、*: 映像提供 おもちゃ映画ミュージアム		
幸内純一、前川千帆	なまくら刀(塙内名刀之巻)	1917年	△◆	おはらひでかず	芋川椋三&ブル妄想オープニング		
モリシタトヨミ	100年前のアニメーションの作り方	2017年	個人蔵	Disney	マン画 化猫騒ぎ(The Alice Comedies: Alice Chops the Suey)	2017年	個人蔵
高田苑実				Disney	ミッキー漫画クリスマス巻(Oswald the Lucky Rabbit)	1925年	*
みなまるこ	100 PARTY	2017年	個人蔵	Disney	ミッキーの二挺拳銃(Mickey Mouse: Two-Gun Mickey)	1927年頃	*◆
ヨシムラエリ	特技自慢!の巻 その1・その2	2017年	個人蔵	Fleischer	スピード違反(Betty Boop)	1934年	*
薩摩浩子	無題	2017年	個人蔵	不詳	正ちゃんの動物地獄	不詳	*
永田ナヲミ	椋三とブル	2017年	個人蔵	不詳	芝居騒動(のらくろ中尉とミッキー)	不詳	*◆
モリシタトヨミ	椋三とブル イノシシ編	2017年	個人蔵	不詳	タンクタンク砲突撃隊	不詳	*◆
高田苑実	ムクゾウとブル 浅草大逃走の巻	2017年	個人蔵	不詳	唯野凡兒 東京見物	不詳	*
山北麻由子	狩り・再び	2017年	個人蔵			不詳	*◆

「漫画家」下川凹天 —その、テンテンたる生涯— 出品目録

アートギャラリー 2

作者名	作品名・資料名・掲載誌等	制作年	所蔵	作者名	作品名・資料名・掲載誌等	制作年	所蔵
下川凹天	履歴書（自筆年譜）	1970年頃		下川凹天	「男やモメの巖さん」 （『読売サンデー漫画』1930年11月16日）	1930年11月16日	
	下川家系図（石橋正和氏筆 貞矩補筆）	不詳					
	下川家戸籍謄本	1900年代		下川凹天	「男やモメの巖さん」 （『読売サンデー漫画』1930年11月23日）	1930年11月23日	
下川凹天	写真アルバム1（主に前妻たま子との写真がまとめられている）	不詳					
	辞令書（父貞文の新里尋常小学校校長就任の辞令書）	1892年7月		下川凹天	「男やモメの巖さん」 （『読売サンデー漫画』1930年11月30日）	1930年11月30日	
有楽社	『東京パック』1巻1号	1905年4月					
下川凹天	活動写真館にて（18才頃の作品）	1909年頃		下川凹天	「男やモメの巖さん」 （『読売サンデー漫画』1931年1月18日）	1931年1月18日	
下川凹天	ほおづえの女（19才頃の作品）	1910年頃					
下川凹天	エドワード八世（16才頃の作品）	1907年6月		読売新聞漫画部	「歳晚戦線 合作マンガ」（『読売新聞』1931年12月28日）	1931年12月28日	個人蔵
下川凹天	ピスマルク（16才頃の作品）	1907年3月		前川千帆 / 下川凹天	「あわて者の熊さん / 男やもめの巖さん」 （『現代連続漫画全集』第1巻）	1935年11月	
下川凹天	新田孝三君（21才頃の作品）	1911年頃					
下川凹天	初冬画（14才の1月頃の作品）	1905年頃		不詳	「アベ・ダンサント」パンフレット No.3 （舞台「男やもめの巖さん」の公演情報掲載）	1933年10月	
下川凹天	12月13日と云う寒い日だった	1907年頃					
下川凹天	北沢家の髪ユイ女	1907年頃		下川凹天	「男やもめの巖さん」映画版と舞台版のステル	1933年頃	
下川凹天	『英雄武士画』（14歳頃に作った肉筆回覧誌）	1906年頃			「男やもめの巖さん」ステル（『キネマ旬報』477号）	1933年7月	
	得業証（陸軍陸地測量部時代の課程修了証）	1910年5月		下川凹天	「男やもめの巖さん」スクラップブック	不詳	
	『楽天パック』1巻1号	1912年6月		下川凹天	「剛チャンの人生日記」スクラップブック	不詳	
楽天社	「新総裁が出来たぞ」（『楽天パック』2巻20号）	1913年10月		下川凹天・編集	「漫画ページ」（『読売新聞』1930年8月4日）	1930年8月4日	個人蔵
下川凹天	「男爵沢沢栄一」（『ポンチ肖像附ポンチ似顔の描き方』）	1916年10月		下川凹天・編集	漫画特集欄（『新愛知』付録「家庭シナイチ」1巻12号）	1931年11月	個人蔵
	東海道漫画旅行 集合写真	1921年5月			出版契約書（4点）	1926年～1943年	
漫画社	『漫画』1巻3・5・6号	1917年3、5、6月		下川凹天	『漫画人物描法』	1925年10月	
下川凹天	「太平洋会議の四大強国首相」（『東京パック』14巻10号）	1921年10月		下川凹天	『漫画スケッチブックと描き方』	1928年10月	
下川凹天	表紙（『東京パック』16巻1号）	1923年1月		山口豊専	『終生一日うき世の絵ばなし』	1929年7月	個人蔵
東京漫画会同人	『東海道漫画紀行』	1922年5月		山口豊専	『山口豊専画集』	1991年4月	個人蔵
東京漫画会同人	『東京漫画会 第一回都漫画展覧会目録』 （高島屋呉服店にて1922年開催）	1922年1月	個人蔵	山口豊専	「翁は変はれど気は同なじ」 （『キバツとコッケイ滑稽新聞』27号）	1929年7月	個人蔵
東京漫画会同人	『第八回東京漫画展覧会 同人作品集』	1923年1月		下川凹天	『マンガ王国』1巻1号	1937年2月	
仙台協賛会	『松島 金華山 漫画の旅』	1923年8月		下川凹天	『マンガ王国』1巻6号	1937年7月	
日本漫画会	『大震災画集』	1923年11月		下川凹天	『マンガ王国』1巻9号	1937年10月	
報知新聞編集局	『大正大震災写真帖』	1923年9月15日	個人蔵	下川凹天	『漫画情報』2巻1号	1938年1月	
	『現代漫画大観』新聞広告 （『東京朝日新聞』1928年1月28日）	1928年1月28日	個人蔵	下川凹天	「新支那建設し英・ソ対立激化か」 『漫画情報』2巻2号	1938年2月	
中央美術社	『現代漫画大観』1巻～5巻	1928年		下川凹天	伝単（3点）	1938年頃	
先進社	『一平漫画新聞』第2号	1929年4月	個人蔵	日本漫画家総連盟	日支時局漫画展覧会開催趣旨	1937年8月	
下川凹天	「脱衣」（『漫画』創刊号）	1926年4月		山口正剛	『東亜新秩序建設と貯蓄報国』	1939年2月	
日本漫画家連盟	日本漫画家連盟のバッジ	1926年頃		石川進介	『大東亜戦争漫画日誌』	1942年11月	
日本漫画家連盟	『日本漫画家連盟機関紙ユウモア』 創刊号、2巻2号～3号	1926年12月、 1927年2月、4月		下川凹天	「政治表現」パンフレット1号	1942年12月	
下川凹天	皆さんお早よう	不詳		下川凹天	「巖さんの維新前後 四」（『漫画』11巻2号）	1943年2月	
下川凹天	太っちょの悲しみ	不詳		下川凹天	「戦時観想録」原稿 （下川が終戦間際から戦後直後までつけていた日記）	1944年7月2日～ 1947年10月11日	
下川凹天	『漫画似顔画集』	1930年6月		下川凹天	作品控帳（戦中～戦後にかけてつけていた出納帳）	1941年4月～1950年2月	
下川凹天	『裸の世相と女』（漫画六家撰 第3巻）	1929年12月		下川凹天	仕事控帳（戦後につけていた出納帳）	1960年4月～1971年7月	
下川凹天	裸の世相と女（『裸の世相と女』表紙の原画）	1930年頃		下川凹天	「ブルブルお化け」（『サン写真新聞』1950年7月31日）	1950年7月31日	
下川凹天	交換結婚（『東京毎夕新聞』昭和5年4月7日掲載）	1930年4月7日		コミック漫画研究会	『コミック漫画』3号	1964年3月	
下川凹天	大正十五年九月一日の彼女	不詳		下川凹天	イガグリとうちゃん （1961年2月3日～1967年4月28日毎週金曜日掲載）	1961年2月～ 1967年4月	
下川凹天	お互い様	不詳					
下川凹天	エロチック・チェーンストア （『読売新聞』昭和5年10月6日掲載）	1930年10月6日		下川凹天	「宗教漫画」スクラップブック	不詳	
下川凹天	カフェの子持女「読売サンデー漫画」 （昭和5年12月7日号掲載）	1930年12月7日		下川凹天	「イガグリとうちゃん」スクラップブック	不詳	
				市川五郎・作 / 下川凹天・画	『郷土の偉人 木白さま物語』	1970年2月	
下川凹天	大正時代の未亡人 （『東京毎夕新聞』1931年3月23日掲載）	1931年3月23日		下川凹天	「明治大正昭和世相あれこれ」原稿 （晩年に自身の生涯をまとめた草稿）	1970年代	
芋川椋平	「連続漫画 椋さん物語」（『漫画漫文カクテル』1巻2号）	1930年3月					
下川凹天	「裸体マネキン」（『東京パック』18巻9号）	1929年9月			下川凹天展パンフレット（大宮市立漫画会館（現・さいたま市立漫画会館）にて1968年9月25～10月27日開催）	1968年9月	
下川凹天	「銀座はうつる」（『東京パック』18巻1号）	1929年1月		下川凹天	写真アルバム3（主に弟子たちとの活動がまとめられている）	不詳	
読売新聞漫画部	「読売まんが」（『読売新聞』1930年9月15日）	1930年9月15日	個人蔵		下川凹天展会場写真	1968年9月	
読売新聞漫画部	「読売まんが」（『読売新聞』1930年10月6日）	1930年10月6日	個人蔵		野田市地方文化功労賞受賞を知らせる手紙	1972年11月	
下川凹天	「男やモメの巖さん」 （『読売サンデー漫画』1930年10月26日）	1930年10月26日					

※所蔵の記載がないものは川崎市市民ミュージアム蔵

企画展示

川崎ヒストリー展



会場	アートギャラリー 1
会期	2017年8月11日(土)～12月3日(日)
日数	98日
観覧料	無料
主催	川崎市市民ミュージアム

工業都市として発展した川崎は、工場の移転や大規模な再開発により風景が大きく変遷した。さらに2017年には人口150万人を超え、川崎はまさに今なお発展を続ける地域である。本展では、昭和30年代から40年代にかけての市内の様子を、当館所蔵の「都市計画図」や町内の「明細図」、川崎駅前の巨大ジオラマ、日本で最後のニュース映画といわれる「市政ニュース」等を通じて振り返る。また、昭和2年に開業した川崎駅前初のデパート「小美屋」のチラシ等も展示する。

地域に根差したミュージアムとして、移り行く街の記憶を記録していくとともに、近年川崎市に転居してきた新住民に対して、自分たちの住む街への興味関心を高める企画展である。

関連イベント

ワークショップ
川崎市 中原区を見る・知る・知りあう
「グラフィック・フォトレコーディング」

日時 10月9日、11月5日、12月3日
各日14:00～16:00

会場 ミュージアムギャラリー

参加者数 計32名



出品番号	資料名	年代	備考
1	武蔵国橘樹郡全図	明治時代中期～後期	
2	川崎都市計画	昭和10年(1935)	
3	川崎市全図 附川崎市鳥瞰図	昭和27年(1952)	
4	陣屋町・御殿町・小杉二丁目全町明細図	昭和35年(1960)～40年(1965)頃	
5	上小田中全町明細図	昭和35年(1960)～40年(1965)頃	
6	岡田屋チラシ	昭和36年(1961)	
7	岡田屋チラシ	昭和39年(1964)	
8	小美屋チラシ	昭和時代中期	
9	川崎日航ホテル名店街チラシ	昭和39年(1964)	
10	川崎ストア(駅ビルかわさき)チラシ	昭和時代中期	
11	川崎ストア(駅ビルかわさき)チラシ	昭和時代中期	
12	市政時報	昭和31年(1956)	
13	市政だより	昭和39年(1964)	
14	区制記念 川崎市市街図(ケース)	昭和47年(1974)	正面ゲート
15	市政ニュース	昭和36年(1961)～40年(1965)	映像
16	昭和38年ごろの川崎駅周辺	平成25年(2013)	ジオラマ



大矢 紀 展 —大地（いのち）の輝きを描く—



会場 企画展示室 1
 会期 2017年11月3日（金・祝）～11月26日（日）
 日数 21日
 観覧者数 2,442人
 観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム
 協力 公益財団法人 日本美術院

新潟県三島郡（現・長岡市）に生まれの大矢紀（1936年～）は、前田青邨に師事し、1955年に日本美術院に初出品した作品が初入選している。その後も数々の賞を受賞し、1998年に日本美術院同人になり、現在も第一線で活躍している日本画家である。

本展は、「50年暮らした川崎に何かを還元したい」という大矢氏から寄贈された約30点の作品のほか、下絵や素描などを展示し、その画業の足跡を展観した。川崎市ゆかりの作家による、厳かな大地の胎動や力強い生命の輝きにあふれる作品を観覧無料で広くご覧いただくことを目的とした展覧会。

B3ポスター 270枚
 ポストカード 20,000枚

関連イベント

大矢紀ギャラリートーク

日時 11月4日、11日、18日、25日
 各日13:00～
 会場 企画展示室1
 参加者数 計188名

ベビーカートゥー

日時 11月16日（木）11:45～
 会場 企画展示室1
 対象 0歳～未就学児と保護者
 参加者数 8名



出品番号	作品名	制作年	材質・技法	サイズH×W	出展*受賞
1	ニコライ堂	昭和 34(1959) 年	紙本着彩	215.5×160.0cm	再興第 44 回院展
2	武蔵野	昭和 35(1960) 年	紙本着彩	182.0×182.0cm	再興第 45 回院展
3	戸隠 (とがくし)	昭和 38(1963) 年	紙本着彩	135.5×181.5cm	再興第 48 回院展
4	南禅寺の春	昭和 39(1964) 年	キャンパス、岩絵具	178.0×225.0cm	再興第 49 回院展
5	神山	昭和 42(1967) 年	紙本着彩	149.0×209.5cm	再興第 52 回院展
6	日暈 (にちうん)	昭和 43(1968) 年	紙本着彩	186.5×232.5cm	再興第 53 回院展
7	冬枯るる	昭和 44(1969) 年	紙本着彩	167.5×212.0cm	再興第 54 回院展
8	北辺挽歌 (ほくへんばんか)	昭和 49(1974) 年	紙本着彩	149.0×73.0cm	第 29 回春の院展 奨励賞
9	昭和新山	昭和 50(1975) 年	紙本着彩	220.0×180.0cm	再興第 60 回院展 奨励賞
10	竜飛岬	昭和 52(1977) 年	紙本着彩	215.0×170.0cm	再興第 62 回院展 奨励賞
11	北の国	昭和 53(1978) 年	紙本着彩	215.5×170.0cm	再興第 63 回院展
12	恵庭岳 (えにわだけ)	昭和 55(1980) 年	紙本着彩	211.0×167.0cm	再興第 65 回院展 奨励賞
13	冬彩	昭和 56(1981) 年	紙本着彩	215.0×170.0cm	再興第 66 回院展 奨励賞
14	晩彩	昭和 58(1983) 年	紙本着彩	170.0×215.5cm	再興第 68 回院展
15	響	昭和 59(1984) 年	紙本着彩	208.0×164.0cm	再興第 69 回院展
16	清韻	昭和 60(1985) 年	紙本着彩	215.0×170.0cm	再興第 70 回院展
17	有珠新山 (うすしんざん)	昭和 63(1988) 年	紙本着彩	213.5×168.5cm	再興第 73 回院展
18	北壁	平成 2(1990) 年	紙本着彩	212.0×168.5cm	再興第 75 回院展
19	待春	平成 3(1991) 年	紙本着彩	210.0×166.0cm	再興第 76 回院展
20	北嶺 (ほくりょう)	平成 4(1992) 年	紙本着彩	220.0×175.0cm	再興第 77 回院展 招待
21	源流	平成 9(1997) 年	紙本着彩	220.0×170.0cm	再興第 82 回院展
22	海峡	平成 10(1998) 年	紙本着彩	218.0×168.0cm	再興第 83 回院展
23	天地胎動 (てんちたいどう)	平成 13(2001) 年	紙本着彩	218.5×291.0cm	再興第 86 回院展
24	風韻	平成 14(2002) 年	紙本着彩	149.0×76.0cm	第 57 回春の院展
25	活火風声 (かつかふうせい)	平成 18(2006) 年	紙本着彩	110.0×160.5cm	三越個展
26	騰雲湧煙 (ふんうんゆうえん)	平成 19(2007) 年	紙本着彩	180.0×257.0cm	再興第 92 回院展
27	須弥山図 (しゅみさんず)	平成 24(2012) 年	紙本着彩	182.0×228.0cm	再興第 97 回院展
28	雨余光陰 (うよこういん)	平成 25(2013) 年	紙本着彩	179.5×225.0cm	再興第 98 回院展
29	冬韻待春	平成 26(2014) 年	紙本着彩	179.5×227.0cm	再興第 99 回院展
30	春彩	平成 18(2006) 年	紙本着彩	89.5×71.5cm	三越個展
31	共有美	平成 23(2011) 年	紙本着彩	116.0×89.0cm	第 66 回春の院展
32	華やぎ	平成 26(2014) 年	紙本着彩	117.0×80.5cm	第 69 回春の院展
33	武蔵野 下絵	昭和 35(1960) 年	紙本着彩	34.0×33.5cm	
34	戸隠 (とがくし) 下絵	昭和 38(1963) 年	紙本着彩	25.0×32.5cm	
35	北辺挽歌 (ほくへんばんか) 下絵	昭和 49(1974) 年	紙本着彩	33.4×24.0cm	
36	竜飛岬 下絵	昭和 52(1977) 年	紙本着彩	28.2×21.6cm	
37	昭和新山 下絵	昭和 50(1975) 年	紙本着彩	24.5×33.5cm	
38	下絵		紙本着彩	33.4×24.0cm	
39	下絵		紙本着彩	31.7×41.0cm	
40	卯月 下絵	昭和 60(1985) 年	紙本着彩	41.0×31.9cm	
41	冬彩 下絵	昭和 56(1981) 年	紙本着彩	53.0×45.4cm	
42	下絵		紙本着彩	32.0×41.0cm	
43	冬韻待春 下絵	平成 26(2014) 年	紙本着彩	33.4×42.6cm	
44	下絵	平成 25(2013) 年	紙本着彩	40.9×27.5cm	
45	下絵		紙本着彩	31.8×41.0cm	
46	晩彩 下絵	昭和 58(1983) 年	紙本着彩	31.8×41.0cm	
47	下絵		紙本着彩	31.7×41.0cm	
48	椿		鉛筆、水彩、紙	31.5×42.0cm	
49	バラ	平成 27(2015) 年	鉛筆、水彩、紙	33.7×48.7cm	
50	桃	平成 29(2017) 年 7 月 28 日	鉛筆、水彩、紙	33.6×49.0cm	
51	柿	平成 11(1999) 年 10 月 9 日	鉛筆、水彩、色鉛筆、紙	37.0×45.3cm	
52	たけのこ	平成 16(2004) 年 4 月 13 日	鉛筆、水彩、色鉛筆、紙	45.5×36.7cm	
53	越の舞姫		鉛筆、水彩、色鉛筆、紙	41.7×65.8cm	
54	牡丹		鉛筆、水彩、紙	45.8×53.0cm	
55	スケッチ		鉛筆、色鉛筆、紙	33.5×45.4cm	
56	スケッチ		鉛筆、色鉛筆、紙	45.4×33.5cm	
57	口ハの古寺院	昭和 59(1984) 年 4 月 2 日	鉛筆、色鉛筆、紙	45.4×33.5cm	



ミュージアムコンサート

かわさきマイスター 20年展



会場 企画展示室 2
 会期 2017年12月14日(木)～2018年1月14日(日)
 日数 23日
 観覧者数 2,286人
 観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム
 協力 川崎市経済労働局、かわさきマイスター友の会

川崎市では、1997(平成9)年度より、極めて優れた技術や卓越した技能を発揮し、産業や市民の生活を支える「もの」をつくる現役の技術・技能職者を市内最高峰の匠「かわさきマイスター」として毎年認定し、今年で20年を迎えた。

本展覧会では、今年度の認定者を含めた96名の「かわさきマイスター」を紹介し、21名の技の優品を展示した。さらに、9名のマイスターによる体験ワークショップと実演を、関連イベントとして行ったことにより、その精緻な技の美と結晶を体感してもらう機会となった。

B3ポスター 110枚
 A4チラシ 13,000枚

関連イベント

マイスターによる体験ワークショップ

日時 2017年12月17日、2018年1月14日
 各日 11:00～/14:00～
 会場 企画展示室 2
 参加費 200～800円
 参加者数 計78名

講師(職種)

石渡弘信(手描友禅)
 栗田佐穂子(洋裁・介護服)
 田中司好(食品サンプル)
 伊原正男(内装仕上技能士)
 晝川捷太郎(家具技能士)
 吉田茂(和服仕立業)
 小林昭二(築炉工)

ワークショップ

ステンシル技法によるポストカードづくり
 ユニバーサルマーガレットづくり
 食品サンプルづくり
 アートパズルづくり
 やじろべいづくり
 えもん抜きづくり
 5分の1ミニチュア炉づくり

マイスターによる実演紹介

日時 2017年12月17日、2018年1月14日
 各日 11:00～/14:00～
 会場 企画展示室 2
 参加費 無料

講師(職種)

浅水屋甫(広告看板製作)
 小林伸光(和服洗い張り)

実演紹介

模造紙を使った揮毫の実演
 洗い張り「伸子張り」の実演



2017 川崎フロンターレ展



会場	アートギャラリー1、2、3
会期	2017年12月16日(土)～2018年1月14日(日)
日数	21日
観覧者数	13,797人
観覧料	無料 ※アートギャラリー2は2018年度川崎フロンターレ後援会会員限定
主催	川崎フロンターレ・川崎フロンターレ後援会
共催	川崎市市民ミュージアム
協賛	株式会社ピクトリコ

クラブ創設21年目で悲願の初優勝を果たした『川崎フロンターレ』の2017年の戦いの軌跡を写真や映像で紹介するとともに、Jリーグ杯(シャール)、明治安田生命杯「球軌道」、さらに、優勝メダル、チャンピオンフラッグ、ベストイレブンのクリスタル台と盾、キャプテン・小林悠選手のMVPトロフィー、ゴールデンブーツ、鬼木監督の優勝監督賞の盾などを展示した。

B2ポスター	50枚	A4チラシ	59,000枚
B3ポスター	500枚		

関連展示

ふろん太くん似顔絵展・ 「私の川崎フロンターレ」フォトコンテスト応募作品展示

主催	川崎フロンターレ連携・魅力づくり事業実行委員会
日時	12月16日～2018年1月14日
会場	ミュージアムギャラリー

関連イベント

チャリティートークショー

出演	安藤駿介(GK)、三好康児(MF)、板倉滉(DF)
日時	12月16日 15:00～16:30
会場	映像ホール
参加者数	250名

アトリエ体験講座(フロンターレ編)

日時	12月16日 ①10:30～12:00 ②14:00～15:30
会場	逍遥展示空間
参加者数	128名

クリスマスアクセサリー作り講座

日時	12月17日
会場	逍遥展示空間
参加者数	84名

フロン太&カブレラ来場

日時	12月24日、25日
----	------------

ダンボールパーク開園

日時	1月6日、7日
会場	逍遥展示空間
参加費	200円
協力	株式会社 田村工機
参加者数	計327名

フロン太&カブレラ記念撮影会

日時	1月18日
会場	映像ホール内ロビー
参加者数	453名

ゲーフラ作り教室

日時	1月13日
会場	逍遥展示空間
参加費	200円
協力	有限会社 染太郎
参加者数	40名

応援デコうち作り教室

日時	1月14日
会場	逍遥展示空間
参加費	800円
参加者数	80名



MJ's FES みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展 SINCE 1958



会場 企画展示室 1、アートギャラリー 1、2、3
 会期 2018年1月27日(土)～3月25日(日)
 日数 50日
 来館者数 36,232人
 観覧料 一般800円(640円)、65歳以上・大学生・高校生600円(480円)
 中学生以下無料

主催 川崎市市民ミュージアム
 協力 みうらじゅん事務所
 制作協力 ARK
 協賛 株式会社スズヤ
 監修 みうらじゅん

「マイブーム」「ゆるキャラ」などの命名者であり、現在の「仏像ブーム」を牽引してきたみうらじゅん(1968～)は、2018年2月1日で還暦を迎える。

本展では、みうらじゅんの生誕60年を記念し、「MJ's FES みうらじゅんフェス！」と銘打って膨大かつ深遠な創作活動に迫り、「マイブーム」の起源と全貌を明らかにした。

B2 ポスター 130枚 A4 チラシ 126,000枚 招待券 7,500枚
 B3 ポスター 1,850枚 観覧券 42,500枚 追加発注 A4 チラシ 25,000枚、観覧券 35,000枚

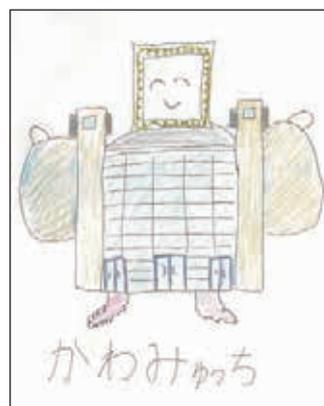
特別企画

川崎市市民ミュージアム「ゆるキャラ」コンテスト

「ゆるキャラ」という言葉の考案者である、みうらじゅん氏が選ぶゆるキャラコンテスト。平成30年度の川崎市市民ミュージアム開館30周年を盛り上げるキャラクターとして使用する他、当館のマスコットキャラクターとして長く活用していく予定。

審査 みうらじゅん
 応募締切 2月15日
 結果発表 3月29日
 応募総数 95件

受賞作品 かわみゅっち
 作者 宮内睦海さん



関連イベント

オープニング・トーク みうらじゅん × 山田五郎

出演 みうらじゅん、山田五郎
 日時 1月28日 15:30～16:45
 会場 映像ホール
 参加者数 251名

ベビーカートツアー

日時 3月1日(木) 11:45～
 会場 企画展示室1、アートギャラリー1、2、3
 参加者数 18名

学芸員によるギャラリーツアー

日時 2月12日、3月11日、3月21日 各日14:00～
 会場 企画展示室1、アートギャラリー1、2、3
 参加者数 計257名

「長髪大怪獣ゲハラ」ミニホール上映

日時 2月12日、3月11日、3月21日 各日15:00～
 会場 ミニホール
 参加者数 計120名

関連上映&トークショー みうらじゅん × itouせいこう

出演 みうらじゅん、itouせいこう
日時 3月4日(日) 14:00の上映後、15:45～
会場 映像ホール
入場料金 600円
参加者数 270人

関連上映プログラム

MJ's FES みうらじゅんフェス! マイブームの全貌展 SINCE 1958 関連上映

日時 2月17日～3月4日までの土・日
(各日 11:30～/14:30～)
会場 映像ホール
料金 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)
観覧者数 計996名

上映作品 『アイデン&ティティ』(2003)
『色即ぜねれいしょん』(2009)
『変態だ』(2016)
『ザ・スライドショーがやって来る! 「レジェンド仲良し」の秘密』(2017)



MJ's FES みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展 SINCE 1958 出品目録

怪獣ブーム・仏像ブーム				企画展示室 1			
作品名	制作年	サイズ	備考	作品名	制作年	サイズ	備考
クジラ絵画	1963年頃	26.5×36.5		仏像たちの神秘(3) 出羽三山の秘宝展編	1969～71年	30×23.5×2.4	
ケロリ新聞 第1号	1966年	53.8×37.9	11月14日 月曜日 発行	仏像たちの神秘(4) 寺院随筆展編	1969～71年	30×23.5×2.4	
ケロリ新聞 第2号	1966年	54.2×38	11月15日 火曜日 発行	仏像たちの神秘(5) 現代史門外不出公害告白篇	1969～71年	30×23.5×2.4	
ケロリ新聞 第3号	1966年	53.8×38.5	11月17日 木曜日 発行	仏像たちの神秘(6) 横町の伝説篇	1969～71年	30×23.5×2.4	
ケロリ新聞 第5号	1966年	54×38	12月1日 木曜日 発行	仏像たちの神秘(7) 発掘出土篇	1971年	30×23.5×2.4	
幼少期のイラストレーション	1960年代			仏像たちの神秘シリーズ 別巻	1970年	18.9×13.8	
肩たたき券	1960年代			当時の御朱印帳	1968～70年		
アルバム	1959～60年代初頭			仏像趣味に導いた祖父の私家本	1972年		発行：日本拓本協会
怪獣・怪人・怪物しゃしん テレビ映画①	1965年	30×23.5×2.4		『かわらの美 埋もれた日本古代史』(大川清著)	1966年		
怪獣・怪人・怪物しゃしん テレビ映画②	1967年	30×23.5×2.4		西寺址で拾った瓦	年代不明		
怪獣・怪人・怪物しゃしん テレビ映画③	1967年	30×23.5×2.4		仏像ブームの頃のアルバム			2冊
怪獣・怪人・怪物しゃしん テレビ映画④	1967年	30×23.5×2.4		当時使っていたカメラ			
仏像たちの神秘(1) 円空展編	1969～71年	30×23.5×2.4		クリスマスの日に父親に買ってもらった密教法具	1968年		
仏像たちの神秘(2) 門外不出編	1969～71年	30×23.5×2.4		初めて買ってもらった仏教土産	1968年		

漫画家ブーム				企画展示室 1			
作品名	制作年	サイズ	備考	作品名	制作年	サイズ	備考
三浦純 漫画紳士録	1972年	25×36		三浦純選集 1 忍者(太郎伝)	1970年	18.8×14	
少年ラッキー ニコニコ	1968年	28×19.7		三浦純選集 2 忍者(風我伝)	1970年	18.2×13	
少年パンチ	1968(年)	27.6×19.1		忍者村	1970年	12.1×15.4	
メマン	1960年代後半	25.1×35.8		SFの世界シリーズ(2) SF宇宙大戦争	1970年	21×14.8	
クレージー仮面	1960年代後半	24.8×35.4		恐竜の秘 うれない文庫 SFマンガ	1970年	18×12.6	
スーパー少年じゅん	1960年代後半	24.8×35.4		空手マン	年代不明	21×14.5	
カエルマスク	1968年	25.2×35.8		地平線のかたに消えた男	年代不明	26.2×18.2	
イジワルボンゴ	1969年	14×18		さすらいの008	年代不明	25.8×18.2	
未来君①	1970年代初頭	17.5×12.5		武鼠	年代不明	27.3×19.9	
未来君②	1969年	17.5×12.5		地球は俺のために回る!	年代不明	25.6×18.2	
どらねこ上等兵	1969年	18.5×12.5		日本文学者 夏目漱石とは	年代不明	26×18.3	
マル秘(100×1) 仮面	1969年	18.3×12.5		怪傑 だて男参上!	年代不明	25.9×18.9	
NEW NEKO MASUKU	1969年	21×14.7		MURAKAMI MAN (ムラカミマン)	1971年	25.7×18.7	
小学4年 カエルマン	1967～68年	28×40.3		early man! (村上改題)	1971年	21.1×14.9	
世界を平和に	1968年	27.5×39.5		紋次郎シリーズ13(1)	年代不明	24.9×17.8	
学生証	1970～72年			我輩は将軍である	1971年	25.1×17.9	
通信空手教材一式	1973年		3点	大リーグボールふっかつやっ!	1970年	21.1×13.5	
「100をデザインする」	1968年	27×29.3		単行本になった 大リーグボール ふっかつや	1970年	16.8×12.5	
散歩道の寺	1972年			大リーグボールふっかつやっ!	1970年	19.5×13.5	
地図のイラスト(「道しるべ」上徳寺)	1970年代初頭			巨人一阪神のまき			
記事	1970年	17.8×38.5		17巻 原作(三浦純)	年代不明	20.9×14.5	
毎日中学生新聞	1972年	41×28		三浦純選集(1) 大リーグボールふっかつやっ!	1970年	26.8×18.7	
大リーグボール復活や! 原画	1970年代初頭			続大リーグボールふっかつやっ!	1971年	26×19.7	
続々・大リーグボール復活やっ! 8mmテープ	1970年代初頭			たいがますく2世参上	1972年	26×18.2	
荒野のテンガロン 原画	1972年	31.1×38		流血の用心棒 復讐は終わった	1972年	26.7×18.6	
覆面世界チャンピオン!	1970年	25.1×17.8		戦争アニマル男	1972年	25×17.7	
THE FANT MAN	1970年	40.4×27.5		みうらじゅん失作集	1972～73年	28.7×19.4	
昭和の記録 1巻 特別記録特集	1970年	21.1×15		続々大リーグボール復活やっ!	1972年	25.9×18.3	
殺人遊者 “リンチ”の記録	1970年	21.1×15		THE MAGNIFICENT TENGALON IN WEST	1971年	26×18.4	
昭和の記録 2巻 恐怖シリーズ(1) 鳥類人間特集	1970年	21.1×15.1		WESTERN	1971年	26.1×18.6	
昭和の記録 2巻 恐怖の想像	年代不明	21.1×14.8		THE MAGNIFICENT TENGALON IN WEST			
短編マンガ SFの世界シリーズ SFの世界	1970年	17.8×12.6		WESTERN	1971年	26×18.4	
				two Books			

エッセイブーム				企画展示室 1			
作品名	制作年	サイズ	備考	作品名	制作年	サイズ	備考
浮薄な人生に危機を見た	1972年	21×15		ヘラクレス純ちゃんシリーズ シンコ生きてます	1973年	21×14.9	
メランコリーマンを撃つな!	1973年	21×14.9		ロマンスを求めひたすら夢の中に...	1973年	21×15	
ヘラクレス純ちゃんシリーズII 俺自身の詩	1973年	21.1×15		みうらじゅん自選集vol.1	1973年	21×15	
ヘラクレス純ちゃんIII 支離滅裂の詩	1973年	20.9×15		思想と沈黙	1973年	21×14.9	
ニヒリスト純ちゃん改題 男が泣いてますそいで	1973年	20.9×14.9		聖者純ちゃんシリーズ2 聖者死す	1973年	21×15	
女が笑っていますの詩	1973年	21×15		メルヘン純ちゃんシリーズ さんしょくスマレ	1973年	21×15	
雨上がりの詩	1973年	21×14.9		聖者純ちゃんシリーズI 聖者現る	1973年	21×14.9	
ヌ・メランコリー純ちゃん	1973年	21×15		くよくよするなよ! BOB DYLAN SAID Don't think Twice It's All Right By Jan nioRA	1973～74年	21×15.2	
角砂糖がコーヒーの中で崩れる時							
ヘラクレス純ちゃん 改題 みうらじゅんの肖像	1973年	14.8×21					
俺らのモナリザちゃん							
ヘラクレス純ちゃんシリーズ	1973年	21×14.9		俺にかまうなシリーズ(II) 俺にかまうな! 俺は狂っている	1974年	21×15.3	
不良不悪まさに平凡的自分自身に...				「十五歳」序文	2009年	25.3×35.8	

エッセイブーム～イラストレーターブーム				企画展示室 1			
作品名	制作年	サイズ	備考	作品名	制作年	サイズ	備考
アイドルの友見本誌 無料進呈券	高校時代			金沢で作った曲が録音されているカセット	1974年		
栗田ひろみ プロマイド写真集	高校時代			アルバム	1970年代		
生徒手帳	1973～74年		2点	INNER PORTRAIT Blues	1977年	24.8×18.6	
通学定期券	1975年			肖像画	1977年		
わがこころのカトリーヌ	1974年	26.9×20.2		DIARY	1972～2001年		
オレからオレへの手紙	1974年			ちえこちゃんとネコ	1979年	27.2×19.7	
SELF PORTRAIT Blues	1977年	24.7×17.3		THE LOCUS OF JUN.M みうらじゅんの軌跡	1980年		
『能登・金沢』(ブルーガイドバック 22)	1973年		発行：実業之日本社	自筆画のスクラップファイル	年代不明		
当時の家出先を巡礼	1998年			作品 1979～1980 イラストレーション	1979～80年		
わが青春のジブシーヌ GYPSYNE IN MY YOUTH	1976年	26.3×20.1		怪獣俳優軍	年代不明	48×65.5	

イラストレーターブーム				企画展示室 1			
作品名	制作年	サイズ	備考	作品名	制作年	サイズ	備考
天才のスケッチブック 1	1978年	21.5×25.5		天才のスケッチブック 3	1978年	21.5×25	
天才のスケッチブック 2	1978年	21.5×25.5		天才のスケッチブック 4	1978年	36.1×26	

天才のスケッチブック 5	1978年	36×28	天才のスケッチブック 3 6	1982年	18.3×26.9
天才のスケッチブック 6	1978年	38×28.5	天才のスケッチブック 3 7	1982年	18.5×26.5
天才のスケッチブック 7	1978年	33.8×25.3	天才のスケッチブック 3 8	1982年	37.6×27
天才のスケッチブック 8	1978年	33×25	天才のスケッチブック 3 9	1982年	31×25.5
天才のスケッチブック 9	1979年	35×25.5	天才のスケッチブック 4 0	1982年	30.8×25.5
天才のスケッチブック 10	1979年	36.2×27.8	天才のスケッチブック 4 1	1982年	21.8×25.5
天才のスケッチブック 11	1979年	36.4×29	天才のスケッチブック 4 2	1982年	21.7×25.5
天才のスケッチブック 12	1979年	35.8×28.9	天才のスケッチブック 4 5	1983年	21.7×25.5
天才のスケッチブック 13	1979年	37×25.4	天才のスケッチブック 4 6	1983年	21.8×25.5
天才のスケッチブック 14	1979年	37×26.2	天才のスケッチブック 4 7	1983年	21.8×26.8
天才のスケッチブック 15	1979年頃	37×25.5	天才のスケッチブック 4 8	1983年	30.8×25.5
天才のスケッチブック 16	1979年	36.5×26.6	天才のスケッチブック 4 9	1983年	21.5×25.5
天才のスケッチブック 18	1979年	21.8×25.5	天才のスケッチブック 5 3	1983年	21.8×25.5
天才のスケッチブック 19	1979年	18.5×26.1	天才のスケッチブック 5 5	1983年	21.7×25.5
天才のスケッチブック 20	1979年	21.5×25.2	天才のスケッチブック 5 6	1983年	21.7×25.6
天才のスケッチブック 21	1980年	19×25.2	天才のスケッチブック 5 8	1983年	21.8×25.5
天才のスケッチブック 22	1980年	21.5×25.2	無題	1973～78年	36×26.3
天才のスケッチブック 23	1980年	25.5×21.7	無題	1978年	42×32.5
天才のスケッチブック 24	1980年	25.3×21.5	天才のアイディアブック 2	年代不明	28.2×21.4
天才のスケッチブック 25	1980年	21.7×25.3	天才のアイディアブック 2	年代不明	12.2×17.9
天才のスケッチブック 26	1980年	21.7×25.5	今日から新学期 3	1981年	25.1×18.2
天才のスケッチブック 27	1980年	21.7×25.5	天才のアイディアブック 3	年代不明	25.5×18.5
天才のスケッチブック 28	1980年	41.5×32	無題 みうらじゅん	年代不明	20.8×10.5
天才のスケッチブック 29	1981年	41.2×33.5	勉強紙 みうらじゅん	1980年	17.9×25
天才のスケッチブック 30	1981年	18.8×26	作詞帳 三浦 純	1981年	25.1×17.9
天才のスケッチブック 31	1981年	36.8×26	無題	年代不明	17.9×25
天才のスケッチブック 31	1981年	30.8×25.3	絵本のみうらじゅん	1981年	35.4×26.2
天才のスケッチブック 32	1981年	32×22	無題	年代不明	25.1×18.2
天才のスケッチブック 33	1981年	21.5×25.2	無題 み・う・ら・じゅん	年代不明	36.1×26.6
天才のスケッチブック 34	1981年	29.6×21.5	DRAWING maruman F4 No.85-25	年代不明	33.2×25.3
天才のスケッチブック 34	1981年	18.8×26	みうらでんわちょう 1978-1982	1978～82年	12.1×15.4
天才のスケッチブック 35	1981年	29.5×21.3			

フォークシンガーブーム 企画展示室 1

自作ライナーノーツ	1974年		Guitar Song Book II	1970年代	
自作自演カセットテープ	1970年代	13点	ギター	1973年	
DTFCD	2004年		ハーモニカホルダー	1970年代	
ぎたあそんぐぶっく III	1970年代		青春ノイローゼ	1999年	72.8×51.5
DVD「DTF」	2005年	1970年代制作の音楽を収録	ポップディラン (新)	2016年	51.5×72.8
			ポップディラン プヒー	年代不明	72.8×51.5

ウシブーム 企画展示室 1

ガロ No.201	1980年	当館所蔵	なんぎですわと勧誘	1983 (昭和 58) 年	
「ウシの日」原画	1980年頃	20枚	ウシ・コレクション 一式		

企画展示室 1 / その他 企画展示室 1

アウトドア般若心経	2018年	173.4×750	メガネとサングラス	1980年代～	12点
仏画曼荼羅	2010～17年		メモ帳	1980年代～	31×24.3 9点
手帳	1988～2005年	31×22.5	雑記帳	2002～2005年	箱：15.8×11.5 3点

企画展示室 1 / 映像 企画展示室 1

みうらじゅんが語る！みうらじゅんフェス マイブームの全貌展 前編	2018年	10分 28秒	制作：川崎市市民ミュージアム	チチヤスヨーグルト CM 「なんぎうし」	15秒
				荒野のテンガロム	原画：1973年 1分 17秒 制作：ARK
みうらじゅんが語る！みうらじゅんフェス マイブームの全貌展 後編	2018年	11分 10秒	制作：川崎市市民ミュージアム	ぶらぶらミュージアム	2018年 36分 31秒 制作：川崎市市民ミュージアム

いやげ物ブーム アートギャラリー

二穴オヤジ・コレクション 一式			カスカメ・コレクション 一式		
ゴムヘビ・コレクション 一式			バカネンド・コレクション 一式		
甘えた坊主・コレクション 一式			五円ファミリー・コレクション 一式		
ヘンジク・コレクション 一式			ロッキン・コレクション 一式		
ヤシヤム・コレクション 一式			ブーちゃん・コレクション 一式		
ひょうたんくん・コレクション 一式			イナキャラ 一式		
ブリ貝・コレクション 一式			顔に手足・コレクション 一式		
フィギュ和・コレクション 一式			カエル・コレクション 一式		
ゆるキャラ・コレクション 一式			ムカエマ・コレクション 一式		
テングー・コレクション 一式			3Dコレクション 一式		
ギャップ・コレクション 一式			カスハガ・コレクション 一式		
金ブラ・コレクション 一式			らくがお・コレクション 一式		
ユノミン・コレクション 一式			産・コレクション 一式		
ヘンザラ・コレクション 一式			飛び出し坊や・コレクション 一式		
ヘンヌキ・コレクション 一式			フェロモンレコード・コレクション 一式		

アートブーム アートギャラリー

コケティッシュ爆弾	1994年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	モンスター・ヤング	1999年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
バス仙人現る	1995年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	グリーン・ヤング	1999年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
ブロンソン大陸	1995年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	即身ジョニー	2000年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
ウォーキング・ブッダ	1995年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	セクシー海女	2000年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
俗謡山から愛をこめて	1995年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	清張	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
ポルノな関係	1995年	45.5×37.9	アクリル、キャンバス	いつの間にか少女は	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
ナオミの夢	1995年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	いい崖出してるツアー	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
フェロモン器情	1995年	45.5×37.9	アクリル、キャンバス	BROTHER & SISTER	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
お笑い最終兵器	1995年	76.7×60.6	アクリル、キャンバス	AYU・MIX	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
イエロー・インド	1996年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	スレイヴ オブラブ	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
京都慕情	1997年	45.5×37.9	アクリル、キャンバス	飛び出し柴子	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
電球ディラン	1998年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	乙葉・マイ・ラブ	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス

はるちゃんの冬	2001年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	転がるハニワに苔むす	2002年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス
マインド・トラベル	2002年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	梵字とウルトラ・サイン (右)	1994年	55×38	アクリル、キャンバス
グラビア・ガエル	2002年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	弥勒菩薩とウルトラマン (左)	1994年	55×38	アクリル、キャンバス
プヒー	2004年	80.3×65.2	アクリル、キャンバス	巴里の思い出	1990年	45.5×38	アクリル、キャンバス
どんな気がする	2004年	80.3×65.2	アクリル、キャンバス	京都の恋	1994年	93.9×75.6	アクリル、キャンバス
ディラン	2004年	80.3×65.2	アクリル、キャンバス	『週刊文春』下絵・原稿 一式			
彼女	2004年	80.3×65.2	アクリル、キャンバス	『メンズクラブ』下絵・原稿 一式			
Longest Nose No.1	2002年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	『映画秘宝』下絵・原稿 一式			
にょいりんかんのん	2002年	116.7×90.9	アクリル、キャンバス	下絵・原稿 一式			

冷マブーム・SINCE ブーム アートギャラリー

冷マ	2018年			はかせたろう	2018年		
SINCE ビクニックシート 2018	2018年	128×220					

エロスクラップブーム アートギャラリー

エロスクラップ	1980年代以降						
---------	----------	--	--	--	--	--	--

アートギャラリー／映像 アートギャラリー

テングレンジャーショー	2003年	20分	制作：ARK	わだばスクラッパーになる	2018年		制作：みうらじゅん 事務所／ARK
勝手に観光協会 (みうらじゅん、安齋肇)	2004～2008年	2時間2分	制作：ディスクベリー				
ご当地ソング 全48曲							

アートギャラリー／その他 アートギャラリー

ツッコミ如来立像	1994年		2体	うし・カエル・郷土ラブちゃんのお面			
生原稿タワー				カニパンブーム			
ココヨから贈呈されたゴールデン・スクラップ	2017年						

*特に表記のないものについては、全てみうらじゅん所蔵です



ミュージアムコンサート：ビートジャックがやってくる！

第5回 版画アトリエ指導員展 Interlap colors



会場 ミュージアムギャラリー1
会期 2018年3月3日(土)～3月17日(土)
日数 13日
来館者数 496人
観覧料 無料
主催 川崎市市民ミュージアム

特徴的な収蔵分野である版画の普及をめざし、2013年5月より当館3階にあるアトリエを開放し、制作活動の支援を目的に若手作家をアトリエ指導員に起用して、利用者のサポートや初心者向け講座などを行っている。本展覧会はその成果発表として、指導員及びアトリエ利用者と以前指導員を務めていた作家の作品を紹介した。

interlap colors= 重なる色と題し、版画表現の多様性と奥深さを探求する機会となることを期待した。

関連イベント

アーティストトーク & オープンスタジオ

日時 3月4日 14:00～15:00
会場 ミュージアムギャラリー1
参加者数 12名



作品タイトル	作者名	技法	サイズ (cm)	制作年
vessel_80	米澤 寛子	リトグラフ	550×400	2018
vessel_81	米澤 寛子	リトグラフ	550×400	2018
vessel_82	米澤 寛子	ウォーターレスリトグラフ、モノタイプ	550×400	2018
vessel_83	米澤 寛子	ウォーターレスリトグラフ、モノタイプ	550×400	2018
vessel_84	米澤 寛子	モノタイプ	550×400	2018
vessel_71	米澤 寛子	モノタイプ	300×240	2017
vessel_72	米澤 寛子	リトグラフ、コラグラフ	200×270	2017
vessel_73	米澤 寛子	リトグラフ、コラグラフ	270×200	2017
untitled	米澤 寛子	モノタイプ	200×280	2017
untitled	米澤 寛子	モノタイプ	200×280	2017
異国人饗宴図(壁紙入)	大杉 祥子	リトグラフ	900×1400	2017
あなたは知っているけど私は知らない	大杉 祥子	リトグラフ	1400×2700	2017
紙人形シリーズ	大杉 祥子	シルクスクリーン	サイズ可変	2017-2018
ちんちよか犬	大杉 祥子	シルクスクリーン	210×280	2018
海、水平線	岡田 晴菜	リトグラフ	729×431	2017
朽ちてなお 01	長谷川 文子	シルクスクリーン	220×271	2017
朽ちてなお 02	長谷川 文子	シルクスクリーン	273×224	2018
LEADING ROLE	鈴木 典子	リトグラフ	210×297	2017
GO-ON	鈴木 典子	リトグラフ	252×359	2017
鳥にきいてくれⅠ	山本 久美子	コラグラフ	109×74	2018
鳥にきいてくれⅡ	山本 久美子	コラグラフ	119×78	2018
絵本「じてんしゃがしゃがしゃ」より “やくそく”	山本 久美子	リトグラフ	431×253	2017
(a)form	宮本かおる	シルクスクリーン	382×538	2017
(a)form 2	宮本かおる	シルクスクリーン	288×288	2017
デンファレ	中島羽笛	シルクスクリーン	321×422	2017
小品四窓	中島羽笛	シルクスクリーン	501×406	2017
岡田屋表具店 / 金沢	かじがや ごろお	ドライポイント、油彩	541×382	2018
山田仏具展 / 金沢	かじがや ごろお	ドライポイント、油彩	540×381	2018



第 51 回 かわさき市美術展



会場 企画展示室 2
 会期 2018年3月3日(土)～3月17日(土)
 日数 15日
 来館者数 2,208人
 観覧料 無料

主催 川崎市市民ミュージアム、かわさき市美術展運営委員会
 共催 川崎市
 後援 川崎市教育委員会
 協賛 川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合(50音順)

かわさき市美術展は1967(昭和42)年に始まった、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会である。川崎市在住、あるいは市内で制作活動をしている方を対象に①平面、②彫刻・立体造形、③工芸、④書、⑤写真、⑥中学生の6部門で実施した公募では、前年度の192点を大きく上回る合計266点の作品が出品された。

選考の結果、最優秀賞は山脇勇大さんの油彩画「Retina」、中高生を対象としたヤング大賞は永井武志さんの水彩画作品「自画像」、そして90歳以上を対象に今回より新設したシニア大賞は、河内新一さんの油彩画「秋冷」が受賞した。開催から51回目となる本展では、最優秀賞・大賞を含む入賞・入選作品120点を展示を行った。

B3ポスター 300枚 応募用紙 16,000枚
 A4チラシ 16,000枚

最優秀賞
 山脇勇大「Retina」



ヤング大賞
 永井武志「自画像」



シニア大賞
 河内新一「秋冷」



関連イベント

表彰式

日時 3月17日 13:00～
 会場 逍遥展示空間

第 51 回 かわさき市美術展運営委員会

1. 設置趣旨

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民の文化芸術の向上及び円滑な事業の運営を目的に設置する。

2. 委員構成

美術作家または美術評論家（3名）
川崎市文化団体関係者（1名）
学校美術教育関係者（1名） 他

3. 開催

第 51 回かわさき市美術展 第 1 回運営委員会

日時：2017 年 10 月 18 日

会場：川崎市市民ミュージアム会議室

議題：第 51 回かわさき市美術展募集内容について、審査委員について

第 51 回かわさき市美術展 第 2 回運営委員会

日時：2018 年 3 月 17 日

会場：川崎市市民ミュージアム会議室

議題：第 51 回かわさき市美術展審査結果報告について、表彰式について



賞	部門	作品タイトル	作者名
最優秀賞 (市長賞)	平面 (油彩)	Retina	山脇 勇大
特選	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	ホライズンブルーの記憶	松尾 雅子
	書	宮本輝の言葉より	大室 景石
ヤング大賞	写真	少女脱皮	三竹 基弘
	平面 (水彩・版画)	自画像	永井 武志
シニア大賞	平面 (油彩)	秋冷	河内 新一
優秀賞	平面 (油彩)	黒の記憶	小林 房雄
	平面 (油彩)	Reflection φ -残響-	阿部 仁美
	平面 (水彩・版画)	静まり返った. そんな夜は...	土田 匠実
	平面 (日本画)	日常	千葉 純子
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	科白無人	佐藤 雅孝
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	刻の鼓動	岡本 恵
	書	平家物語序章	木下 清華
	写真	ホリディ・2017	渡辺 忠
	中学生	こんな猫が飼いたい!	伊藤 未菜
	中学生	スプリング	鎧 嘉論
	中学生	結び (32人共同作品)	川崎市立野川中学校 9組
	中学生	月に一度の私のお仕事-ジャンプ・ブロー・カット-	古田 和海音
	中学生	明日は遠足。	吉田 真彩
	中学生	I know...	加藤 聖奈
奨励賞	平面 (油彩)	溶	青木 和江
	平面 (水彩・版画)	RAINY DAY	日隈 和久
	平面 (水彩・版画)	PLATINUM FISH	玉生 由香
	平面 (日本画)	導くひと	廣瀬 麻里子
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	さざ波にたゆとう船 (モビール)	砂田 英明
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	風ふかば吹け	田平 徹
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	凍える月	八重森 千賀
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	かぜのかたち-CALM-	岩下 はるみ
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	猫のいる庭	上原 寿弥子
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	華	福田 典子
	書	漢訳 川崎市立井田中学校校歌	田辺 談窓
	写真	キャ〜つめたい!	清水 隼雄
	写真	善男善女	中村 智一
	写真	川崎の街 2017	鳴海 廣治
	写真	長年の日課	渡辺 孝行
	写真	顔	八代 拓海
入選	平面 (油彩)	蟬しぐれ遥か海へと続く道	村田 真一
	平面 (油彩)	群	森田 隆
	平面 (油彩)	青い海	白石 武市
	平面 (油彩)	気	宇田 さよ
	平面 (油彩)	紅い世界	後藤 恵美子
	平面 (油彩)	花桃が運ぶ春	小坂橋 優華
	平面 (油彩)	河口	加藤 靖子
	平面 (油彩)	扉	大楯 和美
	平面 (油彩)	アンテロープキャニオン回想 2	鳥羽 幸江
	平面 (油彩)	流されて	栗野 敬三
	平面 (油彩)	鐘霞む	松田 洋子
	平面 (油彩)	The one	高木 聡
	平面 (油彩)	内なる MAGMA	直井 登子
	平面 (油彩)	午後のワルツ	西 益子
	平面 (油彩)	楽しい方の道	ベルトン・ジェイミー
	平面 (油彩)	追憶 1945年5月1日	藤田 久美子
	平面 (水彩・版画)	poppies and girls 2018	五野上 美緒
	平面 (水彩・版画)	化石の杜	齋藤 政義
	平面 (水彩・版画)	天地創造	亀ヶ谷 豊
	平面 (水彩・版画)	Collage II a	道古 明
	平面 (水彩・版画)	夜の作業所	松森 礼子
	平面 (水彩・版画)	親しい生物との最後の別れ	木村 皇貴
	平面 (水彩・版画)	め	鈴木 淑恵
	平面 (水彩・版画)	かたつむりと人類マトリックス	早乙女 和完
	平面 (水彩・版画)	夏のをどり	佐藤 正春
	平面 (水彩・版画)	人魚の唇	草羽 揺二
	平面 (水彩・版画)	シンマイ	津田 邦彦
	平面 (水彩・版画)	桜の詩III	前田 恒憲
	平面 (水彩・版画)	クラインの壺	谷 浩三郎

入選	平面 (水彩・版画)	雨夜のボーイズ・トーク (アナイス・ニン等について)	安田 文夫
	平面 (水彩・版画)	「第1幕」	中村 直子
	平面 (日本画)	干潟の詩	村井 早苗
	平面 (日本画)	フィレンツェの母子像	近藤 若子
	平面 (CG)	十一面観音	高橋 哲史 (冥土入)
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	消えてゆく	長嶺 あずさ
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	風の色	古家 郁子
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	おさげ	大和田 詠美
	工芸・彫刻・立体造形 (彫刻・立体造形)	ほねぬき	大和田 詠美
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	絆・北国より・・・	栗原 豊子
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	UTUWA.PLAYS	鈴木 健祭
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	松幹切子風花瓶	壁谷 庄太郎
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	composition B	内山 あさ子
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	くらいうみ	五十嵐 里美
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	虹	倉田 正己
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	祈りー流れゆくー	水谷 汐梨
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	パーテーション (サンドブラスト)	菅原 行男
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	ふたり	家才子 雅樹
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	シクラメン	松寛 裕子
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	牡丹文様 文箱	鈴木 伸寛
	工芸・彫刻・立体造形 (工芸)	収穫の喜び (ランプシェード仕立)	山本 英雄
	書	面影を伊勢 (後撰和歌集) の歌 二首	木下 清華
	書	書 董其昌行草書卷	木川 智広
	書	王世貞の詩	大室 景石
	書	千字文 (楷書)	高野 弘美
	写真	霧の多摩川	田島 仁
	写真	夏の終り	島 重夫
	写真	『Sinking』	水津 惣一郎
	写真	夢旅	小島 満男
	写真	華しずく	浅井 和範
	写真	最高潮	小田柿 雅彦
	写真	蒼の刻	山下 泰雄
	写真	流れるように	坂本 泰男
	写真	君想ふ	大山 南穂
	写真	変わりゆく街 KOSUGI ～ココニイル～	長谷川 将洋
	写真	希望	金森 賢治
	写真	ふれない心	高橋 虹貴
	写真	good luck!	片淵 智哉
	写真	歳神を見送る	渡辺 孝行
	写真	揺蕩う	荻久保 次郎
	写真	秋彩	安川 健一
	写真	一夜の火花	原田 茂雄
	写真	N I K K A、光、始まり	樋口 愛
	写真	ひと時の涼	中村 健一
	写真	奥会津の日常～駅徒歩5分の雪景色～	井坂 洋士
	中学生	冬の思ひ出	杉本 柚乃
	中学生	輝くどこかへ	北岡 真里
	中学生	自画像～フルーツ No.4～	西岡 紅
	中学生	メリークリスマス	豊田 絵理
	中学生	陰と陽	錦織 亜純
	中学生	怒り	平山 こなみ
	中学生	「そばに」	阪上 なつめ
	中学生	禁断の果実	廣瀬 慶徳
	中学生	バレンタイン	木下 律子
	中学生	とある夜	佐藤 桜

上映プログラム (映像ホール)

かわさき日活劇場

老若男女、幅広い世代の方にお楽しみいただける映画上映会を行った。

期間 4月1日～4月16日(各日11:30～/14:30～) 上映回数 12回
会場 映像ホール 鑑賞者数 計377名
料金 一般・65歳以上・大学生・高校生500円
(小中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

上映作品

伊豆の踊子

監督：西河克己／出演：吉永小百合、高橋英樹ほか／
1963年／87分／カラー

銀座の恋の物語

監督：藏原惟繕／出演：石原裕次郎、浅丘ルリ子ほか／
1962年／93分／カラー

紅の拳銃

監督：牛原陽一／出演：赤木圭一郎、笹森礼子ほか／
1961年／87分／カラー

ギターを持った渡り鳥

監督：斎藤武市／出演：小林旭、浅丘ルリ子ほか／
1959年／78分／カラー

嵐を呼ぶ男

監督：井上梅次／出演：石原裕次郎、北原三枝ほか／
1957年／100分／カラー

仲間たち

監督：柳瀬親／出演：浜田光夫、松原智恵子ほか／
1964年／93分／カラー

ポーランド映画祭 2017 in 川崎 ～アンジェイ・ワイダ追悼特集

2016年10月に亡くなった世界的巨匠、アンジェイ・ワイダ監督は、90年の生涯を通して40本もの映画を撮り、政治と歴史に向き合い続けた芸術家として傑作を残した。今回は追悼特集として、映画史に輝く代表作9作品を上映した。

期間 4月22日～5月5日(各日11:30～/14:30～) 上映回数 14回
会場 映像ホール 鑑賞者数 計601名
料金 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)



上映作品

地下水道

監督：アンジェイ・ワイダ／1956年／97分／
モノクロ／デジタル・リマスター版

仕返し

監督：アンジェイ・ワイダ／2002年／100分／
カラー／デジタル

夜の終りに

監督：アンジェイ・ワイダ／1960年／87分／
モノクロ／デジタル・リマスター版

菖蒲

監督：アンジェイ・ワイダ／2009年／87分／
カラー／デジタル

世代

監督：アンジェイ・ワイダ／1954年／87分／
モノクロ／デジタル・リマスター版

灰とダイヤモンド

監督：アンジェイ・ワイダ／1958年／103分／
モノクロ／デジタル・リマスター版

大理石の男

監督：アンジェイ・ワイダ／1977年／160分／
カラー／デジタル・リマスター版

サムソン

監督：アンジェイ・ワイダ／1961年／118分／
モノクロ／デジタル・リマスター版

戦いのあとの風景

監督：アンジェイ・ワイダ／1970年／107分／
カラー／デジタル・リマスター版

親子で楽しめるアニメーション映画「ソング・オブ・ザ・シー 海のうた」

ゴールデンウィークに親子で楽しめる優れたアニメーション映画を上映した。

期間 5月7日(各回11:30～/14:30～) 上映回数 2回
会場 映像ホール 鑑賞者数 計251名
料金 一般・65歳以上・大学生・高校生500円
(小中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)



上映作品

ソング・オブ・ザ・シー 海のうた (日本語吹替版)

監督：トム・ムア／2014年／93分／カラー／
DCP／日本語吹替版

新東宝 70 周年記念 ～日本映画黄金時代のきらめき～

1947年に発足した映画会社・新東宝の70周年を記念して初期作品を取り上げ、巨匠監督が豪華な俳優陣と組んだ名作6本を上映した。

期間	5月13日～5月28日(各日11:30～/14:30～)	上映回数	12回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計393名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		

上映作品

生きている画像

監督：千葉泰樹／1948年／モノクロ／16mm／94分／
出演：大河内傳次郎、藤田進、花井蘭子、古川緑波、笠智衆

朝の波紋

監督：五所平之助／1952年／モノクロ／16mm／105分／
出演：高峰秀子、池部良、岡田英次、香川京子、三宅邦子

たそがれ酒場

監督：内田吐夢／1955年／モノクロ／16mm／85分／
出演：津島恵子、野添ひとみ、小杉勇、宇津井健、高田稔

細雪

監督：阿部豊／1950年／モノクロ／16mm／144分／
出演：花井蘭子、轟夕起子、山根壽子、高峰秀子、河津清三郎

慟哭

監督：佐分利信／1952年／モノクロ／16mm／120分／
出演：佐分利信、木暮実千代、阿部壽美子、南壽美子、丹阿弥谷津子

王将一代

監督：伊藤大輔／1955年／モノクロ／16mm／118分／
出演：辰巳柳太郎、香川京子、木暮実千代、田中春男、石山健二郎

アルゴ・プロジェクト特集 ～1990年代傑作選～

気鋭の独立プロデューサーが集結して閉塞的な日本映画界に風穴を開けようと試みて、1990年代にユニークな傑作群を送り出した“アルゴ・プロジェクト”を特集した。

期間	6月3日～7月1日(各日11:30～/14:30～)	上映回数	18回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計636名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		



上映作品

櫻の園

監督：中原俊／1990年／カラー／35mm／96分
出演：中島ひろ子、つみきみほ、白島靖代

あいつ

監督：木村淳／1991年／カラー／35mm／119分
出演：岡本健一、石田ひかり、浅野忠信

喪の仕事

監督：君塚匠／1991年／カラー／35mm／109分
出演：永瀬正敏、田村翔子、藤井かほり

渋滞

監督：黒土三男／1991年／カラー／35mm／109分
出演：萩原健一、黒木瞳

さよなら、こんにちは

監督：福田陽一郎／1990年／カラー／35mm／90分
出演：南果歩、佐野史郎

12人の優しい日本人

監督：中原俊／1991年／カラー／35mm／116分
出演：塩見三省、豊川悦司

死んでもいい

監督：石井隆／1992年／カラー／35mm／117分
出演：大竹しのぶ、永瀬正敏、室田日出男

ありふれた愛に関する調査

監督：榎戸耕史／1992年／カラー／35mm／107分
出演：奥田瑛二、世良公則、津川雅彦

ひき逃げファミリー

監督：水谷俊之／1992年／カラー／35mm／106分
出演：長塚京三、中尾ミエ、ちはる

ゴジラ再上陸 ～『シン・ゴジラ』公開1周年記念特集～

『シン・ゴジラ』公開1周年を記念して、武蔵小杉や多摩川のバトル現場にいちばん近い川崎市市民ミュージアムのスクリーンで上映した。

期間	7月8日～7月30日(各日11:30～/14:30～)	上映回数	14回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計1990名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		



上映作品

ゴジラ 60周年記念デジタルリマスター版

監督：本多猪四郎 / 1954年 / モノクロ / DCP / スタンダード / 97分
出演：宝田明、志村喬、河内桃子、平田昭彦、堺左千夫、村上冬樹

ゴジラ対ヘドラ

監督：坂野義光 / 1971年 / カラー / 35mm / シネマスコープ / 85分
出演：山内明、川瀬裕之、木村俊恵、麻里圭子、柴本俊夫

ゴジラ VS キングギドラ

監督：大森一樹 / 1991年 / カラー / 35mm / ビスタ / 102分
出演：中川安奈、豊原功補、小高恵美、原田貴和子、土屋嘉男、西岡徳馬、山村聡

シン・ゴジラ

監督：庵野秀明 / 2016年 / カラー / DCP / シネマスコープ / 119分
出演：長谷川博己、竹野内豊、石原さとみ、市川実日子、高良健吾

映画で見る平和への願い

最近大ヒットしたアニメーション映画『この世界の片隅に』(2016)をはじめ、当館所蔵フィルムより、日本で初めて原爆を取り上げた劇映画『原爆の子』(1952)、戦後の広島の高貴な映像が見られる記録映画『平和記念都市ひろしま』(1948～49)、ドキュドラマ作品『河 あゝの裏切りが重く』(1967)など全10作品を上映。親子向け作品として文部省選定映画『時計は生きていた』(1973)も上映した。

期間	8月5日～8月20日(各日11:30～/14:30～)	上映回数	14回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計1790名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		



上映作品

この世界の片隅に

2016 / カラー / DCP / 126分 / 監督：片淵須直
声の出演：のん、細谷佳正、稲葉菜月、尾身美詞

硫黄島

1959年 / モノクロ / 35mm / 88分 / 監督：宇野重吉
出演：大坂志郎、芦川いづみ、小高雄二、佐野浅夫

最後の女たち

1954年 / モノクロ / 35mm / 83分 / 監督：楠田清
出演：河野秋武、利根はる恵、山内明、信欣三

河 あゝの裏切りが重く

1967年 / モノクロ / 35mm / 103分 / 監督：森弘太
出演：灰地順、富田公子、佐藤慶、原泉

〔1〕平和記念都市ひろしま + 〔2〕原爆の子 ※2本立て上映

〔1〕『平和記念都市ひろしま』
1948～49年 / モノクロ / 35mm / 20分 / 監督：秋元憲 /
ナレーション：徳川夢声

〔2〕『原爆の子』
1952 / モノクロ / 35mm / 99分 / 監督：新藤兼人
出演：乙羽信子、宇野重吉、滝沢修、北林谷栄

〔1〕『生きていてよかった』 + 〔2〕『千羽鶴』※2本立て上映

〔1〕『生きていてよかった』
1956年 / モノクロ / 16mm / 48分 / 監督：亀井文夫 /
ナレーション：山田美津子

〔2〕『千羽鶴』
1958年 / モノクロ / 16mm / 67分 / 監督：木村莊十二
出演：菅井美智子、島田屯、吉沢久嘉、加藤嘉

〔1〕『煙突屋ペロー』 + 〔2〕『時計は生きていた』※2本立て上映

〔1〕『煙突屋ペロー』
1930年(1987年復元サウンド版) / モノクロ / 16mm / 23分 /
監督：田中喜次 / ナレーション：常田富士男

〔2〕『時計は生きていた』
1973年 / カラー + モノクロ / 16mm / 63分 / 監督：神山征二郎
出演：天田純、大泉晃、殿山泰司、佐藤慶

企画展連携上映 アートへの情熱

さまざまなアーティストたちの情熱を描いた作品を特集して、放浪するアーティストたちを描いた『放浪の画家ピロスマニ』『FOUJITA』『百日紅 ～Miss Hokusai』、アートに情熱を注ぐ人生を描いたドラマ『アキレスと亀』、障害者によるアート制作を取り上げたドキュメンタリー『まひるのほし』『虹をかける子どもたち』、全6作品を上映。



期間 9月2日～10月1日(各日11:30～/14:00～)
会場 映像ホール
料金 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

上映回数 16回
鑑賞者数 計494名

上映作品

百日紅 ～Miss Hokusai

2015年/カラー/DCP/90分/監督:原恵一
声の出演:杏、松重豊、濱田岳、高良健吾、美保純

FOUJITA

2015年/カラー/DCP/126分/監督:小栗康平
出演:オダギリジョー、中谷美紀、加瀬亮、リリィ、岸部一徳、
青木崇高、河津清三郎

まひるのほし

1999年/カラー/35mm/93分/監督:佐藤真
出演:舩次崇、西尾繁、伊藤喜彦、竹村幸恵、富塚純光、
川村紀子、松本孝夫

虹をかける子どもたち

1980年/カラー/35mm/86分/監督:宮城まり子
出演:ねむの木学園の子どもたち、宮城まり子

放浪の画家ピロスマニ

1969年/カラー/DCP/87分/監督:ギオルギ・シェンゲラヤ/
グルジア映画

アキレスと亀

2008年/カラー/35mm/119分/監督:北野武
出演:ビートたけし、樋口可南子、柳憂怜、麻生久美子、中尾彬、
伊武雅刀、大杉漣

展覧会連携 国産アニメーション100周年記念《スクリーンに蘇る!アニメーション傑作選》

貴重な初期短編アニメーション含め、劇場用アニメーション史上の傑作を選びすぐって上映。

10月22日(日)には、現在発見されている最古のアニメーション映画『なまくら刀』(1917)の弁士・
伴奏付き上映ならびに講演会も開催。



期間 10月14日～11月26日(各日11:30～/14:00～)
会場 映像ホール
料金 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

上映回数 24回
鑑賞者数 計1156名

上映作品

パンダコパンダ + パンダコパンダ 雨ふりサーカス

『パンダコパンダ』
1972年/カラー/35mm/35分/原案・脚本・画面設定:宮崎駿
演出:高畑勲

『パンダコパンダ 雨ふりサーカス』
1973年/カラー/35mm/39分/脚本・美術設定・画面構成:宮崎駿
演出:高畑勲

コマ撮りアニメーション短編集《岡本忠成と川本喜八郎》※短編4作品上映

<岡本忠成作品>

1. 小さな五つのお話 (1974/16mm/20分)
2. りすのバナシ (1978/16mm/22分)
3. おこんじょうり (1982/16mm/27分)

<川本喜八郎作品>

4. 道成寺 (1976/16mm/19分)

『くもとちゅうりっぷ』 + 『桃太郎 海の神兵』

『くもとちゅうりっぷ』
1943年/モノクロ/35mm/16分/脚本・演出・撮影:政岡憲三
東京国立近代美術館フィルムセンター所蔵作品

『桃太郎 海の神兵』
1945年(2016年デジタル復元版)/モノクロ/DCP/74分/
演出・脚本:瀬尾光世

初期短編集《蘇ったアニメーション》※6作品上映

弁士+伴奏つき上映(弁士:片岡一郎/ピアノ伴奏:上屋安由美)

1. なまくら刀(塙内名刀之巻)[デジタル復元版・再染色版]
1917年/作画:幸内純一/35mm/無声/染色/1:1.33/
約4分[20fps 上映]
2. 浦島太郎[デジタル復元版・再染色版]
1918年頃/作者不詳/35mm/無声/染色/1:1.33/
約1分36秒[20fps 上映]
3. 漫画 癩取り
1929年/監督:青地忠三・作画:村田安司/35mm/無声/
染色/1:1.33/約12分36秒[20fps 上映]

音声つき上映

4. 黒ニャゴ[デジタル復元版]
1929年/作画:大藤信郎/35mm/3分[24fps]/モノクロ
5. 茶目子の一[デジタル復元版]
1931年/監督:西倉喜代治/35mm/7分[24fps]/モノクロ
6. 幽霊船(YUUREISEN)[デジタル復元版・三色分解光学合成]
1956年/監督:大藤信郎/35mm/11分[24fps]/カラー

紫式部 源氏物語

1987年/カラー/35mm/110分/監督:杉井ギサブロー/
脚本:筒井ともみ

カムイの剣

1985年/カラー/DCP/142分/監督:りん・たろう

幻魔大戦

1983年/カラー/DCP/131分/監督：りん・たろう/
原作：平井和正、石森章太郎

銀河鉄道の夜

1985年/カラー/35mm/107分/監督：杉井ギサブロー/
原作：宮澤賢治/原案：ますむらひろし/音楽：細野晴臣

少年ケニヤ

1984年/カラー/35mm/109分/監督：大林宣彦/
共同監督：今沢哲男

千年女優

2001年/カラー/35mm/87分/原案・脚本・監督：今敏

人形アニメーション短編集

親子でお楽しみいただける上映プログラム。

期間 12月2日～12月10日(各日11:30～/14:30～)
会場 映像ホール
料金 無料

上映回数 8回
鑑賞者数 計206名

上映作品

アンデルセン童話集

『みにくいあひるの卵』
1968年/カラー/16mm/20分/演出：渡辺和彦
『にんぎょひめ』
1974年/カラー/20分/演出：市川安久利
『マッチ売りの少女』
1964年/カラー/20分/演出：渡辺和彦

日本むかしばなし集

『彦一とんちばなし』
1970年/カラー/16mm/18分/演出：渡辺和彦
『したきりすずめ』
1974年/カラー/16mm/18分/演出：市川安久利
『かぐや姫』
1961年/カラー/16mm/27分/演出：渡辺和彦

川崎ゆかりのゴジラ映画

企画展「2017 川崎フロンターレ展」「かわさきマイスター 20年展」の連携上映として、川崎ゆかりのゴジラ映画を上映。武蔵小杉が登場する『シン・ゴジラ』のアンコール上映や、小さなお子様も楽しめる川崎を舞台にした『ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃』も上映した。



期間 12月17日～12月24日(各日11:30～/14:00～)
会場 映像ホール
料金 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

上映回数 6回
鑑賞者数 計596名

上映作品

シン・ゴジラ

監督：庵野秀明/2016年/カラー/DCP/シネマスコープ/119分
出演：長谷川博己、竹野内豊、石原さとみ、市川実日子、高良健吾

ゴジラ・ミニラ・ガバラ オール怪獣大進撃

監督：本多猪四郎/1969年/カラー/35mm/シネマスコープ/69分
出演：矢崎知紀、佐原健二、中真千子、天本英世、石田茂樹、沢村いき雄

映画で見る昔の川崎 ～所蔵作品名品集～

当館所蔵作品より、川崎市内でロケ撮影された映画を特集。

期間 1月13日～1月21日(各日11:30～/14:00～)
会場 映像ホール
料金 一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円
(未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)

上映回数 8回
鑑賞者数 計376名



上映作品

どぶ

1954年/モノクロ/35mm/スタンダード/111分
監督：新藤兼人/出演：乙羽信子、宇野重吉、殿山泰司、山村聰、菅井一郎、藤原釜足、中北千枝子、信欣三

愛すればこそ

1955年/モノクロ/35mm/スタンダード/84分
監督：吉村公三郎(第一話)、今井正(第二話)、山本薩夫(第三話)
出演：(第一話)乙羽信子、(第二話)香川京子、(第三話)久我美子、山田五十鈴、山村聰

この青春

1971年/モノクロ/35mm/シネマスコープ/114分
監督：森園忠/出演：藤田弓子、村野武範、今福正雄、荒木道子、大出俊、鈴木良介

アッシィたちの街

1981年/カラー/35mm/ビスタ/129分
監督：山本薩夫/出演：古谷一行、江藤潤、奥田瑛二、関根恵子、三國連太郎、乙羽信子、浅茅陽子

《MJ's FES みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展 SINCE 1958》関連上映

みうらじゅんの幅広い活動の全貌を紹介する公立館初の展覧会《MJ's FES みうらじゅんフェス！マイブームの全貌展 SINCE1958》の連携上映として、みうらじゅんが原作・企画等に携わった映画作品を上映した。

期間	2月17日～3月4日(各日11:30～/14:00～)	上映回数	12回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計748名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		

上映作品

アイデン&ティティ

2003年/カラー/35mm/ビスタ(1:1.85)/118分/配給:東北新社
原作:みうらじゅん/監督:田口トモロヲ/脚本:宮藤官九郎
出演:峯田和伸、麻生久美子、中村獅童、大森南朋、マギー

色即ぜねれいしょん

2009年/カラー/35mm/ビスタ(1:1.85)/114分/
配給:スタイルジャム
原作:みうらじゅん/監督:田口トモロヲ/脚本:向井康介
出演:渡辺大知、峯田和伸、岸田繁、堀ちえみ、リリー・フランキー

変態だ ※[R-18]指定作品

2016年/モノクロ/DCP/スコープ(16:9)/76分/
配給:松竹ブロードキャスティング、アーク・フィルムズ
原作・企画:みうらじゅん/監督:安齋肇
出演:前野健太、月船さらら、白石茉莉奈、奥野瑛太、信江勇

ザ・スライドショーがやって来る!「レジェンド仲良し」の秘密

2017年/カラー/DCP/94分/配給:日活、WOWOW
監修:みうらじゅん、いとうせいこう/監督:伏原正康、おぐらりゅうじ
出演:Rock'n Roll Sliders(みうらじゅん・いとうせいこう・スライ)他

毎日映画コンクールを彩った男優たち～毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念 過去受賞作品～

第72回毎日映画コンクール表彰式が2月15日に川崎市内で開催されたことを記念して、当館所蔵作品より過去受賞作品を上映した。

期間	3月10日～3月18日(各日11:30～/14:00～)	上映回数	8回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計348名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、小中学生400円 (未就学児、障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		



上映作品

マタギ

1982年/カラー/35mm/104分/監督:後藤俊夫
出演:西村晃、安部吉人、山田吾一、伴淳三郎
★第37回毎日映画コンクール男優演技賞(西村晃)受賞

襦袢(らんる)の旗

1974年/モノクロ/35mm/113分/監督:吉村公三郎
出演:三國連太郎、荒木道子、田村亮、西田敏行
★第29回毎日映画コンクール男優演技賞(三國連太郎)受賞

ザ・中学教師

1992年/カラー/35mm/106分/監督:平山秀幸
出演:長塚京三、藤田朋子、金山一彦、谷啓
★第47回毎日映画コンクール男優主演賞(長塚京三)受賞

火まつり

1985年/カラー/35mm/127分/監督:柳町光男
出演:北大路欣也、太地喜和子、中本良太、宮下順子
★第40回毎日映画コンクール男優主演賞(北大路欣也)・脚本賞(中上健次)・日本映画優秀賞受賞

こども映画館「スクリーンで見る日本アニメーション!」～Fシネマ・プロジェクト～

フィルムの上映環境を確保するための「Fシネマ・プロジェクト」の一環として、コミュニティシネマセンターの会員館を中心にフィルムセンターと共催で実施。

期間	3月24日～3月31日(各日11:30～/14:00～)	上映回数	6回
会場	映像ホール	鑑賞者数	計186名
料金	一般600円、65歳以上・大学生・高校生500円、中学生以下無料 (障害者手帳等をお持ちの方及びその介護者無料)		



上映作品

NFC 短篇集《いろいろな動物の映画》

『人魚』1964年/カラー/スタンダード/35mm/8分
監督:手塚治虫
『もりのおんがくたい』1960年/カラー/スタンダード/35mm/14分
監督:神保まつえ
『こねこのらくがき』1957年/モノクロ/スタンダード/35mm/12分
監督:数下泰司
『体育デー』1932年/モノクロ/スタンダード/35mm/9分/無声
監督:村田安司

長靴をはいた猫

1969年/カラー/シネマスコープ/35mm/80分
監督:矢吹公郎/原作:シャルル・ペロー/脚色:井上ひさし、山本護久/作画監督:森康二/音楽:宇野誠一郎/美術:浦田又治、土田勇声の出演:石川進、藤田淑子、榎原ルミ、水森亜土、水垣洋子、熊倉一雄、小池朝雄

上映プログラム (ミニホール)

ミニホール ビデオ上映会

収蔵ビデオの無料上映会として、2017年6月より事業を開始した。(定員40名/先着順)

祭りの記録映像上映会

寄贈DVD「祭りの記録映像」の上映と解説を実施。

期間 毎月 第1土曜日 14:00～16:00
会場 ミニホール
料金 無料
上映回数 10回
鑑賞者数 計196名

上映作品

6月	湯立神楽の祭り	11月	念仏のある祭
7月	水こりのある祭り	12月	船のある祭り
8月	パレードの祭り	1月	日本の聖地と祭り
9月	神楽の祭り	2月	風流な祭り
10月	獅子舞と虎舞の祭り	3月	3匹獅子舞の祭り

日本映画傑作選：テーマ「昭和の時代 青春賛歌 若者と恋心」

時代背景や見どころの解説の後、当館所蔵ビデオ「日本映画傑作選」を上映した。

期間 毎月 第4火曜日 10:30～/14:00～
会場 ミニホール
料金 無料
上映回数 20回
鑑賞者数 計393名

上映作品

6月	「東京ラプソディー」(1936/東宝)	11月	「春の饗宴」(1947/東宝)
7月	「春よいづこ」(1940/東宝)	12月	「また逢う日まで」(1950/東宝)
8月	「希望の青空」(1942/東宝)	1月	「山のかなたに」(1950/東宝)
9月	「或る夜の接吻」(1946/大映)	2月	「丘は花ざかり」(1952/東宝)
10月	「四つの恋の物語」(1947/東宝)	3月	「あすなろ物語」(1955/東宝)

ミュージアムライブラリー (図書・映像)

図書

来館者の利用を主眼とした図書室で、約10万冊の書籍の閲覧が可能。また、下記の各分野に関する専門図書をコンピュータによって検索することもできるほか、一部の図書は開架式で自由に閲覧も可能。

映像

3階のミュージアムライブラリーでは、VHSテープの邦画と洋画、レーザーディスクを新たに公開し、テレビドキュメンタリー、ニュースを個人の研究視聴として公開。

個人視聴ブース10台、15インチの液晶テレビでDVDとVHSに対応している。

他団体の展示

MOA 美術館 川崎市児童作品展

期間 2017年10月27日～29日
会場 企画展示室1
入場者数 1620人

主催 MOA 美術館 川崎市児童作品展実行委員会

川崎ジュニア文化賞受賞作品展示

期間 2017年11月1日～12月16日
会場 総論展示空間

主催 川崎ジュニア文化賞実行委員会

創造する子ども展

期間 2017年12月1日～7日
会場 企画展示室1
入場者数 3034名

川崎市立中学校造形展

期間 2018年1月24日～30日
会場 企画展示室2
入場者数 944名

教育普及



教育普及

1. 市民ミュージアムの活動に対する関心を幅広く呼び起こす事業

事業名	講座名	回数	参加人数	日程		
博物館プログラム	博物館講座	第一回 万葉集講座	全2回	13名	7月8日(土)、9日(日)	
		第二回 万葉集講座		9名	11月19日(日)	
		おもしろ美術史講座 明治維新150年 特別講座 「江戸イメージの転換と幕末維新一大河ドラマを中心に」	全2回	10名	5月27日(土)、6月24日(土)	
	体験講座	古代の勾玉を作ろう①		234名	2月12日(月祝)	
		古代の勾玉を作ろう②		43名	4月29日(土)	
		古代の勾玉を作ろう③		39名	7月28日(金)	
		古代の勾玉を作ろう④		101名	7月29日(土)	
		古代の勾玉を作ろう⑤		39名	10月15日(日)	
		親子で縄文土器づくり		39名	1月28日(日)	
		壇輪を作ろう		45名	8月5日(土)	
		どんぐりクッキー作り		23名	3月25日(日)	
		正月飾りを作ろう		39名	10月15日(日)	
		サンタを作ろう		48名	12月23日(土・祝)	
	博物館でアウトドア	火おこし体験1		111名	12月10日(日)	
		火おこし体験2		85名	5月3日(水)	
		火おこし体験3		60名	5月4日(木)	
		火おこし体験4		70名	5月5日(金)	
		火おこし体験5		106名	5月6日(土)	
		火おこし体験6		96名	5月7日(日)	
		火おこし体験7		60名	5月14日(日)	
火おこし体験8			42名	5月20日(土)		
火おこし体験9			60名	5月21日(日)		
火おこし体験10			34名	5月27日(土)		
火おこし体験11			68名	5月28日(日)		
火おこし体験12			185名	8月20日(日)		
火おこし体験13		10名	12月5日(火)			
火おこし体験13		10名	12月6日(水)			
企画展関連事業	アンデルセン展	ミニホール上映「雪の女王」1		40名	5月7日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」2		40名	5月14日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」3		40名	5月21日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」4		40名	5月28日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」5		40名	6月4日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」6		40名	6月11日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」7		40名	6月18日(日)	
		ミニホール上映「雪の女王」8		40名	6月25日(日)	
		講演会「アンデルセンの多面性～いつもそばにいたアンデルセン～」		41名	5月6日(土)	
		講演会「アンデルセンを輩出したデンマークの豊かなくらしや風土とデザイン」		70名	6月11日(日)	
	ポスターで紙袋		35名	5月10日(土)		
	からくりトリックアート展	高橋みのる からくりトーク		45名	7月16日(日)	
		ポスターで紙袋		280名	7月17日(月)	
		Pepperによる服部正志展 トリック・ギャラリートーク 親子で楽しむペーパーからくりワークショップ		85名 21名	7月8日(土) 8月5日(土)	
	山下清展	貼絵ワークショップ「あったらいいな、こんなチョウチョ」		18名	9月3日(日)	
		記念講演会「なぜ? どうして? —— 真実を求めた山下清」		60名	9月17日(日)	
	ハイチアート展	ミニホール上映「牛山純一ドキュメンタリー ハイチ・カリブ海シリーズ」		8名	9月24日(日)	
		ミニホール上映「牛山純一ドキュメンタリー ハイチ・カリブ海シリーズ」 ハイチアートでゆる〜っとオシャレ鑑賞会 親と子べつべつ!?オシャレ鑑賞会 ミニホール上映「牛山純一ドキュメンタリー ハイチ・カリブ海シリーズ」		7名 17名 19名 12名	10月29日(日) 10月21日(土) 11月11日(土) 11月18日(土)	
	にっぽんアニメーションことはじめ ～「動く漫画」のパイオニアたち～	ワークショップ「森のなかでアニメーションをつくろう!」		13名	10月15日(日)	
		講演「桃太郎 海の神兵」デジタル復元について 講演「アニメーション史を訪ねた男、100年を語る」 杉井ギサブロー 監督のトークイベント 下川四天トリビュートアニメーション&現代の作家たちの作品上映会		24名 100名 270名 30名	10月21日(土) 10月22日(日) 11月12日(日) 11月19日(日)	
	川崎ヒストリー展	川崎市 中原区を見る・知る・知りあう「グラフィック・フォト レコーディング」		8名	10月9日(日)	
		川崎市 中原区を見る・知る・知りあう「グラフィック・フォト レコーディング」		10名	11月5日(日)	
		川崎市 中原区を見る・知る・知りあう「グラフィック・フォト レコーディング」		14名	12月3日(日)	
	大矢紀展	大矢紀ギャラリートーク		68名	11月4日(土)	
		大矢紀ギャラリートーク		43名	11月11日(土)	
		大矢紀ギャラリートーク		35名	11月18日(土)	
		大矢紀ギャラリートーク		42名	11月25日(土)	
フロンタール展	チャリティトークショー		250名	12月16日(土)		
	クリスマスアクセサリーづくり教室		84名	12月17日(日)		
	「ふるん&カブレラ」来場			12月23日(土・祝)・24日(日)		
	ダンボールパーク		327名	1月6日(土)・7日(日)		
	「ふるん太&カブレラ」記念撮影会 ゲーフラ作り教室 応援デコうちわ作り教室		453名 40名 80名	1月8日(月・祝) 1月13日(土) 1月14日(日)		
みうらじゅん展	オープニングトーク みうらじゅん×山田五郎		251名	1月28日(日)		
	ミニホール上映「長髪大怪獣ゲハラ」		40名	2月12日(月・祝)		
	『ザ・スライドショーがやってくる!「レジェンド仲良し」の秘密』		270名	3月4日(日)		
	ミニホール上映「長髪大怪獣ゲハラ」		40名	3月11日(日)		
	ミニホール上映「長髪大怪獣ゲハラ」		40名	3月21日(水・祝)		
アトリエ指導員展	アーティストトーク&オープンスタジオ		12名	3月4日(日)		
	中井精也展		17名	3月24日(土)		
学芸員によるギャラリートーク	アンデルセン展	ギャラリートーク		17名	5月7日(日)	
		ギャラリートーク		11名	5月14日(日)	
		ギャラリートーク		16名	5月21日(日)	
		ギャラリートーク		15名	5月28日(日)	
		ギャラリートーク		14名	6月4日(日)	
		ギャラリートーク		22名	6月11日(日)	
		ギャラリートーク		38名	6月18日(日)	
		ギャラリートーク		18名	6月25日(日)	
		松本俊夫展	ギャラリートーク		10名	7月30日(土)
			福田繁雄展	ギャラリートーク		15名
	ギャラリートーク				30名	9月23日(土)
	みうらじゅん展	ギャラリートーク		77名	2月12日(月・祝)	
		ギャラリートーク		80名	3月11日(日)	
ギャラリートーク		100名	3月21日(水・祝)			
アート講座	アート講座「切り絵教室」		全5回	10名	3月3日(土)、10日(土) 17日(土)、24日(土) 31日(土)	
ミュージアムライブラリー	ママカフェツアー		30名	3月15日(木)		

事業名	講座名	回数	参加人数	日程
学芸員研究発表会	川崎市市民ミュージアム講座 抽象芸術とデザイン アナログ&デジタル写真の保存について 近代日本版画の世界 東高根遺跡と弥生時代 昭和初期における映画撮影と文化財の関わり ニュース映画に見る昭和史 うそ替え神事 日本近代教育の取り組み		2名 8名 13名 14名 18名 25名 15名 11名	10月1日(日) 10月22日(日) 11月12日(日) 11月26日(日) 2月4日(日) 2月18日(日) 3月4日(日) 3月18日(日)
アトリエ開放	アトリエ開放		136名	48日間
アトリエ体験講座	リトグラフ初心者講座 シルクスクリーン初心者講座 アトリエ体験講座(フロンターレ編)	全2回 全2回	15名 19名 128名	5月17日(土)、5月18日(土) 24日(土)、25日(日) 12月16日(土)
コミュゼふれあい	ミュージアムコンサート ミュージアムコンサート ともものガラタ音楽会 ファミリーコンサート ビートジャックがやってくる!		216名 69名 191名 342名	10月28日(土) 10月7日(土) 11月3日(金・祝) 2月24日(土)

2. 子どもたち及び青少年の学習活動及び体験活動を支援する事業

事業名	講座名	回数	参加人数	日程
社会科教育推進事業	社会科教育推進事業	88校	10149名	49日間
博物館・美術館総合学習プログラム	スクールプログラム(出張) 東高津小学校 上作延小学校 雨加瀬中学校 橋中学校 中原中学 井田小学校 宮内小学校 西丸子小学校 スクールプログラム(来館) 日本大学中学校 大田区立調布大塚小学校 西丸子小学校 明治学院大学 神奈川県立中原擁護学校 東京家政学院大学 八雲学園中学校 鹿島学園高等学校 玉川大学 筑波学院大学 わかたけ幼稚園 井田小学校 日本女子大学 東海大学 学習院大学 中原中学校 中原小学校 宮内小学校 武威大学 稲田中学校 昭和音楽大学 野川中学校 東洋美術学校	184名 101名 66名 40名 200名? 201名 25名 20名 200名 85名 89名 190名 40名 10名 33名 20名 31名 1名 90名 2名 11名 1名 4名 95名 20名 8名 16名 4名 7名 16名 17名	4月21日(金) 4月26日(水) 5月10日(水) 8月30日(水) 10月21日(土) 11月21日(火) 12月14日(木) 3月1日(木) 4月20日(木) 4月25日(火) 4月26日(水)、27日(木)、28日(金) 5月17日(木) 5月18日(木) 5月20日(土) 6月17日(土) 6月20日(火) 6月25日(日) 7月8日(土) 6月7日(水) 7月6日(木) 8月9日(水) 8月16日(水) 9月9日(土) 9月12日(火) 9月13日(水) 9月28日(木) 10月14日(土) 11月1日(水) 11月25日(土) 12月5日(火)、6日(水) 2月24日(土)	
職業体験	宮内中学校 日吉中学校 犬蔵中学校 犬蔵中学校 鷗友学園女子中学校 市立豊学校 川崎高校付属中学校 東横中学校 東横中学校 中原中学校 玉川中学校 有馬中学校 有馬中学校 有馬中学校 井田中学校 西高津中学校 矢向中学校 菅中学校 富士見中学校 平中学校 宮崎中学校 平間中学校	4名 4名 2名 2名 6名 1名 6名 3名 2名 3名 6名 6名 6名 6名 5名 6名 6名 2名 6名 1名 6名 6名 6名	6月20日(火) 7月4日(火) 7月6日(木) 7月7日(金) 7月11日(火) 7月21日(水) 7月25日(火)、26日(水) 8月29日(火) 8月30日(水) 9月1日(金) 9月20日(水) 9月26日(火) 9月27日(水) 9月28日(木) 11月21日(火) 12月5日(火)、6日(水) 12月7日(木)、8日(金) 1月16日(火)、17日(水) 1月19日(金) 1月23日(火)、24日(水) 1月25日(木)、26日(金) 2月1日(木)	
学校連携展覧会	創造する子供展 中学校造形展 連合文化祭		3034名 94名 125名	12月1日(金)~7日(木) 1月24日(水)~30日(火) 10月25日(水)
アトリエ体験講座	版画アトリエ体験講座(中学生編)	全3回	6名	8月16日(水)、18日(金)、19日(土)
大型アート制作ワークショップ	うちわで鯉のぼりアート		195名	5月3日(水)
ITワークショップ	浜崎亮太「Enlighten」			12月20日~1月25日
屋外学習ツアー	小鳥の巣箱を作ろう		18名	3月4日(日)
ジュニア文化賞 (川信主催事業への協力)	ジュニア文化賞展示			11月1日(水)~12月10日(日)
寺子屋事業 (川崎市への協賛)	宮内小学校		25組	7月7日(土)

3. 全ての人が参加しやすい事業

事業名	講座名	参加人数	日程	
かわさきっぴ広場	ママカフェ1	6名	7月6日(木)	
	ママカフェ2	15名	7月20日(木)	
	ママカフェ3	16名	8月3日(木)	
	ママカフェ4	2名	8月17日(木)	
	ママカフェ5	12名	9月7日(木)	
	ママカフェ6	29名	9月12日(木)	
	ママカフェ7	9名	10月5日(木)	
	ママカフェ8	8名	10月19日(木)	
	ママカフェ9	14名	11月2日(木)	
	ママカフェ10	19名	11月16日(木)	
	ママカフェ11	20名	12月7日(木)	
	ママカフェ12	14名	12月21日(木)	
	ママカフェ13	12名	1月18日(木)	
	ママカフェ14	4名	2月1日(木)	
	ママカフェ15	11名	2月15日(木)	
	ママカフェ16	16名	3月1日(木)	
	ママカフェ17	30名	3月15日(木)	
かわさきっぴくらぶ	ワンニットムービー (脚本アーカイブ)	39名	7月30日(木)	
	超大型絵本がやってくる「おまえ うまそうだな」	330名	12月9日(土)	
かわさきっぴらんどイベント	ともものガラタ音楽会	69名	10月7日(土)	
ベビーカーツアー	ベビーカーツアー1	0名	7月6日(木)	
	ベビーカーツアー2	4名	7月20日(木)	
	ベビーカーツアー3	8名	11月16日(木)	
	ベビーカーツアー4	18名	3月1日(木)	
わいわい読み聞かせ会	わいわい読み聞かせ会1	2名	7月13日(木)	
	わいわい読み聞かせ会2	9名	7月27日(木)	
	わいわい読み聞かせ会3	6名	8月10日(木)	
	わいわい読み聞かせ会4	0名	8月24日(木)	
	わいわい読み聞かせ会5	14名	9月14日(木)	
	わいわい読み聞かせ会6	8名	9月28日(木)	
	わいわい読み聞かせ会7	14名	11月2日(木)	
	わいわい読み聞かせ会8	19名	11月16日(木)	
	わいわい読み聞かせ会9	12名	1月18日(木)	
	わいわい読み聞かせ会10	16名	3月1日(木)	
	わいわい読み聞かせ会11	30名	3月15日(木)	
異世代交流プログラム	昔遊び	おやじdeミュージアム	377名	22日(土)
		若武者甲冑遊び	280名	1月8日(月・祝)
		お正月deミュージアム	305名	1月8日(月・祝)
異世代交流プログラム	じいじ・ばあばといっしょ あの頃回想法で脳いきいき 美術鑑賞ワークショップ	じいじ・ばあばといっしょ 回想法プログラム	59名	9月18日(月・祝)
		"視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ —ことばで旅するコレクション—"	9名	3月9日(金)、16日(金)
			14名	7月15日(土)
ボランティア活動支援	ボランティア活動	ボランティア 436名 (参加者 1051名)	131日間	

4. 高等教育機関の連携

事業名	講座名	参加人数	日程
博物館実習及び美術館実習	博物館実習	12名	8月15日(火)~27日(日)
インターンシップ	多摩高校	1名	7月28日(金)
教員研修	先生のための博物館の日	15名	9月2日(土)
大学連携事業	アートツール・キャラバン	328名	12月2日(土)、3日(日)

5. 団体見学

事業名	講座名	参加人数	日程
団体見学	国際交流基金アジアセンター	13名	7月7日(金)
	東高根森林公園 森林塾	11名	7月13日(木)
	慶應大学	21名	7月15日(土)
	ウィザードセンター	32名	8月17日(木)
	中原区役所まちづくり推進部地域振興課	4名	8月29日(火)
	川崎小学校	20名	9月2日(土)
	神奈川健生クラブ	40名	10月20日(金)
	川崎歴史勉強会	15名	11月2日(木)
	稲毛区町内連絡協議会	31名	2月15日(木)

6. 開館記念日イベント

事業名	講座名	参加人数	日程
市民ミュージアムの日事業	ねこようかい大脱出ゲーム	68名	11月3日(金・祝)

收集 · 整理 · 保存



収集・整理・保存

1. 収集

平成 29 年度は、川崎市域に関連する博物資料や美術作品を中心に収集を行った。

■ 寄贈

博物資料

- ・ 山崎孝氏旧蔵資料 19 点
- ・ 富浜利郎氏旧蔵資料 73 点
- ・ 黒川家旧蔵資料 26 点

美術資料

- ・ 大矢紀 日本画 33 点
- ・ 森秀雄 アクリル絵画 20 点
- ・ 関野準一郎 木版画 7 点・色紙 2 点・関連資料 11 点
- ・ 熊田千佳慕 水彩画 1 点
- ・ ヒロシマ・アピールズ 2017 年度受賞 ポスター作品 1 点



大谷 紀《昭和と新山》



森 秀雄《様々な別れ》

2. 整理・保存・修復

平成29年度は、以下の収蔵品について整理・保存・修復作業を行った。

■ 整理

- ・ LIFE 誌、Le Rire 誌 目録作成・状態確認
- ・ Cybernetic Scerendipity 展関連資料 目録照合・状態確認
- ・ データベース立ち上げに伴う博物館、美術館資料作品情報のデータ化

■ 保存・修復

- ・ ビネガーシンドロームを発症したフィルム資料のゾーニング・目録作成
- ・ 絵画作品修復（田中岑 油彩画 1点、重松岩吉 油彩画 1点）
- ・ 写真作品修復（小林のりお 写真作品 4点、アレクサンドル・ロトチェンコ 写真作品 1点）

■ 特別利用 102件 (画像借用 73件、熟覧37件、撮影2件)

利用区分	利用先	申請資料・作品名(作家名)	利用区分	利用先	申請資料・作品名(作家名)
画像借用	NHK 出版	夢(テオフィール・スタンラン) 鹿鳴館の月曜日(ジョルジュ・ピゴール)	画像借用	川崎市市民文化振興室	川崎市制記念絵葉書(浄水場) 川崎市制記念絵葉書(市街) 川崎市制記念絵葉書(市役所) 川崎市制記念絵葉書(大師平間寺山門) 川崎市制記念絵葉書(稲毛神社)
画像借用	TBS ビジョン	『図画百鬼夜行 前編(風)』より「元興寺」(鳥山石燕) 『図画百鬼夜行 前編(風)』より「元興寺」(鳥山石燕)	画像借用	集英社	東京バック「モガモボ」
画像借用	YOU テレビ	川崎市写真コンクール作品 1点 川崎市写真コンクール作品 1点 川崎市写真コンクール作品 1点 南部鉄道図会(吉田初三郎) 南部鉄道車両 木造 500型車	画像借用	小学館『和楽』事業室 小学館『和楽』編集部	髪切りの奇談(歌川芳藤) 髪切りの奇談(歌川芳藤)
画像借用	学研	魚釣り遊び(ジョルジュ・ピゴール) おれがついている…すぐ後ろにだ(ジョルジュ・ピゴール)	画像借用	シルク博物館	宿河原 大津富大家文書など 11点 稲毛荘校注目録 (複製)
画像借用	株式会社 学研プラス	魚釣り遊び(ジョルジュ・ピゴール)	画像借用	スタディオユニ	北斎漫画 三篇 2点 北斎漫画 九篇 北斎漫画 十三篇
画像借用	株式会社 学研プラス	魚釣り遊び(ジョルジュ・ピゴール)	画像借用	スティールストリート	濱田庄司 肖像写真 富士瓦斯工場 写真
画像借用	株式会社 小学館	慎兵衛(H・R・マークス撮影) 岩蔵(H・R・マークス撮影) 塩田三郎 肖像写真(ジャック・フィリップ・ポトール) 釜山の軍事境界線(ジョルジュ・ピゴール)	画像借用	(個人)	古筆手鑑『披香殿』所収 130 伝油古路隆隆華和歌懐紙断簡
画像借用	株式会社 洋泉社	第一回遣欧使節一(ナダール) 田辺太一 肖像写真	画像借用	地域文化研究所	幸内純一肖像写真
画像借用	株式会社アドバンスワークス	後北条氏の虎の印判状永禄元年五月十一日付	画像借用	帝国書院	巷説行革風景
画像借用	株式会社コロロマチ	ニヶ領絵図 小杉御殿図 川崎新聞「工都の新偉力 水源の大工事」	画像借用		『絵本百物語』より「神なり」 『絵本百物語』より「野狐」 『絵本百物語』より「風の神」 『絵本百物語』より「寝肥」 『絵本百物語』より「二口おんな」 『絵本百物語』より「歯黒べったり」 『絵本百物語』より「小豆洗い」
画像借用	株式会社シーエスプランニング	泉澤寺文書 1点	画像借用	東洋紙業株式会社	川崎市写真コンクール作品 1点 川崎市写真コンクール作品 1点 川崎市写真コンクール作品 1点
画像借用	株式会社スピンドル	川崎市写真コンクール写真 11点	画像借用	(個人)	森家文書 12頁
画像借用	株式会社東京堂出版	遣欧使節団一行	画像借用	戸出小学校	川崎町水道一覧図 通水絵葉書
画像借用	株式会社ナロアーズ	川崎市写真コンクール作品(田園都市線とブルー、鷺沼駅) 川崎市写真コンクール作品(鷺沼駅付近) 川崎市写真コンクール作品(野川神社の秋祭り)	画像借用	ナノアローズ	宮前平を行く列車
画像借用	株式会社ハウフルス	ニヶ領絵図(明治時代初期)	画像借用	日本経済新聞社	ポスター 夢(テオフィール・スタンラン)
画像借用	株式会社ブリッジ	佐藤惣之助 肖像画像	画像借用	日本放送協会	下沼部村絵図(江戸時代) 下沼部村絵図(文政4年8月)
画像借用	株式会社ホールマン	川崎市写真コンクール作品(川崎駅周辺写真 4点) 川崎市写真コンクール作品(川崎工場写真 3点)	画像借用	神奈川県立歴史博物館	①森家文書 I-27 川崎駅全体の図 ②森家文書 C-2-50 將軍御上洛二付書上宿図 ③森家文書 I-10 川崎宿往還絵図
画像借用	株式会社悠工房	東京バック「巷説 行革風景」	画像借用	博報堂	『図画百鬼夜行』より 6点 幽谷響、鳴屋、野寺坊、ひょうすべ、ぬっぺっぽう、うわん 『今昔百鬼拾遺』より 4点
画像借用	株式会社ユニット	『絵本百物語』より「山男」 『絵本百物語』より「小豆あらい」 『絵本百物語』より「雷獣」	画像借用	評価問題研究所	「漁夫の利」(トバエ1号、明治20年2月15日号) 「ノルマントン号事件」(トバエ9号、明治20年6月15日号)
画像借用	川崎市公文書館	南部鉄道図会	画像借用	(個人)	A-7-41 川崎の写真
画像借用	川崎市立川崎図書館	大師電気鉄道土地関係書類 明治31年 京浜急行及大師線 明治32年写真複製 京浜電鉄株式優待券 明治34~35年 京浜電鉄事務所看板 明治中期 京浜電鉄神奈川線開通チラシ 明治38年 京浜電気鉄道全線開通祝賀会次第(パンフレット) 明治39年 京浜電気鉄道沿革 明治35年10月18日 京浜電気鉄道株式会社 全線開通記念絵葉書 明治39年	画像借用	文化企画	サマリアの女(アルフォンス・ミュシャ)
画像借用	芸術新潮 編集部	草薙の剣	画像借用	法政大学沖縄文化研究所	戦時感想録(下川凹天) 履歴書(下川凹天)
画像借用	江東区深川江戸資料館	画図百鬼夜行 前編(陰)「河童」 画図百鬼夜行 前編(陽)「やなり」 画図百鬼夜行 前編(風)「しょうけら」	画像借用	光村図書	『百器徒然袋』より 5点(鳥山石燕)
画像借用	コッフェル	川崎市写真コンクール 写真 6点 富浜氏寄贈資料 新川崎駅記念切符	画像借用	(個人)	影向寺
画像借用	川崎市企画課シティプロモーション推進室	川崎市制記念絵葉書(浄水場) 川崎市制記念絵葉書(市街) 川崎市制記念絵葉書(市役所)	画像借用	山川出版社	漁夫の利(ジョルジュ・ピゴール)

利用区分	利用先	申請資料・作品名(作家名)	利用区分	利用先	申請資料・作品名(作家名)
画像借用	有限会社ドゥ・ドゥ・ドゥ	川崎市コンクール写真 3点	熟覧	川崎市公文書館	池上新田村 飯田家文書 1点 下野毛村原千興家文書 1点 川中島村高橋靖昇家文書 12点 長尾村鈴木惣家文書 1点 宿河原村宮崎家文書 1点 大嶋茂氏寄贈資料 1点 長尾村井田太郎家文書 5点 岡上村梶家文書 1点 梶ヶ谷村田村家文書 5点 北加瀬村小泉家文書 2点 小杉村小林家文書 1点 池上新田池上家文書 16点
画像借用	有限会社リーライダーズ	絵本百物語	熟覧	(個人)	長尾村井田家文書 1点
画像借用	有限会社ワンステップ	電気冷蔵庫(日立製) 電気洗濯機(松下電器産業製) 白黒テレビ(早川電気産業) 新け台	熟覧	シルク博物館	生田 関利克家文書 2点 宿河原 大津富夫家文書 11点 岡上 梶家文書 4点 梶ヶ谷 田村家文書 11点 宿河原 宮崎家文書 2点
画像借用	洋泉社	遣欧使節一行(ナダール撮影)	熟覧	(個人)	アパートメント 10点(石内都)
画像借用	横浜市都筑図書館	三宝寺石碑	熟覧	(個人)	化物絵巻
画像借用	株式会社 学研プラス	魚釣り遊び(ジョルジュ・ピゴ)	熟覧	(個人)	週刊コミックパンチ 06年 35号
画像借用	株式会社 天夢人	髪切りの奇談(歌川芳藤)	熟覧	(個人)	安藤家文書 59点
画像借用	株式会社オールアウト	佐藤惣之助 肖像画像	熟覧	(個人)	佐田家文書 6点
画像借用	株式会社トスプランニング	北斎漫画 十一編 11ページ	熟覧	長野県立歴史館	百鬼夜行(鳥山石燕) 寛永年中豊後国捕候水虎之図 河童図説 全 河童図
画像借用	株式会社フジテレビジョン	『図画百鬼夜行』より「枕返し」(鳥山石燕) 『図画百鬼夜行』表紙(鳥山石燕)	熟覧	神奈川県立歴史博物館	森家文書 1点 菅村佐保田司家文書 5点
画像借用	公益財団法人川崎市国際交流協会	31点(ジョルジュ・ピゴ)	熟覧	(個人)	第4回芸術家有効援助舞踏会(藤田嗣治)
画像借用	山陽新聞社編集局文化部	幸内純一肖像写真	熟覧	(個人)	第5回芸術家有効援助舞踏会(試刷)(藤田嗣治)
画像借用	神奈川県教育委員会文化遺産課	間瀬根横穴墓群出土品(岡道孝コレクション) 間瀬根横穴墓群出土品(岡道孝コレクション)	熟覧	(個人)	サロン・デュ・フラン/ 展覧会とオークション(藤田嗣治)
画像借用	川崎市南部学校給食センター	昭和45年9月13日 給食献立レプリカ	熟覧	(個人)	宮内村原家文書 10点
画像借用	川崎市総務企画局 シティプロモーション推進室	大日本職業別明細図之内(大正13年) 川崎市制記念絵葉書(市役所) 川崎市制記念絵葉書(大正の町並み)	熟覧	(個人)	宮内村原家文書 11点
画像借用	長野県立歴史館	寛永年中豊後国捕候水虎之図 河童図説 全 河童図	熟覧	(個人)	『リール』合本
画像借用	電通ヤング・アンド・ルピカム株式会社	溝の口駅写真(昭和30年代)	熟覧	(個人)	『カリカチュール』合本
画像借用	東京書籍株式会社	メンザレ号の救助(ジョルジュ・ピゴ)	熟覧	(個人)	『シャリヴァリ』合本
画像借用	東京都写真美術館	漂流した栄力丸乗組員 岩蔵 漂流した栄力丸乗組員 横兵衛	熟覧	(個人)	土橋村大久保家文書
画像借用	法政大学沖縄文化研究所 宮古研究会	『趣町高等学校二年生の頃』他 4点	熟覧	(個人)	旧馬網村 都倉一男家文書
画像借用	横浜市歴史博物館	池上家文書 4点	熟覧	明治学院大学	西銀座前(今村昌平)
撮影	株式会社 パイ インターナショナル	『NIPPON』8号 『NIPPON』15号	熟覧	(個人)	中田家文書 4点
撮影	(個人)	乍恐以書付御答奉申上候	熟覧	横浜市歴史博物館	池上家文書 4点 井田家文書 4点
熟覧	(個人)	森家文書 16点	熟覧	(個人)	庚申塔(旧在 宮前区犬蔵)
熟覧	(個人)	平川家文書 1点	熟覧	川崎市公文書館	宮内家原家文書(寄託) 馬網村都倉一男家文書 2点 宿河原村大津家文書 5点 下菅生村城所清家文書 5点 長尾村井田太郎家文書 3点 梶ヶ谷村田村家文書 37点 森家文書 44点
熟覧	(個人)	岡上村 梶家文書	熟覧	善養寺	川崎宿周辺村名図 川崎宿助郷村絵図
熟覧	(個人)	作品 21点(ジョルジュ・ピゴ)	熟覧	(個人)	
熟覧	(個人)	雑誌『The Graphic』50点			
熟覧	(個人)	雑誌『Paris illustre le Japon』1点			
熟覧	(個人)	軒丸瓦			
熟覧	(個人)	池上新田 池上家文書より 1点			
熟覧	(個人)	長屋村 山根家文書 1点			
熟覧	(個人)	長屋村 井田家文書 3点			
熟覧	(個人)	雑誌『漫画』28点			

調査・研究



調査・研究

1. 調査研究

平成29年度は収集作品の選定に伴う調査を行い、収蔵作品のデータベース立ち上げのためメタデータの整理を含めた資料カードからデジタルデータ化を中心に、博物資料・美術資料の調査研究を進めた。漫画資料に関しては、文化庁芸術文化振興費補助金「メディア芸術推進デジタルアーカイブ推進支援事業」によって、須山計一氏関連資料、チャールズ・ワーグマン、ジョルジュ・ビゴー作品の調査研究を行い、デジタルコンテンツにおいて公開した。

2. 出版

- 『川崎市市民ミュージアム 紀要 第30集』
 - ・資料紹介 日野孝介氏関連資料について（村山翠）
 - ・研究ノート 川崎ヒストリー展の概要と今後の展望～渡邊慎也編『仙臺文化』の活動を参考にして（渡邊裕太）
 - ・川崎市市民ミュージアムにおける収蔵資料の保存管理：現状と課題（古家満葉）
 - ・中原区の写真店コンノカメラのあゆみ（林司）
 - ・MoMA「マシーン・アート」展（1934年）再考（平井直子）
- 小薬一夫『県史跡・東高根遺跡（川崎学双書シリーズ3）』川崎市市民アカデミー
- 谷拓馬「郷土教育論史」『博物館学史研究辞典』雄山閣

3. 職員の派遣

- ・川崎市アートセンター アルテリオ上映企画委員会（森宗）
- ・なかはらフォトコンテスト審査（林）
- ・なかはらフォトコンテスト表彰式参加ならびに講評（林）
- ・東海道かわさき宿交流館運営委員 委嘱（濱崎）

4. 研修

- 10月3日 平成29年度神奈川県立博物館協会 第3回研修会(防災訓練)
- 10月6日 第17回 学芸員照明研究会
- 10月25日 平成29年度IPMセミナー
- 11月9日～10日 文化財IPM実践のための研修会
- 11月13日～17日 歴史民俗資料館等職員研修会
- 11月13日～18日 アーカイブスカレッジ短期コース
- 11月18日 JPIC読みきかせサポーター実践講座
- 11月27日～11月29日 文化財行政講座
- 12月6日～8日 平成29年度第7回文化財IPMコーディネータ資格取得講習会と試験
- 12月21日 平成29年度神奈川県立博物館協会 平成29年度第4回研修会
- 1月20日 日本博物館協会主催シンポジウム「これからの博物館の在るべき姿～博物館法をはじめとする関連法等の改正に向けて～」
- 2月3日 第5回 聞ける・話せる・知り合える-学校に歴史資料室をつくっちゃおう!!フォーラムin歴博
- 2月19日 2018学芸員研修【博物館における防災対策】
- 3月6日～8日 平成29年度 第39回文化財虫菌害防除作業に関する講習会と作業主任者能力認定試験
- 3月11日～12日 第21回常民文化研究講座 古文書修復実習
- 3月19日～20日 全国美術館会議 第32回学芸員研修会「社会状況の多様化に美術館はどう向き合うか」

広報



広報

1. 展覧会

展覧会名	種別	媒体名	日付	展覧会名	種別	媒体名	日付					
アンデルセン展	1	新聞	神奈川新聞	4月14日	山下清とその仲間 の作品展	1	新聞	朝日新聞(首都圏版)	8月29日			
	2	新聞	朝日新聞朝刊	4月18日		2	新聞	東京新聞	8月31日			
	3	新聞	東京新聞朝刊	4月20日		3	新聞	神奈川新聞	9月1日			
	4	新聞	東京新聞	4月23日		4	新聞	読売新聞 川崎版	9月2日			
	5	新聞	東京新聞	4月24日		5	新聞	神奈川新聞 川崎版	9月3日			
	6	新聞	神奈川新聞	5月3日		6	新聞	世界日報	9月3日			
	7	新聞	神奈川新聞	5月5日		7	新聞	定年時代	9月4日			
	8	新聞	読売新聞	5月11日		8	新聞	朝日新聞 川崎版	9月16日			
	9	新聞	神奈川新聞 川崎版	5月13日		9	新聞	読売新聞	9月21日			
	10	新聞	東京新聞 TODAY	5月19日		10	新聞	The Japan News	10月28日			
	11	新聞	読売新聞 夕刊 全国版	5月20日		11	雑誌	横浜ウォーカー	8月20日			
	12	新聞	上毛新聞	5月22日		12	TV	地モトTV おかえり! KANAGAWA	9月5日			
	13	新聞	美の手帖	5月27日		13	TV	tvk スポットニュース	9月6日			
	14	新聞	神奈川新聞 川崎版	6月16日		14	TV	地モトTV おかえり! KANAGAWA	9月19日			
	15	月刊誌	MOE5月号	4月3日		15	TV	街かど通信 KANAGAWA	9月2日~9月8日			
	16	月刊誌	「MOE」6月号 別冊付録 株式会社白泉社	5月2日		16	WEB	デザインノート ON THE WEB	8月3日			
	17	広報誌	市政だより 5月1日号	5月1日		17	WEB	CINRA.NET	8月26日			
	18	TV	テレビ神奈川	4月21日		18	WEB	川崎市観光協会の Facebook、Twitter	8月29日			
	19	TV	NHK 首都圏ニュース	4月22日		19	WEB	PIAZZA	9月2日			
	20	TV	地モトTV おかえり! KANAGAWA	5月29日		20	WEB	新小杉開発株式会社 企業 HP	9月7日			
	21	WEB	かわさきの生涯学習情報(生涯学習財団 HP)	4月6日		21	WEB	川崎経済新聞	9月24日			
	22	WEB	川崎市観光協会	4月12日		22	WEB	artscape	10月1日			
	23	WEB	タウンニュース レアリア	4月24日		24	フリーペーパー	ほっとタイムイベント&インフォメーション9月号	9月1日			
	24	WEB	Yahoo! ニュース	5月13日		25	フリーペーパー	ひとまち NAKAHARA	9月7日			
	25	WEB	イッコムチャンネル(ウェブサイト)	5月23日		23	その他	かわさき市政だより	8月1日			
	26	WEB	artscape	6月1日		ハイチアート展			1	新聞	神奈川新聞	9月1日
	27	WEB	劇団四季公式 HP	6月16日		2	新聞	東京新聞 川崎版	9月4日			
	28	WEB	劇団四季公式 Twitter	6月16日		3	新聞	東京新聞	9月7日			
	29	WEB	川崎経済新聞	6月20日		4	新聞	朝日新聞 首都圏版	9月12日			
	31	フリーペーパー	朝日新聞首都圏版 夕刊	4月18日		5	新聞	世界日報	9月15日			
32	フリーペーパー	ばど 4月28日号	4月28日	6	新聞	朝日新聞(朝刊)	11月14日					
33	フリーペーパー	ホットベッパー	4月28日	7	TV	日曜美術館	10月22日					
34	フリーペーパー	かわさきアートニュース5月号	5月1日	8	TV	街かど通信 KANAGAWA	2017/10/7-13					
35	フリーペーパー	タウンニュース多摩区版、川崎区・幸区版	5月5日	9	TV	地モトTV おかえり! KANAGAWA	10月12日					
36	フリーペーパー	シティリビング横浜版	5月26日	10	TV	tvk スポットニュース	10月29日					
37	フリーペーパー	ホットベッパー	5月26日	11	TV	地モトTV おかえり! KANAGAWA	10月30日					
38	メルマガ	日経 DUAL	5月25日	12	WEB	デザインノート ON THE WEB	8月3日					
39	ラジオ	COLORFUL KAWASAKI 横浜エフエム	5月7日	13	WEB	日曜美術館(番組ホームページ)	10月22日					
40	ラジオ	かわさき for you	6月2日	14	WEB	新小杉開発株式会社 企業 HP	11月1日					
30	その他	劇団四季会報誌	7月1日	15	フリーペーパー	横浜シーサイダー	10月1日					
日活映画ポスター展	1	フリーペーパー	ホットベッパー	5月26日	16	フリーペーパー	横浜シーサイダー 11月号	11月1日				
からくりトリック の世界	1	新聞	神奈川新聞	6月30日	17	その他	共同通信社より配信	8月25日				
	2	新聞	東京新聞	7月6日	18	その他	かわさき市政だより	9月1日				
	3	新聞	デーリー東北	7月10日	1	新聞	読売新聞	6月29日				
	4	新聞	神奈川新聞	7月12日	2	新聞	東京新聞 川崎版	8月28日				
	5	新聞	神奈川新聞	7月14日	3	新聞	東京新聞	9月14日				
	6	新聞	シティライフ	7月18日	4	新聞	定年時代 横浜・川崎版	11月6日				
	7	新聞	読売新聞 川崎版	7月16日	5	新聞	The Japan News	11月18日				
	8	新聞	夕刊フジ	7月22日	6	新聞・Web	朝日新聞(首都圏版)夕刊	10月10日				
	9	新聞	東京新聞 TODAY	7月28日	7	雑誌	田園都市生活 No65	9月24日				
	10	新聞	東京新聞 川崎版	7月29日	8	WEB	デザインノート ON THE WEB	8月3日				
	11	新聞	上毛新聞	7月31日	9	WEB	週刊東京ウォーカー+	8月30日				
	12	新聞	朝日新聞	8月1日	10	WEB	CINRA.NET	9月1日				
	13	新聞	定年時代 横浜・川崎版	8月7日	11	WEB	インターネットミュージアム	10月30日				
	14	新聞	le petit quotidien	8月18日	12	WEB	artscape	11月1日				
	15	雑誌	アートコレクターズ	6月24日	13	WEB	JCA 通信(会報)	12月10日				
	16	雑誌	横浜ウォーカー	7月20日	14	その他	地域創造レター	10月25日				
	17	雑誌	美術の窓 8月号	7月20日	川崎ヒストリー			1	新聞	産経新聞	11月15日	
	18	TV	地モトTV おかえり! KANAGAWA	7月26日	2	新聞	朝日新聞	11月30日				
	19	TV	LOVEかわさき	7月29日	3	雑誌	日本歴史 吉川弘文館	10月1日				
	20	TV	tvk スポットニュース	8月4日	4	WEB	k-press	11月16日				
	21	WEB	mercidays by HugMug	6月28日	大矢紀展			1	新聞	産経新聞 神奈川版	10月2日	
	22	WEB	インターネットミュージアム	7月5日	2	新聞	東京新聞 川崎版	10月30日				
	23	WEB	AERAWithKids (Facebook)	7月10日	3	新聞	東京新聞	11月2日				
	24	WEB	デーリー東北	7月10日	4	新聞	神奈川新聞 川崎版	11月3日				
	25	WEB	Hanako ママ	7月22日	5	新聞	朝日新聞 川崎版	11月3日				
	26	WEB	ママともぶらす	7月25日	6	新聞	東京新聞 横浜版・神奈川版	11月4日				
	27	WEB	新小杉開発株式会社 企業 HP	8月14日	7	新聞	東京新聞 川崎版	11月4日				
	28	フリーペーパー	Hanako ママ	7月8日	8	新聞	読売新聞 首都圏版夕刊	11月7日				
	29	フリーペーパー	ばど	7月28日	9	新聞	読売新聞 川崎版	11月8日				
	30	フリーペーパー	ほっとタイムイベント&インフォメーション 8月号	8月1日	10	新聞	新潟日報	11月20日				
	31	その他	かわさき市政だより	7月1日	11	雑誌	美術の窓 11月号	10月20日				
松本俊夫展	1		西日本新聞 全九州版	9月14日	12	雑誌	月刊美術 11月号	10月20日				
	2		NYLON JAPAN	7月28日	13	雑誌	美じよん新報	10月20日				
								14	雑誌	月刊ギャラリー 11月号	11月1日	
								15	WEB	チラシミュージアム	10月7日	
								16	WEB	ネット TAM	10月29日	
								17	WEB	ミュージアムカフェ	10月29日	

展覧会名	種別	媒体名	日付	展覧会名	種別	媒体名	日付		
大矢紀展	18	WEB	インターネットミュージアム	10月30日	みうらじゅん展	6	新聞	産経新聞	2月8日
	19	WEB	川崎市生涯学習財団 HP	10月30日		7	新聞	毎日新聞 夕刊	2月14日
	20	WEB	かわさきイベントアプリ	10月30日		8	新聞	読売新聞 川崎版	2月15日
	21	フリーペーパー	新美術新聞	11月1日		9	新聞	上毛新聞	2月19日
	22	フリーペーパー	タウンニュース (中原区版)	11月3日		10	新聞	読売新聞 夕刊	2月28日
	23	フリーペーパー	タウンニュース (麻生区版)	11月17日		11	新聞	熊本日日新聞	3月2日
24	フリーペーパー	タウンニュース (中原区版)	11月17日	12		新聞	日経新聞	3月5日	
25	その他	かわさき市政だより	10月1日	13		新聞	中部経済新聞 文化面	3月5日	
かわさきマイスター 20年展	1	新聞	朝日新聞 (首都圏版)	12月12日		14	新聞	新潟日報 文化面	3月5日
	2	新聞	東京新聞 川崎版	1月5日		15	新聞	沖縄タイムス 文化面	3月6日
	3	新聞	神奈川新聞 川崎版	1月10日		16	新聞	埼玉新聞 文化面	3月6日
	4	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	1月4日		17	新聞	日本海新聞 文化面	3月6日
	5	WEB	チラシミュージアム	11月14日		18	新聞	信濃毎日新聞 文化面	3月6日
	6	WEB	川崎市生涯学習財団 HP	11月17日		19	新聞	高知新聞 文化面	3月6日
	7	WEB	インターネットミュージアム	11月20日		20	新聞	中国新聞	3月6日
	8	WEB	かわさきイベントアプリ	12月6日		21	新聞	読売新聞 文化面	3月7日
	9	WEB	ミュージアムカフェ	12月7日		22	新聞	愛媛新聞 文化面	3月7日
	10	WEB	イベントバンク プレス	12月7日		23	新聞	千葉日報 文化面	3月7日
	11	WEB	ネット TAM	12月7日		24	新聞	山梨日日新聞 文化面	3月8日
	12	WEB	とくらく	12月12日		25	新聞	京都新聞 文化面	3月13日
	13	フリーペーパー	タウンニュース 多摩区版	1月19日		26	新聞	大分合同新聞 文化面	3月14日
	14	その他	かわさき市政だより	11月1日		27	雑誌	NYLON JAPAN 月号	12月28日
2017 川崎 フロンターレ展	1	新聞	神奈川新聞	12月1日		28	雑誌	月刊ギャラリー 1月号	1月1日
	2	新聞	朝日新聞 川崎版	12月16日		29	雑誌	POPEYE	1月10日
	3	新聞	読売新聞 川崎版	12月17日		30	雑誌	美術の窓 2月号	1月20日
	4	新聞	東京新聞 川崎版	12月24日		31	雑誌	横浜ウォーカー	1月20日
	5	新聞	神奈川新聞 川崎版	12月25日		32	雑誌	an・an	1月24日
	6	新聞	東京新聞 TODAY	1月5日		33	雑誌	PhotoStage 2月号 No.181	1月25日
	7	TV	街かど通信 KANAGAWA	12月9~25		34	雑誌	アートコレクターズ 2月号	1月25日
	8	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	12月14日		35	雑誌	月刊 ENTAME2 月号	1月30日
	9	TV	Suki Suki フロンターレ	12月22~28	36	雑誌	月刊ブレン 3月号	2月1日	
	10	TV	ファイト!川崎フロンターレ	12月22日	37	雑誌	月刊ギャラリー 2月号	2月1日	
	11	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	1月3日	38	雑誌	アサヒカメラ 3月号	2月20日	
	12	WEB	川崎市生涯学習財団 HP	11月10日	39	雑誌	芸術新潮 3月号	2月24日	
	13	WEB	チラシミュージアム	11月14日	40	雑誌	サンデー毎日	2月27日	
	14	WEB	インターネットミュージアム	11月20日	41	雑誌	Numero TOKYO 4月号	2月28日	
	15	WEB	公式 HP	12月9日	42	雑誌	月刊ギャラリー 3月号	3月1日	
	16	WEB	公式 HP	12月9日	43	雑誌	モノ・マガジン	3月2日	
	17	WEB	かわさきイベントアプリ	12月6日	44	雑誌	月刊 MOE	3月3日	
	18	WEB	ミュージアムカフェ	12月7日	45	雑誌	hanako	3月8日	
	19	WEB	イベントバンク プレス	12月7日	46	雑誌	アートコレクターズ 4月号	3月24日	
	20	WEB	ネット TAM	12月7日	47	TV	首都圏ニュース	1月27日	
	21	WEB	公式 HP	12月14日	48	TV	ニュースウオッチ 9	1月30日	
	22	WEB	キングギア	1月5日	49	TV	LOVEかわさき	2月3日	
	23	WEB	キングギア	1月12日	50	TV	街かど通信 KANAGAWA	2月10-16日	
	24	フリーペーパー	ほっとタイムイベント & インフォメーション 12月号	12月1日	51	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	2月14日	
	25	フリーペーパー	タウンニュース (宮前区版/川崎区・幸区版/高津区版/麻生区版)	12月15日	52	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	2月21日	
	26	フリーペーパー	MYTOWN	1月1日	53	TV	ゴゴなま	2月28日	
	27	フリーペーパー	定年時代 横浜・川崎版	1月9日	54	ラジオ	Sunset Breeze	1月21日	
	28	ラジオ	Sunset Breeze	1月7日	55	ラジオ	Sunday Pocket	3月11日	
	29	その他	かわさき市政だより	12月1日	56	WEB	デザインノート on the web	1月6日	
	30	その他	かいぎしょ	12月1日	57	WEB	川崎市生涯学習財団 HP	12月15日	
かわさき市美術展 作品展	1	新聞	神奈川新聞	1月11日	58	WEB	ミュージアムカフェ	12月17日	
	2	TV	街かど通信 KANAGAWA	2月24日 2月2日	59	WEB	Art-Life MUSEUM the NET	12月17日	
	3	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	2月26日	60	WEB	インターネットミュージアム	12月18日	
	4	TV	地モトTVおかえり! KANAGAWA	1月15日	61	WEB	観光かながわ now	12月19日	
	5	WEB	チラシミュージアム	2月3日	62	WEB	川崎日和り	12月19日	
	6	WEB	イベントバンク プレス	2月3日	63	WEB	ネット TAM	12月20日	
	7	WEB	かわさきイベントアプリ	2月3日	64	WEB	びあ映画生活	12月20日	
	8	WEB	ネット TAM	2月3日	65	WEB	ART NAVI	1月12日	
	9	WEB	ミュージアムカフェ	2月3日	66	WEB	SPICE	1月12日	
	10	WEB	マグカル	2月3日	67	WEB	FASHION HEADLINE	1月15日	
	11	WEB	インターネットミュージアム	2月5日	68	WEB	レッツエンジョイ東京	1月23日	
	12	WEB	川崎市生涯学習財団 HP	2月5日	69	WEB	レアリア	1月23日	
	13	WEB	川崎市生涯学習財団 HP	11月17日	70	WEB	週刊東京ウォーカー+	1月24日	
	14	WEB	公募ガイド ONLINE	11月17日	71	WEB	川崎経済新聞	1月24日	
	15	WEB	公募ストック	11月20日	72	WEB	Numero.jp	1月25日	
	16	WEB	ネット TAM	12月7日	73	WEB	ほぼ日刊イトイ新聞	1月26日	
	17	その他	かわさき市政だより	2月1日	74	WEB	PIAZZA	2月2日	
みうらじゅん展	1	新聞	神奈川新聞	1月19日	75	WEB	47news	2月7日	
	2	新聞	神奈川新聞川崎版	1月26日	76	WEB	公式 HP	2月10日~閉幕まで	
	3	新聞	毎日新聞 朝刊	1月26日	77	WEB	公式 HP	2月10日~閉幕まで	
	4	新聞	神奈川新聞	1月29日	78	WEB	新小杉開発株式会社 企業 HP	2月15日	
	5	新聞	夕刊フジ	2月5日	79	WEB	SPICE	2月17日	
					80	WEB	公式 HP	2月26日~	
					81	WEB	公式 HP	2月26日~	
					82	WEB	ほぼ日刊イトイ新聞	2月27日	
					83	WEB	inspi	2月28日	

展覧会名	種別	媒体名	日付
大矢紀展	84	Tokyo Art Beat	
	85	日刊SPA!	
	86	川崎経済新聞	
	87	産経ニュース	
	88	毎日新聞デジタル	
	89	ほっとタイムスイベント & インフォメーション1月号	
	90	横浜シーサイダー 1月号	
	91	SALUS2月号	
	92	ばど 1月26日号	
	93	かわさきアートニュース2月号	
	94	ほっとタイムスイベント & インフォメーション2月号	
	95	横浜シーサイダー	
	96	街の便利帳2月号(川崎市南部・鶴見版)	
	97	ホットベッパ-2月号	
98	シティリビング横浜		
99	横浜シーサイダー 3月号		
100	定年時代 横浜・川崎版		
101	かわさき市政だより		
102	ザ・スライドショー 配布パンフレット		
版画アトリエ 指導員展 Interlap colors	1	東京新聞 川崎版	
	2	イベントバンク プレス	
	3	ミュージアムカフェ	
	4	マガカル	
	5	インターネットミュージアム	
	6	川崎市生涯学習財団 HP	
	7	チラシミュージアム	
	8	ネット TAM	
	9	かわさきイベントアプリ	
中井精也 鉄道写真展	1	鉄道ダイヤ情報	
	2	モルゲン	
	3	アサヒカメラ 4月号	
	4	日本カメラ 4月号	
	5	CAPA 4月号	
	6	デジタルカメラマガジン 4月号	
	7	フォトコン 4月号	
	8	鉄道模型趣味 4月号	
	9	ふおとさい vol20	
	10	インターネットミュージアム	
	11	さくら web	
	12	びあ映画生活	
	13	Walkerplus	
	14	チラシミュージアム	
	15	PHaT PHOTO	
	16	イベントバンク プレス	
	17	かわさきイベントアプリ	
	18	ネット TAM	
19	ミュージアムカフェ		
20	ART NAVI		
21	川崎市生涯学習財団 HP		
22	インターネットミュージアム		
23	かわさきイベントアプリ		
24	とくらく		
25	デジカメ Watch		
26	かわさき市政だより		
こどもステーション	1	チラシミュージアム	
	2	かわさきイベントアプリ	
	3	川崎市生涯学習財団 HP	
	4	インターネットミュージアム	
	5	かわさきイベントアプリ	
	6	ミュージアムカフェ	
	7	ネット TAM	
	8	川崎市ひとり親家庭応援メルマガ	

2. 上映

特集名	種別	媒体名	日付	特集名	種別	媒体名	日付				
かわさき日活劇場	1	WEB	びあ+	4月7日	スクリーンに蘇る！ アニメーション傑作選	1	新聞	読売新聞 川崎版	11月1日		
	2	WEB	かわさきの生涯学習情報(生涯学習財団HP)	4月10日		2	雑誌	映画秘宝	9月21日		
	3	WEB	びあ+	4月14日		3	WEB	シネマ・トゥデイ	9月9日		
ポーランド映画祭2017 in 川崎	1	新聞	朝日新聞朝刊(川崎版)	4月7日		4	WEB	神奈川新聞 川崎版	9月29日		
	2	新聞	毎日新聞	4月12日		5	WEB	こども映画プラス	10月13日		
	3	新聞	神奈川新聞川崎版	4月15日		6	WEB	びあ+	10月13日		
	4	新聞	読売新聞全国版	4月21日		7	WEB	川崎市生涯学習財団HP	10月16日		
	5	WEB	ファッションプレス	4月3日		8	WEB	ことさが	10月17日		
	6	WEB	シネフィル	4月4日		9	WEB	びあ+	10月20日		
	7	WEB	映像のまち・かわさき推進フォーラム	4月5日		10	WEB	びあ+	11月10日		
	8	WEB	レイバーネット	4月6日		11	WEB	びあ+	11月17日		
	9	WEB	マガカルネット	4月9日		12	WEB	びあ+	11月27日		
	10	WEB	カナロコ by 神奈川新聞	4月17日		13	WEB	びあ+	10月27日		
	11	WEB	Yahoo!ニュース/カナロコ by 神奈川新聞	4月17日		14	WEB	映画ナタリー	10月12日		
	12	WEB	映画ナタリー	4月17日		15	フリーペーパー	ほっとタイムスイベント &インフォメーション10月号	10月1日		
	13	WEB	Yahoo!ニュース/映画ナタリー	4月17日	スクリーンに蘇る！ アニメーション傑作選	1	新聞	東京新聞 川崎版	11月30日		
	14	WEB	ポーランド広報文化センター	4月19日		2	WEB	チラシミュージアム	10月28日		
	15	WEB	シネマトリップ	4月22日		3	WEB	ネットTAM	10月29日		
新東宝70周年記念 日本映画黄金時代の きらめき	1	WEB	cinofil	4月18日		4	WEB	ミュージアムカフェ	10月29日		
	2	WEB	映画ナタリー	5月8日		5	WEB	インターネットミュージアム	10月30日		
	3	WEB	Yahoo!ニュース	5月8日		6	WEB	川崎市生涯学習財団HP	10月30日		
	4	WEB	CINRA.net	5月13日		7	WEB	かわさきイベントアプリ	10月30日		
	5	WEB	Walkerplus(KADOKAWA)	5月22日		8	WEB	kodomoe web	11月16日		
ソング・オブ・ザ・シー 海のうた	1	新聞	神奈川新聞	5月5日		9	WEB	k-press	11月16日		
						10	WEB	こども映画プラス	11月20日		
アルゴプロジェクト 特集 1990年代傑作選	1	雑誌	映画秘宝2017年7月号	5月20日		11	フリーペーパー	ぼど	11月24日		
	2	WEB	シネフィル	5月15日		12	フリーペーパー	横浜シーサイダー	12月1日		
	3	その他	かわさき市政だより	6月1日		13	フリーペーパー	定年時代 横浜・川崎版/東京23区・多摩区版	12月2日		
ゴジラ再上陸 ～「シン・ゴジラ」公開 1周年記念特集～					映画で見る昔の川崎			1	WEB	チラシミュージアム	11月10日
	1	新聞	神奈川新聞 川崎版	6月10日	2	WEB	インターネットミュージアム	11月20日			
	2	新聞	朝日新聞 川崎版	6月16日	3	WEB	かわさきイベントアプリ	12月6日			
	3	新聞	東京新聞TODAY	6月16日	4	WEB	ミュージアムカフェ	12月7日			
	4	新聞	東京新聞 川崎版	6月26日	5	WEB	イベントバンク プレス	12月7日			
	5	新聞	読売新聞 首都圏版 夕刊	7月4日	6	WEB	ネットTAM	12月7日			
	6	新聞	読売新聞 川崎版	7月8日	7	新聞	読売新聞 首都圏版 夕刊	12月26日			
	7	新聞	朝日新聞 神奈川県版	7月25日	8	フリーペーパー	川崎通信	1月10日			
	8	雑誌	田園都市生活No64	6月24日	9	フリーペーパー	労働映画百選通信 No.24	1月上旬			
	9	雑誌	横浜ウォーカー	7月20日	川崎ゆかりのゴジラ映画	1	新聞	東京新聞TODAY	12月8日		
	10	WEB	映像のまち・かわさき	5月24日		2	新聞	読売新聞 川崎版	12月16日		
	11	WEB	シネフィル	6月13日		3	WEB	チラシミュージアム	11月10日		
	12	WEB	タウンニュース (川崎区版)	6月16日		4	WEB	川崎市生涯学習財団HP	11月17日		
	13	WEB	CINRA.net	6月17日		5	WEB	いこーよ	11月17日		
	14	WEB	映画ナタリー	7月5日		6	WEB	インターネットミュージアム	11月20日		
	15	WEB	Yahoo!ニュース	7月5日		7	WEB	かわさきイベントアプリ	12月6日		
	16	フリーペーパー	タウンニュース(宮前区/麻生区/多摩区版)	6月16日		8	WEB	ミュージアムカフェ	12月7日		
	17	フリーペーパー	タウンニュース(川崎区・幸区/中原区/高津区版)	6月16日		9	WEB	イベントバンク プレス	12月7日		
	18	フリーペーパー	ぼど	6月30日		10	WEB	ネットTAM	12月7日		
	19	フリーペーパー	シティリビング横浜	6月30日		11	フリーペーパー	タウンニュース (川崎区版・幸区版)	12月8日		
20	フリーペーパー	タウンニュース (中原区版)	7月21日	12		WEB	k-press	12月12日			
映画で見る 平和への願い	1	新聞	朝日新聞 川崎版	6月30日		13	フリーペーパー	タウンニュース (宮前区版)	12月15日		
	2	新聞	神奈川新聞 川崎版	7月22日		14	フリーペーパー	メディ・あさお 2018年1月号	12月25日		
	3	新聞	読売新聞	8月1日	日本映画傑作選	1	新聞	読売新聞 首都圏版 夕刊	1月16日		
	4	新聞	東京新聞 川崎版	8月2日		こども映画館 「スクリーンで見る 日本アニメーション！」	1	WEB	チラシミュージアム	2月10日	
	5	新聞	読売新聞 川崎版	8月3日			2	WEB	イベントバンク プレス	2月12日	
	6	新聞	東京新聞TODAY	8月4日			3	WEB	インターネットミュージアム	2月13日	
	7	新聞	読売新聞	8月1日			4	WEB	川崎市生涯学習財団HP	2月13日	
	8	WEB	シネフィル	7月9日			5	WEB	いこーよ	2月14日	
	9	WEB	CINRA.net	7月17日			6	WEB	ネットTAM	2月15日	
	10	WEB	川崎経済新聞	7月21日			7	WEB	かわさきイベントアプリ	2月15日	
	11	WEB	ヤフーニュース	7月21日			8	WEB	kodomoe web	3月18日	
	12	WEB	こども映画プラス	7月21日			9	WEB	hanakoママ	3月23日	
	13	WEB	びあ+	8月4日	10		新聞	東京新聞 川崎版	3月20日		
	アートへの情熱	1	WEB	CINRA.net	8月28日	毎日映画コンクールを 彩った男優たち28	1	新聞	読売新聞 夕刊	2月27日	
		2	WEB	映画ナタリー	8月29日		2	新聞	毎日新聞 川崎版	3月7日	
		3	WEB	びあ+	9月1日		3	雑誌	週刊ポスト	3月5日	
4		WEB	びあ+	9月8日	4		WEB	チラシミュージアム	2月10日		
5		WEB	びあ+	9月22日	5		WEB	イベントバンク プレス	2月12日		
6		WEB	びあ+	9月29日	6		WEB	マガカル	2月13日		
7		WEB	びあ+	9月15日	7		WEB	インターネットミュージアム	2月13日		
				8	WEB		川崎市生涯学習財団HP	2月13日			
				9	WEB		ネットTAM	2月15日			

特集名	種別	媒体名	日付	
父を探して	1	WEB	チラシミュージアム	3月16日
	2	WEB	いこーよ	3月19日
	3	WEB	イベントバンク プレス	3月25日
	4	WEB	かわさきイベントアプリ	3月25日
	5	WEB	ネットTAM	3月25日
	6	WEB	ミュージアムカフェ	3月25日
	7	WEB	川崎市生涯学習財団HP	3月25日
	8	WEB	インターネットミュージアム	3月25日
	9	WEB	かわさきイベントアプリ	3月25日
鉄道のある風景	1	WEB	チラシミュージアム	3月16日
	2	WEB	イベントバンク プレス	3月25日
	3	WEB	かわさきイベントアプリ	3月25日
	4	WEB	ネットTAM	3月25日
	5	WEB	ミュージアムカフェ	3月25日
	6	WEB	川崎市生涯学習財団HP	3月25日
	7	WEB	インターネットミュージアム	3月25日
	8	WEB	かわさきイベントアプリ	3月25日
みうらじゅん展 関連上映	1	WEB	川崎市生涯学習財団HP	1月25日
	2	WEB	かわさきイベントアプリ	1月25日
	3	WEB	イベントバンク プレス	1月25日
	4	WEB	インターネットミュージアム	1月25日
複数特集 (東宝70周年記念日本映画 黄金時代のきらめき/ アルゴ・プロジェクト 特集1990年代傑作選)	1	WEB	Museum Café	5月21日
	2	WEB	チラシミュージアム	5月21日
	3	WEB	ゆこゆこ	5月22日
	4	WEB	アパホテル	5月22日

3. 普及

イベント名	種別	媒体名	日付
スプリングイベント	新聞	神奈川新聞	4月6日
スプリングイベント	WEB	かわさきの生涯学習情報 (生涯学習財団HP)	4月6日
スプリングイベント	新聞	東京新聞	4月13日
コマ撮りアニメのWS	雑誌	メディア工作ワークブック	4月25日
武蔵小杉で「古代の火おこし」体験 リニューアルした市民ミュージアムで	WEB	川崎経済新聞	5月12日
武蔵小杉で「古代の火おこし」体験 リニューアルした市民ミュージアムで	WEB	Yahoo!ニュース	5月12日
古代火おこしで歴史に親しみを	新聞	神奈川新聞 川崎版	5月14日
古代の火おこし	新聞	読売新聞 川崎版	5月15日
視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ	新聞	神奈川新聞 川崎版	6月22日
視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ	新聞	東京新聞 川崎版	6月25日
視覚障害者をつくる美術鑑賞ワークショップ	新聞	神奈川新聞	7月16日
おやじdeミュージアム	新聞	神奈川新聞	7月14日
ともとのガラクタ音楽会	WEB	いこーよ	9月25日
古代の勾玉を作ろう	WEB	いこーよ	9月25日
どんぐりクッキー作り	WEB	いこーよ	9月25日
「抽象芸術と『デザイン』 -MoMA『マシソン・アート』展を手掛かりに-	WEB	川崎市生涯学習財団 公式HP	9月25日
「アナログ&デジタル写真の保存について」	WEB	川崎市生涯学習財団 公式HP	9月25日
ねこようかい大脱出ゲーム	新聞	神奈川新聞 広域版	10月5日
親と子べつべつ!? オシャベリ鑑賞会	WEB	アーティスト×こども	10月17日
ゆる〜っとオシャベリ鑑賞会	WEB	アーティスト×こども	10月17日
親と子べつべつ!? オシャベリ鑑賞会	WEB	ことさが	10月17日
ゆる〜っとオシャベリ鑑賞会	WEB	ことさが	10月17日
ゆる〜っとオシャベリ鑑賞会	WEB	ジモティー	10月17日
親と子べつべつ!? オシャベリ鑑賞会	WEB	ジモティー	10月17日
超大型絵本がやってくる「おまえうまそうだな」	新聞	神奈川新聞	11月10日
アートツール・キャラバン	WEB	いこーよ	11月25日
アートツール・キャラバン	WEB	川崎市生涯学習財団HP	11月26日
お正月 de ミュージアム	WEB	かわさきイベントアプリ	12月10日
お正月 de ミュージアム	WEB	川崎市生涯学習財団HP	12月17日
アートツール・キャラバン	TV	地モトTVおかしり! KANAGAWA	12月18日
お正月 de ミュージアム	WEB	いこーよ	12月18日
川崎市市民ミュージアム講座 2/4	WEB	インターネットミュージアム	12月18日
川崎市市民ミュージアム講座 2/18	WEB	インターネットミュージアム	12月18日
超大型絵本がやってくる「おまえうまそうだな」	WEB	新小杉開発株式会社 企業HP	12月20日
川崎市市民ミュージアム講座 3/4	WEB	川崎市生涯学習財団HP	1月5日
川崎市市民ミュージアム講座 3/18	WEB	川崎市生涯学習財団HP	1月5日
2/12 講座「江戸イメージの転換と幕末維新」	WEB	川崎市生涯学習財団HP	1月5日
ビートジャックがやってくる!	WEB	川崎市生涯学習財団HP	1月5日
ビートジャックがやってくる!	WEB	「音楽のまち・かわさき」HP	1月9日
ビートジャックがやってくる!	WEB	いこーよ	1月9日

イベント名	種別	媒体名	日付
2/12 講座「江戸イメージの転換と幕末維新」	WEB	インターネットミュージアム	1月25日
講座「江戸イメージの転換と幕末維新」	新聞	東京新聞	2月6日
講座「江戸イメージの転換と幕末維新」	新聞	神奈川新聞	2月9日
市民ミュージアム講座「ニュース映画で見る昭和史」	新聞	東京新聞 川崎版	2月12日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	WEB	かわさきイベントアプリ	1月14日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	WEB	イベントバンク プレス	1月14日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	雑誌	鉄道ダイヤ情報	1月15日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	WEB	川崎市生涯学習財団HP	1月15日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	WEB	いこーよ	1月15日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	雑誌	鉄道ファン	1月20日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	雑誌	鉄道ビクトリアル	1月20日
鉄道ジオラマ作成ワークショップ（中井展）	WEB	鉄おも！	2月1日

4. 施設・作品紹介

イベント名	種別	媒体名	日付
大塚勉作「梅雨の晴れ間」インタビュー収録撮影	TV	美の巨人たち	5月27日
施設紹介（外観写真と施設名のみ）	フリーペーパー	ばど	6月12日
川崎市市民ミュージアム（施設紹介）	フリーペーパー	ばど4月14日号	4月14日
施設紹介	フリーペーパー	住まいるカフェマガジン 東急版	6月1日
施設紹介（館長インタビュー）	フリーペーパー	タウンニュース（中原区版・高津区版）	6月2日
ゴルフ13展	新聞	神奈川新聞	7月21日
所蔵写真2点	フリーペーパー	はぁーとらんど	
民間省要写本	TV	歴史秘話ヒストリア	9月1日
市民ミュージアムに行ってみよう	TV	LOVEかわさき	9月9日
施設紹介+企画展告知	新聞	毎日新聞	9月15日
施設紹介	WEB	ウェブ社内報	10月6日
川崎市市民ミュージアム（施設紹介）	WEB	DK SELECTいい暮らしナビ	10月13日
施設紹介/ハイチアート展/川崎ゆかりのゴジラ映画	フリーペーパー	TOYOTAドライブ情報誌「Weins」	11月1日
施設紹介	フリーペーパー	ぐるりかながわミュージアムマップ2017-2018湘南・西湘特集	11月11日
小栗学芸員の出版本について	新聞	神奈川新聞 川崎版	12月1日
かわさき美術展、所蔵写真2点	フリーペーパー	はぁーとらんど	12月21日
“多摩川園”の跡地 紹介	TV	プラタモリ	1月20日
施設紹介（来館者インタビュー）	ラジオ	八木亜希子「LOVE & MELODY」	1月27日
所蔵品（実相寺昭雄）関連で言及	フリーペーパー	定年時代 横浜・川崎版	2月5日
市の包括外部監査「市民ミュージアム存続 要検討」	新聞	朝日新聞 川崎版	2月10日
学芸員インタビュー（川崎駅の変遷について）	新聞	神奈川新聞 号外	2月17日
施設紹介	WEB	るるぶ.com	3月16日
施設紹介	新聞	朝日新聞 夕刊	2月17日
施設紹介	フリーペーパー	SALUS 3月号	2月20日
施設紹介	WEB	JapanTravel.com	2月22日
安田鞠彦「草薙の剣」	雑誌	芸術新潮 3月号	2月24日
歴史常設展示（南武線）	TV	横浜ミストリー	3月1日
歴史常設展示（南武線）	TV	JR南武線沿線活性化映像	3月3日

5. その他

イベント名	種別	媒体名	日付
スプリングイベント/かわさき日活劇場	WEB	川崎市生涯学習財団	4月12日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー"	WEB	チラシミュージアム	4月12日
市民ミュージアム 独自イベント盛りだくさん	フリーペーパー	タウンニュース川崎市南部版（川崎区・幸区・中原区版）	4月25日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	イベントバンク	4月12日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	イベントバンク	4月12日
スプリングイベント/アンデルセン展/ソング・オブ・ザ・シー	WEB	いこーよ	4月12日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	Yahoo!ロコ（地域情報）	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	朝日新聞デジタル	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	BIGLOBE 旅行	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	バナソニックおでかけガイド	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	日本旅行	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	ニコソぽっとサーチ	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	アパホテル	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	J:COM ZAQおでかけガイド	4月13日
スプリングイベント/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎	WEB	Walkerplus（KADOKAWA）	4月13日
スプリングイベント/アンデルセン展	WEB	ゆこゆこ	4月13日
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき"	WEB	大東建託 いい暮らしナビ	4月13日

イベント名	種別	媒体名	日付
"スプリングイベント/アンデルセン展/かわさき日活劇場/ポーランド映画祭2017 in川崎/	WEB	かわさき イベントアプリ	4月29日
ソング・オブ・ザ・シー/新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/	WEB	マガルネット	4月29日
アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選"	WEB	Museum Café	4月29日
アンデルセン展/ポーランド映画祭/ソング・オブ・ザ・シー	WEB	インターネットミュージアム	4月29日
アンデルセン展/ポーランド映画祭/ソング・オブ・ザ・シー	WEB	J:COM ZAQおでかけガイド	5月22日
アンデルセン展/ポーランド映画祭/ソング・オブ・ザ・シー	WEB	大塚建託 いい暮らしナビ	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	フリーペーパー	かわさきアートニュース6月号	6月1日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	ラジオ	アクセスかわさき930	6月27日
"アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	フリーペーパー	かわさきアートニュース6月号	7月1日
"からくりトリックの世界/ゴジラ再上陸/万葉集講座/おやじ de ミュージアム/視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ"	WEB	観光かながわnow	7月3日
からくりトリックの世界/ゴジラ特集	WEB	川崎日和り	7月3日
からくりトリックの世界/福田繁尾の視覚トリック展/松本俊夫展	WEB	チランミュージアム	7月5日
からくりトリックの世界/福田繁尾の視覚トリック展/松本俊夫展	WEB	いこーよ	7月5日
からくりトリックの世界/ゴジラ再上陸/映画で見る平和への願い	WEB	川崎市生涯学習財団	7月5日
からくりトリックの世界/おやじ de ミュージアム	WEB	かわさき イベントアプリ	7月5日
からくりトリックの世界/福田繁尾展/ゴジラ再上陸/万葉集講座/おやじ de ミュージアム	WEB	Museum Café	7月5日
からくりトリックの世界/ゴジラ再上陸/万葉集講座/おやじ de ミュージアム	ラジオ	アクセスかわさき930	7月25日
"からくりトリックの世界/福田繁尾の視覚トリック展/松本俊夫展/ゴジラ再上陸/映画で見る平和への願い"	フリーペーパー	かわさきアートニュース8月号	8月1日
"からくりトリックの世界/ゴジラ再上陸/ママカフェ/わいわい読み聞かせ/映画で見る平和への願い"	雑誌	月刊ギャラリー 8月号	8月1日
からくりトリックの世界/福田繁尾の視覚トリック展/松本俊夫展/映画で見る平和への願い	WEB	イベントバンク	5月21日
からくりトリックの世界/山下清とその仲間たちの作品展/ハイチアート展	WEB	川崎市生涯学習財団	5月21日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	Yahoo!ロコ (地域情報)	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	朝日新聞デジタル	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	BIGLOBE旅行	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	パナソニック おでかけ旅ガイド	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	日本旅行	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	ニコソ ずばっとサーチ	5月22日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	びあ+	10月6日
"新東宝70周年記念 日本映画黄金時代のきらめき/アルゴ・プロジェクト特集 1990年代傑作選/アンデルセン展"	WEB	びあ+	11月3日
祭りの記録映像10月	WEB	観光かながわnow	8月29日
祭りの記録映像	WEB	川崎日和り	8月29日
山下清とその仲間たちの作品展/ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ	フリーペーパー	かわさきアートニュース9月号	9月1日
山下清とその仲間たちの作品展/ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ	WEB	ウェア版「ART NAVI」	9月6日
"山下清とその仲間たちの作品展/ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ/アートへの情熱"	フリーペーパー	かわさきアートニュース10月号	10月1日
山下清とその仲間たちの作品展/ハイチアート展	その他	美連協ニュース136号	10月15日
"ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ/川崎ヒストリー展/スクリーンに蘇る!アニメーション傑作選"	フリーペーパー	ホットベッパ	10月27日
ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ	ラジオ	ホット☆スタジオ	10月24日
にっぽんアニメーションことはじめ/ハイチアート展	フリーペーパー	かわさきアートニュース11月号	11月1日
"大矢紀展/ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ/川崎ヒストリー展/アニメーション傑作選"	雑誌	月刊ギャラリー 11月号	11月1日
ハイチアート展/にっぽんアニメーションことはじめ	その他	教育だよりかわさき111号	11月8日
かわさきマイスター20年展/川崎フロンターレ展/みうらじゅん展	WEB	観光かながわnow	11月16日
川崎フロンターレ展/かわさきマイスター20年展/川崎ゆかりのゴジラ映画/映画で見る昔の川崎	WEB	川崎日和り	11月16日
川崎フロンターレ展/かわさきマイスター20年展/川崎ゆかりのゴジラ映画/映画で見る昔の川崎	雑誌	横浜ウォーカー	11月20日
川崎フロンターレ展/かわさきマイスター20年展	雑誌	芸術新潮 12月号	11月25日
にっぽんアニメーションことはじめ/みうらじゅん展	雑誌	横浜ウォーカー	12月20日
川崎フロンターレ展/川崎ゆかりのゴジラ映画/お正月deミュージアム	雑誌	美術の窓1月号	12月20日
川崎フロンターレ展/2017かわさきマイスター20年展	ラジオ	かわさきホット☆スタジオ	11月28日
"マイスター20年展/川崎フロンターレ展/チェコ・アニメーション名品集/川崎ゆかりのゴジラ映画"	フリーペーパー	かわさきアートニュース12月号	12月1日
"マイスター20年展/川崎フロンターレ展/チェコ・アニメーション名品集/川崎ゆかりのゴジラ映画"	フリーペーパー	かわさきアートニュース1月号	1月1日
かわさきマイスター20年展/川崎フロンターレ展/みうらじゅん展/映画で見る昔の川崎	ラジオ	かわさきホット☆スタジオ	12月26日
映画で見る昔の川崎/お正月 de ミュージアム/かわさきマイスター20年展	新聞	東京新聞TODAY	1月12日
みうらじゅん展/かわさきマイスター20年展	ラジオ	かわさきホット☆スタジオ	1月23日
みうらじゅん展/みうらじゅん展開運上映/ビートジャックがやってくる!	その他	美連協ニュース137号	2月1日
みうらじゅん展/中井精也 鉄道写真展	フリーペーパー	かわさきアートニュース 3月号	3月1日
みうらじゅん展/かわさき市美術展/版画アトリエ指導員展/毎日映画コンクール	その他	教育だよりかわさき112号	2月16日
かわさき市美術展/中井精也 鉄道写真展	新聞	東京新聞 川崎版	3月17日
市民ミュージアム講座	新聞	東京新聞TODAY	3月16日
中井精也 鉄道写真展/子ども映画館「スクリーンで見る日本アニメーション!」	雑誌	美術の窓	3月20日
みうらじゅん展/中井精也 鉄道写真展	WEB	観光かながわnow	2月20日
かわさき市美術展/版画アトリエ指導員展	WEB	川崎日和り	2月20日
かわさき市美術展/版画アトリエ指導員展	ラジオ	かわさきホット☆スタジオ	3月27日
中井精也 鉄道写真展/鉄道のある風景/父を探して	ラジオ	かわさきFM かわさきホット☆スタジオ	9月26日
"にっぽんアニメーションことはじめ/川崎ヒストリー展/スクリーンに蘇る!アニメーション傑作選"	ラジオ		

資料



施設概要

敷地面積	25,358 m ²
建築面積	8,386 m ²
延床面積	19,542 m ²
常設展示室	2,551 m ²
博物館展示室	1,491 m ²
企画展示室	1,334 m ²
企画展示室 1	597 m ²
企画展示室 2	590 m ²
アートギャラリー	1,060 m ²
ミュージアムギャラリー 1・2147 m ² (82 m ² + 65 m ²)	
逍遥展示空間	747 m ²
映像ホール	342 m ² (266 席)
ミニホール (椅子席・ビデオのみ)	57 m ² (40 名)
研修室 1 (机・椅子固定)	70 m ² (24 名)
研修室 2	60 m ² (30 名)
研修室 3	56 m ² (36 名)
収蔵庫	2,433 m ²
	(9 室、前室を含む)
その他	12,083 m ²
ミュージアムショップ	40 m ²
ラウンジ	62 席
身障者設備	
トイレ	5ヶ所
車いす	4 台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2 台
授乳室	1 室
ベビーカー	3 台

設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹清訓)
 展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

総工費 (当時)

建築工事費	88 億円
展示工事	23 億円
資料収集	21 億円
運営費	10 億円
合計	約 150 億円

収蔵品

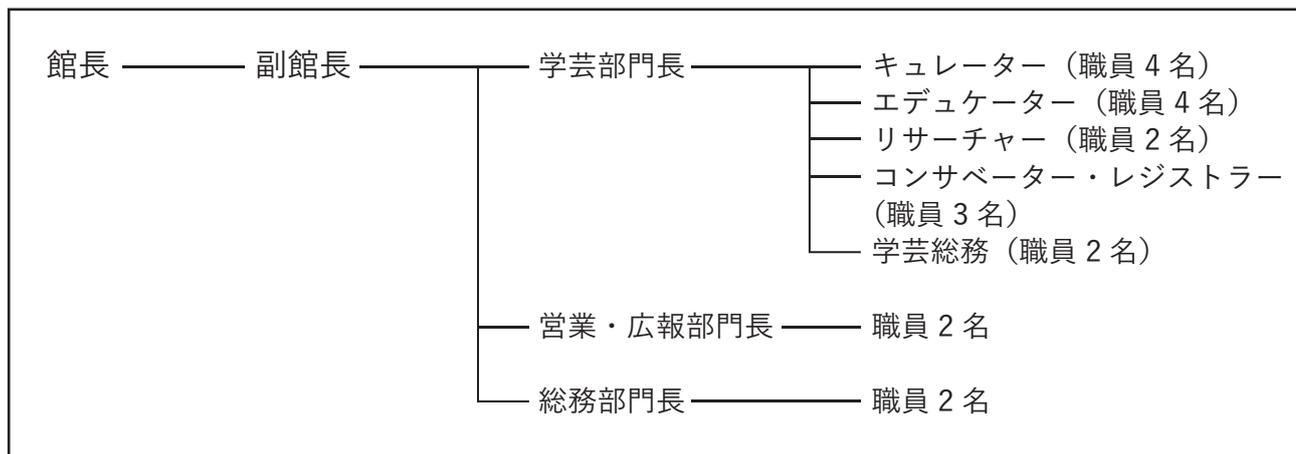
平成 29 年度分	0 点
購入作品・資料	117 点
寄贈	
寄託	62 点 (継続を含む)
総点数	約 259,800 点 (平成 30 年 3 月 31 日)
考古	約 72,000 件*
歴史	約 29,350 件*
民俗	約 21,200 点
美術文芸	約 11,500 点
グラフィック	約 10,000 点
写真	約 20,250 点
漫画	約 64,000 件*
映画	約 12,500 点
ビデオ	約 19,000 点

※数表記の分野は、今後の調査研究により増加します。

指定文化財

神奈川県指定 1 件	
鱒口 1 口	
川崎市指定 23 件	
紙本墨画淡彩仙女図 2 幅	
青銅製鱒口 1 口	
古筆手鑑「披香殿」1 帖	
後北条氏の虎の印判状 (永禄元年)	1 通
後北条氏の虎の印判状 (永禄 7 年)	1 通
後北条氏の虎の印判状 (天正 15 年)	1 通
関東下知状 附 極札 1 枚 1 通	
板碑 1 基	
有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 坏 19 箇 3 組 3 箇	
有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器	
附 簪状骨製品 1 本 3 組 7 箇	
生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器	
附 鹿角製刀子柄 1 本 2 組 4 箇	
生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 1 組 2 箇	
菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器	2 組 4 箇
野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚 鉄釘 13 本 1 組 2 箇	
稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器	
附 和銅開寶 1 枚 1 組 2 箇	
細山坂東谷古墳出土火葬骨蔵器	
附 鉄板状製品 1 枚	
状骨製品 2 本	
无射志国荏原評銘文字瓦 1 点	
万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括	
宿原縄文時代低地遺跡出土品 一括	
下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括	
梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括	
黒川の獅子頭 3 頭	
大師河原の漁撈具 一括	
鷲ヶ峰遺跡旧石器時代出土品 一括	

運営管理：アクティオ・東急コミュニティー共同事業体



職員

(2017年4月から2018年3月まで)

館長	中山純史
副館長	濱崎好浩
学芸部門 部門長	平井直子 永藤友美 増田新也 森宗厚子 磯山浩美 渡邊裕太 小栗一夫 吉川貴子 谷拓馬 石神愛璃 安尾祥子 (10月～) 林司 村山翠 佐藤美子 古家満葉 氏家みち江 誉田あゆみ (3月～)
営業・広報部門 営業・広報部門長	鋒山元茂 坂下冬子 石澤千夏
総務部門 総務部門長	西野サカミ 澤口恭子 武田智子

施設管理

ASSMS 30 項目実施

川崎市市民ミュージアム条例

昭和 62 年 12 月 22 日条例第 45 号

(目的及び設置)

第 1 条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力 1 番 2 号とする。

(事業)

第 3 条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。

- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品（以下「資料等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
- (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
- (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
- (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
- (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
- (7) 施設及び設備（以下「施設等」という。）を利用に供すること。

(指定管理者)

第 3 条の 2 市長は、法人その他の団体であって次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に市民ミュージアムの管理を行わせる。

- (1) 市民ミュージアムの管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
 - (2) 事業計画書の内容が、市民ミュージアムの効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
 - (3) 事業計画書の内容に沿った市民ミュージアムの管理を安定して行う能力を有すること。
- 2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。
- 3 市長は、第 1 項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第 3 条の 3 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、市民ミュージアムの管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第 3 条の 4 指定管理者は、資料等の収集、保管、展示等を行う業務その他の市民ミュージアムの管理のために必要な業務を行わなければならない。

(利用時間及び休館日)

利用時間	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12 月 29 日から翌年の 1 月 3 日までの日（前 2 号に掲げる日を除く。）

第 4 条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要と認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

(観覧料)

第 5 条 市民ミュージアムが行う企画展の展示会場へ入場しようとする者は、指定管理者に観覧料を支払わなければならない。

- 2 観覧料の額は、別表第 1 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 3 観覧料は、指定管理者の収入とする。

(特別利用)

第 6 条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、指定管理者に特別利用料を支払わなければならない。
- 3 前項の特別利用料は、前払しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 4 指定管理者は、第 1 項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他指定管理者が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。
- 5 特別利用料の額は、別表第 2 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 6 特別利用料は、指定管理者の収入とする。

(施設等の利用許可)

第 7 条 別表第 3 に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、指定管理者の許可を受けなければならない。

(施設等の利用料金)

第 8 条 前条の許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）は、指定管理者に利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。

- 2 利用料金は、前払しなければならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
- 3 利用料金の額は、別表第 3 に定める金額の範囲内において、あらかじめ市長の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。
- 4 利用料金は、指定管理者の収入とする。

(施設等の利用許可の制限)

第 9 条 指定管理者は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不適当であると認めるときは、第 7 条の許可をしない。

(施設等の利用許可の取消し等)

第 10 条 指定管理者は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、第 7 条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 利用の目的に反したとき。
- (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
- (3) 偽りその他不正な行為により第 7 条の許可を受けたとき。
- (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
- (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
- (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(施設等の変更禁止)

第 11 条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、指定管理者が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第 12 条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復)

第 13 条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第 7 条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限され、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第 14 条 市及び指定管理者は、第 10 条第 5 号に該当する場合を除き、第 7 条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者に生じた損害については、その責めを負わない。

(観覧料等の減免)

第 15 条 指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準に従い、第 5 条第 1 項に規定する観覧料、第 6 条第 2 項に規定する特別利用料及び利用料金（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の返還)

第 16 条 既に支払われた観覧料等は、返還しない。ただし、指定管理者は、あらかじめ市長が定める基準に従い、その全部又は一部を返還することができる。

(入館等の制限)

第 17 条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第 18 条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第 19 条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和 63 年 10 月 7 日規則第 85 号で昭和 63 年 11 月 1 日から施行)

附 則 (平成 6 年 10 月 7 日条例第 30 号)

この条例は、平成 6 年 10 月 17 日から施行する。

附 則 (平成 12 年 12 月 21 日条例第 78 号)

この条例は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 17 年 9 月 30 日条例第 87 号)

この条例は、平成 18 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 18 年 6 月 28 日条例第 53 号)

この条例は、平成 18 年 10 月 1 日から施行する。ただし、第 5 条及び別表第 1 の改正規定並びに別表第 2 の次に 1 表を加える改正規定（展示室及び逍遥展示空間に係る部分に限る。）は、平成 19 年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成 21 年 12 月 24 日条例第 47 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 22 年 4 月 1 日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則 (平成 27 年 3 月 23 日条例第 2 号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

(1) 第 16 条、第 17 条及び第 20 条の規定 平成 27 年 5 月 1 日

(2) 第 3 条の規定 平成 27 年 6 月 1 日

(3) 第 19 条の規定 平成 27 年 7 月 1 日

(4) 第 7 条の規定 平成 28 年 4 月 1 日

(5) 第 12 条、第 14 条及び第 15 条の規定 平成 28 年 5 月 1 日

(6) 第 2 条、第 4 条、第 11 条、第 13 条及び第 18 条の規定 平成 28 年 6 月 1 日

(7) 第 6 条の規定 平成 28 年 9 月 1 日

(8) 第 5 条の規定 平成 28 年 10 月 1 日

(9) 第 8 条の規定 平成 28 年 11 月 1 日

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 3 条の次に 3 条を加える改正規定（第 3 条の 2（指定管理者に市民ミュージアムの管理を行わせることに係る部分を除く。）に係る部分に限る。）は、公布の日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際現に効力を有する市長の行った利用許可その他の行為で、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）において改正後の条例（以下「新条例」という。）の規定により当該行為に相当する行為を行うべきものが新条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する指定管理者（以下「指定管理者」という。）となるものは、施行日以後においては、指定管理者の行った利用許可その他の行為とみなす。

3 改正前の条例の規定により発行された共通利用券又は特別入場券については、新条例別表第 1 の規定にかかわらず、施行日以後引き続き使用することができる。

別表第 1（第 5 条関係）

1 普通観覧

単位	金額
1 人 1 回	2000 円

2 共通利用券

種別	金額
100 円券 12 枚つづり	1000 円
100 円券 25 枚つづり	2000 円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体（20 人以上をいう。）の入場等については、この限りでない。

(1) 市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市岡本太郎美術館条例（平成 11 年川崎市条例第 25 号）に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例(昭和46年川崎市条例第24号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例(昭和42年川崎市条例第19号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

指定管理者は、7,000円の範囲内であらかじめ市長の承認を得て、定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2(第6条関係)

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
拓本		1,000円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

別表第3(第7条、第8条関係)

1 施設利用料

		金額		
		午前9時30分から 午後0時30分まで	午後1時30分から 午後5時まで	午前9時30分から 午後5時まで
ホール	映像ホール	7,800円	9,100円	16,900円
	ミニホール	3,000円	3,500円	6,500円
研修室	研修室1	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室2	1,200円	1,400円	2,600円
	研修室3	1,200円	1,400円	2,600円
研修室	企画展示室1			46,500円
	企画展示室2			45,000円
	アートギャラリー			75,000円
	多目的ギャラリー			9,000円
	多目的ギャラリー			7,500円
逍遥展示空間		30分につき 2,300円		

備考

1 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設利用料の額は、規定使用料の2割増相当額とする。

2 ホール、展示室又は逍遥展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設使用料の額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定利用料(前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額)に増額の割合を乗じて得た額とする。

入場料金	増額の割合
1,000円未満	15割
1,000円以上3,000円未満	20割
3,000円以上	30割

3 第4条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間(午後5時から午前9時30分までの時間に限る。)に利用するときの施設利用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分(以下「午後の区分」という。)の規定利用料(前2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項において同じ。)の30分当たりの額の2割増相当額(10円未満の端数は、切り捨てる。)、展示室を利用する場合にあっては利用日の午前9時30分から午後5時までの利用時間の区分の規定利用料の30分当たりの額の2割増相当額(10円未満の端数は、切り捨てる。)、逍遥展示空間を利用する場合にあっては規定利用料の2割増相当額(10円未満の端数は、切り捨てる。)とする。

4 午後0時30分から午後1時30分までの時間(以下「中間時間」という。)においてホール又は研修室を利用する場合(午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分(以下「午前の区分」という。))又は午後の区分を利用する場合に限る。)の施設利用料の額は、当該利用の許可に係る時間30分につき、午前の区分の規定利用料(第1項又は第2項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額)の30分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設利用料は、無料とする。

2 設備利用料

単位	金額
1式、1本、1組、1台、1張、1双、1個、 1枚、1キロワットその他1単位 1回	10,000円

備考

1 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあっては午前の区分、午後の区分をそれぞれ1回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあっては4時間までごとに1回として扱う。

2 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後5時から午前9時30分までの時間に利用する場合の設備利用料の額は、4時間までごとに1回として扱う。

3 映像ホール、ミニホール又は研修室を中間時間において利用する場合の設備利用料の額は、30分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定利用料の30分当たりの額(10円未満の端数は、切り捨てる。)とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備利用料は、無料とする。

川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成 22 年 3 月 31 日規則第 36 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例(昭和 62 年川崎市条例第 45 号。以下「条例」という。)の施行について必要な事項を定めるものとする。

(公告)

第 1 条の 2 市長は、条例第 3 条の 2 第 1 項の規定により川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)の管理を行わせるため、法人その他の団体(以下「法人等」という。)を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げる事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第 3 条の 2 第 1 項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間(以下「指定予定期間」という。)
- (4) 条例第 3 条の 2 第 2 項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出(以下「事業計画書等の提出」という。)の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

(事業計画書等の提出)

第 1 条の 3 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第 3 条の 2 第 2 項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の市民ミュージアムの管理に係る事業計画書及び収支予算書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (3) 事業計画書等の提出をする日(以下「提出日」という。)の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類

(指定管理予定者)

第 1 条の 4 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 2 以上あるときは、条例第 3 条の 2 第 1 項各号に掲げる要件(以下「指定要件」という。)を満たし、かつ、条例第 3 条各号に掲げる事業を行う上で最も適切と認める法人等を指定管理者の予定者(以下「指定管理予定者」という。)とする。

2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が 1 である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第 1 項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前 2 項の指定管理予定者がいないときは、再度、第 1 条の 2 の規定による公告を行う。

(通知)

第 1 条の 5 市長は、条例第 3 条の 2 第 1 項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書(第 1 号様式)により通知する。

(協定)

第 1 条の 6 指定管理者は、市長と市民ミュージアムの管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 利用許可に関する事項
- (3) 観覧料に関する事項
- (4) 条例第 7 条に規定する特別利用(以下「特別利用」という。)に係る料金に関する事項
- (5) 利用に係る料金に関する事項
- (6) 管理に要する費用に関する事項
- (7) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (8) 管理の業務の報告に関する事項
- (9) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (10) 川崎市契約条例(昭和 39 年川崎市条例第 14 号)に規定する作業報酬に関する事項
- (11) その他市長が必要と認める事項

(事務の委任)

第 2 条 次に掲げる事務は、川崎市市民ミュージアム館長(以下「館長」という。)に委任する。

- (1) 特別利用の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第 8 条の規定による施設等(条例第 3 条第 7 号に規定する施設等をいう。以下同じ。)の利用の許可(以下「利用許可」という。)に関すること。
- (3) 条例第 10 条の規定による施設等の利用許可の制限に関すること。
- (4) 条例第 11 条の規定による施設等の利用許可の取消し等に関すること。
- (5) 条例第 17 条に規定する観覧料等(以下「観覧料等」という。)の減額又は免除に関すること。
- (6) 条例第 18 条の規定による観覧料等の還付に関すること。
- (7) 条例第 19 条の規定による入館等の制限に関すること。

(観覧券等の交付)

第 3 条 館長は、条例第 6 条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第 4 条 市長は、条例別表第 1 の 3 の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
 - (2) 共通入館券
 - (3) 優待券
 - (4) 前売券
- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第 5 条 条例第 7 条第 1 項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書(第 1 号様式の 2)をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書(第 2 号様式)を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第 3 条第 1 号に規定する資料等(以下「資料等」という。)の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの(以下「模写資料等」という。)を展示し、又は出版物等に掲載するときは、市民ミュージアムの所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。
- (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第6条 館長は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
- (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第7条 条例第8条の規定により施設等の利用許可を受けようとする者は、施設等利用許可申請書(第3号様式)を館長に提出しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第8条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定めるところによる。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日(連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。)の属する年度の前年度の4月1日から利用日の1月前まで申請することができる。
- (2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日の属する月の6月前の月の初日から利用日の14日前まで申請することができる。
- (3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日の3日前まで申請することができる。
- (4) 前2号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第1号の規定を準用する。
- (5) 第3号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第2号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第9条 館長は、施設等の利用許可をしたときは、当該申請をした者に施設等利用許可書(第4号様式)を交付するものとする。

(施設等使用料の納付)

第10条 条例別表第3の1に規定する施設使用料及び同表の2に規定する設備使用料(以下「施設等使用料」という。)は、館長が指定する日までに納付しなければならない。

2 前項の施設等使用料の納付方法は、川崎市金銭会計規則(昭和39年川崎市規則第31号)の定めるところによる。

(設備使用料)

第11条 条例別表第3の2の規定に基づき、市長が定める設備使用料は、別表のとおりとする。

(特別の設備の付設等)

第12条 条例第12条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、特別設備等許可申請書(第5号様式)を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の申請書は、施設等利用許可申請書と同時に提出しなければならない。

3 施設等の利用許可を受けた者(以下「施設等利用者」という。)が、第1項の許可を受けて施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

(施設等利用中止の届出)

第13条 施設等利用者が、その利用を中止しようとするときは、施設等利用中止届出書(第6号様式)を館長に提出しなければならない。

(利用期間等の制限)

第14条 館長は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

(観覧料等の減免)

第15条 条例第17条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法(昭和22年法律第26号)第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法(昭和22年法律第164号)第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 身体障害者福祉法(昭和24年法律第283号)第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法(昭和38年法律第168号)第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律(平成6年法律第117号)第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳(知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。)、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律(昭和25年法律第123号)第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等(以下「身体障害者手帳等」という。)の交付を受けている者(これらの者の介護者を含む。)が観覧を行う場合 全額

エ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(3) 施設等使用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額

イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額

ウ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書(第7号様式)を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書(第8号様式)を、前項第3号の規定による施設等使用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては施設等使用料減免申請書(第9号様式)を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料等の還付)

第16条 条例第18条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 観覧料又は特別利用料の全額

(2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額

(3) 条例第11条第4号又は第5号の規定により、館長が利用許可を取り消した場合 施設等使用料の全額

(4) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

(5) 企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

(6) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

(7) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

(8) 企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の3日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

(9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

- (10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遙展示空間又は研修室の利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遙展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (13) 前各号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額
(遵守事項)

第17条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。
- (6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。
- (7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。
- (10) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項
(整理員の配置)

第18条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のため必要な整理員を置かなければならない。ただし、館長が必要がないと認める場合は、この限りでない。
(管理上の入室)

第19条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第20条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに館長に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第21条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係員に報告し、その点検を受けなければならない。

(委任)

第22条 この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市市民ミュージアム協議会規則(平成18年川崎市教育委員会規則第9号)の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現在在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、公布の日から施行する。ただし、第15条第1項第1号ア及び第26条の改正規定は、平成28年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

附 則

この規則は、平成28年6月1日から施行する。

平成 29 年度
川崎市市民ミュージアム年報

平成 30 年 7 月 31 日発行
編集・発行／川崎市市民ミュージアム
川崎市中原区等々力 1-2
電話 044-754-4500

